

会長のページ	年頭所感	河野 雅行	3
年頭所感	日本医師会長	横倉 義武	4
年頭所感	宮崎県医師会顧問	秦 喜八郎, 稲倉 正孝	6
年頭所感	各都市医師会長		7
年頭所感	各専門分科医会長		12
年頭のご挨拶	宮崎県知事	河野 俊嗣	19
年頭のご挨拶	宮崎大学長	池ノ上 克	20
年頭のご挨拶	宮崎県選出国會議員		21
新春随想(その1)			25
	谷口 二郎, 重永 哲洋, 北村 應旺, 押川紘一郎, 山内 励		
	松浦 良樹, 田島 直也, 原田勇一郎, 堺 雅彦, 宝珠山 弘		
	佐藤 志保, 島名 昭彦, 塩盛 建二, 加藤 丈司, 日高 淑晶		
エコー・リレー(509)		吉村 雄樹, 赤須 晃治	36
医師の事務作業を支援する職員の資質向上のために ～宮崎県医師会 医師クランク育成・スキルアップ研修会報告～			
		木佐貫 篤	50
診療メモ	リウマチ治療の最前線	甲斐 睦章	86

あなたできますか?(平成29年度医師国家試験問題より)	37
平成29年1月～12月までの叙位・叙勲及び表彰・祝賀受賞会員	38
叙勲・祝賀	40
表彰・祝賀	42
宮崎県感染症発生動向	44
各種委員会(健康教育委員会)	46
ベストセラー	46
平成29年度全国医師会勤務医部会連絡協議会	47
医師国保組合だより	53
日医インターネットニュースから	54
理事会日誌	56
県医の動き	60
会員の異動・変更報告	61
追悼のことば	62
ドクターバンク情報	67
行事予定	73
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	75
宮大医学部学生のページ(第13回清花祭)	88
あとがき	92
~~~~~	
お知らせ	
宮崎県医師会医療情報コーナー	35
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	59
平成29年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	66
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	71
宮崎県医療勤務環境改善支援センター	85
郡市医師会への送付文書	90

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品:写真〕

### 光のカーテン ～北浦百景～

冬になると北浦町では、日の出の位置が南にずれて水平線から太陽が昇るようになります。北浦町は日向松島と言われるように風光明媚な場所ですが、その風景と朝陽を絡めにカメラマンが訪れます。この日は残念ながら水平線は雲がかかっており、しばらくして顔を見せました。その時、光のカーテンのように、太陽からの光が海に射し込んだのです。

延岡市 ひ だか とし あき  
日 高 利 昭

# 年 頭 所 感

宮 崎 県 医 師 会

会 長 <sup>かわ</sup> <sup>の</sup> <sup>まさ</sup> <sup>ゆき</sup>  
河 野 雅 行



新年おめでとうございます。年頭には、今年は無事であって欲しいと、毎回願います。しかし、毎年その期待は裏切られ、様々な事件や災害が発生しています。国際的には近隣某国の核武装、ICBM開発等深刻な問題があります。我が国は某国に限らず既に複数の強大国の核傘下にあります。歴史は繰り返すと言いますが、講和が不調で強大国が強硬な対抗処置を仄めかしており、将に開戦前夜を思わせるような様相を呈しています。国内でも多くの災害が発生し、しかも大規模化しており、DMATやJMAT等で医療関係者の活動する場面も増えていま

す。私達も平時から訓練等で備えておく必要があります。

昨年は突然の衆議院解散があり、自民党(安倍首相)には相当厳しい審判が下るであろうとのマスコミでの予想に反して結果は現政権の大勝でした。選挙結果について様々な分析がされていますが、多くの識者の見込みに反するものでした。選挙以外の他の分野でも予測のできない専門家は識者と言えるのでしょうか？もし医療で予測のできない結果に陥った場合、私たち医師の説明に皆が納得してもらえるでしょうか？予測できない事象を十分に説明するのは困難です。それでも責任を問われます。私たちは本当に厳しい立場にあることを痛感します。様々な経緯から、医療事故の解明と再発防止のために「医療事故調査制度」が発足して2年経ちました。今のところ医療事故に対して医師の即逮捕などの忌まわしい事例はなくなり、一定の効果は上がりましたが、今後、調査結果を訴訟等で逆利用される事例が出てくるのではないかと懸念もあります。

本年は診療報酬、介護報酬の同時改定が行われます。現在、中央では報酬額の増減を巡って財務省との間で激しい攻防がなされています。この稿が皆様の眼に留まる頃には決着をみていると思いますが、医療現場の疲弊状況から多少なりとも増額が望まれます。他業種では給料アップが目論まれています。全労働者の1割を占める医療従事者は診療報酬のアップがなければ不可能です。日医の健闘を祈ります。

地域医療構想を踏まえた第7次医療計画が始まります。将来の適切な地域医療の在り方につき各地で調整会議が開催され、検討がなされています。県民の生命と健康を守る医師の立場からも各地域医療のあるべき姿が良い形で残り発展することを期待します。

いろいろなことが起こるから人生は変化に富んで面白い、と言う人もいますが、残念ながら私はまだまだその境地には達していません。当然、医師会としては、開き直りをするわけにはまいりません。様々なことが起こりうると覚悟をして、一つひとつの事柄に丁寧に対応していくのが最良と考えます。そのためにも会員諸氏の団結が不可欠です。

皆様方のご多幸を祈念しつつ、今年も県医師会へのご協力をよろしくお願いいたします。

# 年 頭 所 感



日 本 医 師 会  
会 長 横 倉 義 武

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、7月に甚大な被害をもたらした九州北部豪雨や9月の大型台風21号の発生など、各地で大雨や台風を始めとする天候不順により自然災害が相次ぎ、多くの方々が被災され避難生活を余儀なくされました。会員の先生方におかれましては、日本医師会災害医療チーム(JMAT)の活動を始め、被災地の医療支援、感染症対策等にご支援・ご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。

昨年10月、世界医師会(WMA)シカゴ総会において、私は第68代WMA会長に就任いたしました。日本人としては、1975年の武見太郎先生、2000年の坪井栄孝先生に続く3人目になります。

WMAは、1947年に設立された114の各国医師会が加盟する世界の医師を代表する組織です。本部はジュネーブ近郊のフェルネイ・ボルテア(フランス)に所在し、WHOや国連等の国際機関と連携して世界中の人々の健康水準の維持、向上に努めています。日本医師会は、1951年の第5回WMA総会で加盟し、現在、会長、理事3名を有してその活動に貢献しています。

私は今回の就任に際し、国民の健康寿命を世界トップレベルにまで押し上げてきた我が国の優れた医療システムを世界に発信し、グローバルなレベルでの健康長寿社会の実現に寄与して参りたいという強い思いを述べました。年を新たにし、改めてさまざまな分野での医療協力・パートナーシップを深め、人材の能力開発・生涯教育の一層の推進など、WMAの果たすべき任務を遂行してゆく責任の重さを痛感しています。

また、昨年9月には、アジア大洋州医師会連合(CMAAO)東京総会を第35代CMAAO会長として主宰いたしました。CMAAOの活動をより活性化させ、地域住民の健康の増進に努めながらWMAとの関わりをより一層緊密なものとし、当該地域の医師の声がWMAに届くよう努めることは、両団体の活動に深く携わる日本医師会長、CMAAO会長、そしてWMA会長としての私のもうひとつの大きな使命であると位置づけています。

歴史を振り返りますと、我が国が世界のトップレベルの健康長寿を達成してきた背景には、国民皆保険の下、我々医療従事者の献身的な努力があったという事実があります。戦後の経済復興の過程には、国民が安心して仕事をし、生活を送るための基盤として国民皆保険がありました。国連が2016年に開始した2030年に向けての「持続可能な開発目標、SDGs」には「誰一人取り残さない」という国民皆保険に通じる理念があります。1961年に実現した我が国の国民皆保険は50年以上に亘り国民の健康を支え、Universal Health Coverage (UHC)のあるべきモデルとして高く評価されており、何

としてもその仕組みを堅持していかなければならないと考えています。

高齢社会の抱える問題のひとつである終末期医療については、会内の生命倫理懇談会でも提言を取りまとめ頂きましたが、WMAでもそのあり方、とりわけ安楽死などの問題を検討してきました。WMAの地域会議として開催されたCMAAO東京総会における「終末期医療」をテーマとしたシンポジウムでは、アジア諸国にはさまざまな宗教が存在し、宗教が終末期のあり方にも影響していること、また、膨大な人口、家族、地域共同体の結びつきが非常に強固であり、終末期医療における意思決定にも関わっていることが報告されました。昨年11月にはバチカン市国において「WMA欧州地域終末期医療シンポジウム」が開催され、医療、法律、緩和ケア及び医療倫理の専門家、神学者、哲学者などが参加し、患者の権利と治療の制限など、終末期医療に関する世論への理解を深めるための議論が行われました。また、3月にはラテンアメリカで、本年2月にはアフリカで同様の会議がそれぞれ開催され、今後、各地域の意見を集約したWMAとしての方針を政策文書としてまとめていくことになっています。

一方、国内に目を転じますと、働き方改革が重要な課題となっています。日本医師会はこの問題に関して、医療現場の実情と「応招義務」に配慮した方策を強く求めてきました。その結果、政府は「医師の働き方改革に関する検討会」を設置し、医師の働き方について別途議論を進めています。3月までには、会内に設置した「医師の働き方検討委員会」の答申も取りまとめられる予定でありますので、それらの意見も踏まえながら、引き続き、国に対して意見を述べていきたいと思えます。

また、少子高齢化の一層の進行が予想される中で、社会保障費は、医療、介護などを中心に今後増加することが見込まれ、その財源をどのように賄っていくかについても大きな課題となっています。財政緊縮の立場から、成長戦略や規制緩和の名の下に、保険給付範囲を狭める圧力が予想されますが、国民皆保険を堅持していくためにも、我々医療側から生涯保健事業の体系化による健康寿命の延伸など、過不足のない医療が提供できるよう、適切な医療を提言し、時代に即した改革を進めていく必要があります。

我が国では、フリーアクセスによる外来へのアクセスの良さが病気の早期発見・早期治療に寄与しています。その中心を担う「かかりつけ医」をまず受診することで、適切な受療行動、重複受診の是正、薬の重複投与の防止等も可能となり、医療費の適正化も期待できます。日本医師会としては引き続き「かかりつけ医機能研修制度」を実施することで、「かかりつけ医機能」の更なる向上を目指して参る所存です。

また、日本医師会では、より良い医療の在り方について、国民と医師とが共に考えながら、更なる国民医療の向上に寄与していくことを目的として、日本医師会の設立記念日と「いい(11)医(1)療」の語呂合わせにより、11月1日を「いい医療の日」に制定しました。広く国民に周知されるよう、今後さまざまな活動に取り組んでいきたいと思えます。

最後になりますが、私は国民に寄り添い、国民の健康を守ることが医師の役割であり、その医師の声を基に、国に対してさまざまな政策を提言していくことが日本医師会の役割であると考えています。今後もWMAとCMAAOの会長として、日本のみならず世界に広く目を向け、理念を高く掲げ、人々の健康、福祉の向上に努めて参りますので、会員の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 年 頭 所 感



宮崎県医師会顧問

秦 喜八郎

あけましてお目出とうございます。

国庫補助金削減を踏まえ、全医連第55回全体協議会(2017. 10. 20 奈良)では、近藤国保問題検討委員長より「国保補助金削減への対応と医師国保組合の将来について」の基調講演がありました。小生も小規模組合を代表して、現状維持(都道府県単独組合存続)への努力を主張する機会を与えられました。

私共は、補助金削減を阻止するため全医連の法人化を急ぎました。結果として一敗地にまみれました。それでも地域に密着した医師国保組合の存続のため以下の提案をしました。

- ① 国庫補助金削減阻止, 高齢者支援金・納付金値上げの歯止め
- ② 組合員増強(全医師の加入特例)
- ③ 先進医療・超高額医療への対応
- ④ 保険料の値上げ(市町村国保・協会けんぽ)
- ⑤ 保険者機能の強化(特定健診・特定保健指導, インセンティブ)
- ⑥ 組合員へのメリットの追求(保健・予防)

①, ②, ③については、全協、日医、行政への働きかけ、各都道府県での国会議員への陳情案が必要です。④については大部分の組合が保険料の値上げに踏み切っています。⑤については、組合員のための日曜健診を始めた(当県では36年前から実施)、⑥についてもスポーツ医学を取り入れた予防事業(当県では3年前からロコモ対策を実施)などの提案がありました。

総体的に各組合間の情報交換が乏しいと痛感しました。組合員の構成や運営も雑多です。組合員の構成が医師と家族のみの小規模組合(青森県、富山県、香川県、愛媛県)に情報の共有を呼びかけています。

医師国保組合は医師会員(特に開業医)に対する唯一の福利・厚生事業であり、地域医療の支えである、との認識のもとに、組合員の大多数が望んでいる単独存続の道を模索したいと思えます。

※ 詳細は日州医事12月号(日州医談)を参照。



宮崎県医師会顧問

稲倉 正孝

新年明けましておめでとうございます。世の中は猛烈なスピードで激変してい

ます。IT, AI及びIoTの進歩は凄まじく、高齢者は取り残される感じがしています。政治手法・政策は理想から遠ざかって実利的・自己中心的・暴力的なものが主流になっています。世界は独善的な権力者によって支配されようとしています。自国第一のトランプアメリカ大統領, クリミア半島併合のプーチンロシア大統領, 「治国理政」の習近平中国共産党総書記, ミサイル核戦力完成を宣言する金正恩朝鮮労働党委員長等々の権力者がゲーム感覚で政治を行う現実には恐怖を感じます。

昨年末に行われた衆議院選挙では自民・公明連立与党が圧勝しました。一時、人気の高かった小池百合子代表の「希望の党」は、「排除発言」, 「内部留保税発言」などで急速に支持を失い、野党連合は惨敗しました。言葉は一旦発せられると強毒型鳥インフルエンザウイルスのように瞬時にパンデミックに伝播します。安倍首相は総選挙での大勝により、森友・加計問題の襖は済んだとの姿勢であるが、国民は決して納得していません。

平成29年最後の大相撲九州場所で暴力事件が再発し、横綱日馬富士が引退に追い込まれました。遠く離れたモンゴルの地より若くして来日し、苦しい稽古、修業を積み重ね、小柄な身体にもかかわらず、最高位の横綱まで登りつめたのは見事であったが、心技体の極限を求められる相撲道の最高位横綱の重みが許しませんでした。日本相撲協会理事会は通算40回優勝の輝かしい実績を持つ横綱白鵬にも横綱の品格を損なったとして嚴重注意を与えました。

このような状況下でわが国では天皇陛下の退位が2019年4月30日に決定しました。新しい元号を迎えるにあたって、本年も平穏に暮せるよう祈っています。

## 年 頭 所 感



宮崎市郡医師会長

川 名 隆 司

明けましておめでとうございます。旧年中は、一方ならぬご厚情を賜り誠にありがと

うございました。

宮崎市郡医師会病院を始めとする本会諸施設の建替整備事業は、宮崎市の防災支援拠点整備事業と並行して順調に進んでいます。現在、移設用地の造成が行われており、今年の秋には建設工事に着工、2020年の初夏に開院予定です。南向きの病院棟は、屋上にヘリポートを持つ免震の6階建てで2階に検査センターが入ります。その病院棟と直角に位置する看護学校棟は耐震の4階建て、1階が事務局、4階が検診センターです。また、市郡歯科医師会の宮崎歯科福祉センター、市郡薬剤師会の会営薬局、仮設住宅用の公共空地も配置され、災害・救急医療に特化した医・歯・薬・看護が協働する医療防災ゾーンとしての役割を果たしたいと思えます。

2025年問題の有効な対策が地域医療構想と地域包括ケアシステムであることは言うまでもありません。前者については地域医療構想調整会議が、後者については宮崎市郡在宅医会が円滑に機能することがポイントであり、本会が積極的に係わってまいります。

本年4月は、診療報酬・介護報酬の同時改定、第7次医療計画、新専門医制度等がスタートする重要な節目です。そのような状況の対応のキーワードは「オール宮崎」、即ち官(行政)・民(医師会)・学(宮大医学部)の連携だと考えます。本会役員一同、都市医師会としての役割を認識し、課題をクリアしていく所存です。

本年が皆様にとりまして、更に繁栄の年となりますよう心からご祈念申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。



都城市北諸県郡医師会長

飯 田 正 幸

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中

は当医師会へのご支援、ご協力大変ありがとうございました。

移転しました医師会病院・健康サービスセンター・夜間急病センターの3施設は順調に運営しております。医師会病院は収益が減少した27年度を大きく上回る見通しで、担当者・会員もほっとしている状況です。

今年は診療報酬・介護報酬のダブル改定が行われますが、財務省方針は2%半ば以上のマイナス改定とし、国民負担を抑制する必要があると述べています。しかし全額税金の公務員給与は28年度予算案で288.1万人に26.5兆円、29年度予算案287.8万人に26.6兆円使われます。3,000人減っているのに1,000億円増えています。平成27年度国民医療費42兆3,644億円のうち税金16兆4,715億円の医療費は下げるといいます。どちらの国民負担が多いのでしょうか。

公務員給与の方が10兆円も国民負担は多いのです。企業は給与をあげると社会保険料も上がると言いますが、内部留保も多いのだから当然だと思います。社員にも社会にも貢献せず内部留保を増やすのがいい企業なんではないでしょうか？

財務省は2017年度の税収見通しが57兆7,120億円となり、来年度の税収は58兆円を超え、バブル期の1998年度の58.5兆円以来の規模になると言われています。それを何に使うかは言うまでも無いと思います。毎年同じようなことを書いていますが、メディアが書かないことを言い続けたいこのままで良いと思われても困ります。

本年も当医師会に対しご協力、ご支援よろしく申し上げます。そして本年が皆様にとりまして輝かしい年になりますことを祈念いたしまして新年の挨拶といたします。



延岡市医師会長  
吉 田 建 世

新年明けましておめでとうございます。旧年中は当医師

会へのご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、平成28年10月に宮崎県地域医療構想が策定され、それに基づき、現在各地区で地域医療構想調整会議が開催されているところであります。延岡・西臼杵地域でも宮崎大学地域医療連携センターの鈴木斎王先生にお越しいただき、管内のすべての病床を持つ医療機関に対し、地域医療構想の主旨や医療データ提出による分析して活用できる内容を説明し、また病床区分変更に対する医療介護総合確保基金の活用方法などの説明を行いました。同時にすべての参加医療機関にデータ提出をお願いしたところです。まだ県内でも基金への応募が少ない状況ではありますが、今後の医療情勢の変化に対応すべく、本地区としても議論を深めていきたいと考えています。

先日、平成30年度から始まる第7次宮崎県医療計画の素案が発表され、これまでの5疾病5事業を中心にして、疾患がより細分化され、災害医療等にも踏み込んだ多くの提言がなされています。今後の5年間を担う計画であることから、当医師会としても県医師会と連携を強化し、実現可能な内容にするため、協力していきたいと考えているところです。

今年も県医師会の会員の先生方には、ご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。



日向市東臼杵郡医師会長  
渡 邊 康 久

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。新年にあたり会員の先生方のご多幸を祈念申し上げます。

昨年は、九州北部で記録的な豪雨による大規模な自然災害が発生いたしました。近年甚大な被害が相次いで発生していますが、今年こそ災害のない年になるよう祈っているところです。

国政に目を向けますと、北朝鮮をめぐる緊張が続く中、衆議院総選挙が実施され、与党が313議席を確保し、第4次安倍内閣が発足しました。

政府は社会保障制度を「全世代型」へと転換し、新たに2兆円規模の対策を打ち出し、財政健全化目標は先送りされる形になりました。

こうした中、本年4月には6年に1度の診療報酬・介護報酬の同時改定が行われます。また、財政基盤を強化するため、国民健康保険の運営主体が市町村から県へ移行されます。地域包括ケアシステムの構築・地域医療構想の策定・働き方改革など医療を取り巻く環境もめまぐるしく変わり、目が離せない状況が続いています。

さて、会員の先生方のご理解により開始しました日向市初期救急診療所も10年目に入ります。引き続き2次救急医療機関の負担軽減のため、会員先生方のご協力をお願いいたします。

また、今年は役員選挙の年にもなっています。先生方に医師会活動について関心を持っていただくために選挙規程を見直し、多くの先生が役職を経験できるように改正を行ったところです。先生方の意欲を期待しています。

准看護師養成にあたっては、労働力不足による人材確保が一段と厳しくなっている中、卒業生の地元就職促進の取組みを推進していきたいと思えます。

本年も引き続き当医師会会員が一丸となって取り組む体制を堅持していく決意であります。昨年同様よろしくお願い申し上げます。



児湯医師会長  
永友和之

明けましておめでとうございます。

今年、私は年男です。我が家の愛犬「ジュゲム」君のように、のんびりと楽しく若い娘さんにモテモテの1年であることを願っています。会長職も誰かに押しつけるつもりです。

では、当医師会の近況を報告します。

現在の会員は70名で残念ながら少しずつ減少しています。昨年は3つの医療機関が閉院となりました。長い間の地域医療への貢献に感謝申し上げます。

一昨年の「おりたこどもクリニック」に続いて、昨年10月には新富町に「おおやまこどもクリニック」の新規開業がありました。日曜在宅医を含め当地区の小児医療はかなり恵まれていると自負しています。

救急医療は川南病院など5つの病院がフル稼働し、医療圏外への流出もかなり少なくなっています。宮崎市夜間急病センターや西都児湯医療センターなどにも会員の有志が当直に出向いています。

児湯内科医会、宮崎病院医療セミナー、在宅医療推進のための研修会や講演会も毎回多くの出席者でにぎわっております。

児湯准看護学校は、膨大な赤字のために土俵際まで追いつめられています。か弱い足腰で何とか粘っています。果たしてどうなりますか。

以上です。

今年もどうぞよろしく願い申し上げます。



西都市西児湯医師会長  
松本英裕

あけましておめでとうございます。

1年、本当に早いですね。もう年頭所感を考える時期になってしまいました。

当医師会では会員の高齢化と会員数の減少が深刻になってきています。新規開業、新規入会、再入会に期待したいところです。さて、西都児湯医療センターとの関わりですが、勤務されてる先生方と行政と医師会の先生方との関わりを密にし、新病院に向けて意見交換会も開催しております。昨年12月には西都児湯医療センターに脳神経外科医が1名大学から派遣されました。関係者の方々に感謝申し上げます。今後も大学教室とも相談させてもらいながら、児湯医師会も含めた同じ医療圏の救急体制の充実に努力していきたいと思えます。将来的には素晴らしい中核病院、研修施設にもなって欲しいと祈念します。

西米良村を含めたこの地域は文化を含め、素晴らしい土地です。この土地に多くの人が安心して定住し、移住していただける医療関係の充実を目指したいと思えます。

昨年の自分の一文字は“革”でした。何か変革、改革ができたでしょうか？

今年は“還”としてみたいと思えます。私事ですが、今年の3月で“還暦”を迎えます。辞書で調べると、還暦の“還”は元の場所、状態に戻る、かえるという意味で、「干支が一周して元に戻る」ことから「還暦」と言い、「元に戻る」ということで「赤ちゃんに還る年」となり、還暦のお祝いの色が赤になったようです。生まれ変わって、健康に気を付け、更に精進したいと思えます。

最後になりましたが、皆様方に当医師会へのご指導、ご鞭撻をお願いし、今年も会員の先生方の健康と幸せを祈念しながら頑張っていきたいと思えます。



南那珂医師会長

島田雅弘

南那珂より新年のご挨拶を申し上げます。昨年を振り返ってみますに幾つか気になることがございました。在宅で患者さんが亡くなりますと日南市では救急隊が呼ばれ不搬送と判断された場合には、警察に連絡が行き検死となります。在宅死＝検死とならぬように県医師会から県へ働きかけていただいたのですが、直ぐには改まらないようです。現在市が間に入り在宅医と消防の協議の場を年明けにも作る予定です。また学会出張など在宅主治医不在時の対応として、登録医の中から代替医を選び、その期間診療をお願いし、対価として1日1万円支払うという「論吉システム」を昨年12月より日南市で導入しました。幾分かは在宅医の負担が軽減されるものと期待しています。一方昨年8月に日南市の保育所で流行性耳下腺炎が発生し、行政に報告されることなく、9月には、同保育所の半数の園児に罹患が確認され、近隣の小学生も罹患していることがわかりました。この報告を受けて峰松理事の尽力により、第2、3種感染症発症時には早急に日南市、医師会、保健所で情報を共有することが決まりました。最後に地域医療構想ですが、日南市内の民間病院の移転新築に伴い、地域医療構想調整会議で承認は出したものの、理事会で詳細な説明を求められ、近日中に保健所も交え医師対象の説明会を準備しています。調整会議での議決の前に、地区医師会へのしっかりとした説明が必要であったと感じています。南那珂は人口5万人の小さな地区ですが、それでもいろいろあります。今年もご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



西諸医師会長

内村大介

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに旧年中に皆様方に賜りましたご指導、ご鞭撻に対しまして厚く御礼申し上げます。

2017年を振り返りますと、8月には残念ながら当地域で分娩を行う医療機関がなくなってしまいました。これまで長きにわたり地域住民のためにお産を支えてこられた先生方には感謝と敬意を表したいと思います。10月には衆議院選挙が行われ第4次安倍内閣が発足し、いよいよ憲法改正に向けた国民投票の実施が現実味を帯びてきました。当西諸地域におきましても、えびの市長選挙、高原町長選挙が行われ、高原町では新たなリーダーが誕生しました。本年4月には小林市長選挙も行われ、小林市にも新たなリーダーが生まれる予定です。また7月からはえびの市出身の産科のドクター並びに宮崎大学の多大なるご協力により小林市立病院での分娩が再開される予定となっており、住民の負担が軽減されることが期待されます。当地域の行政には、真剣に将来を見据えた医療行政の舵取りが行われることを切に願っております。

本年は6年に1度の診療報酬と介護報酬のダブル改定の年にもなっております。財務省は診療報酬改定についてはネットマイナス2%半ば以上、介護報酬改定についても保険料負担増を抑制する観点からマイナス改定が必要であると提言しております。2025年に向けて様々な取組みが行われている中、我々を取り巻く環境はますます厳しくなることが予想されますが、住民の皆様が将来にわたって必要とする医療・介護を過不足なく受けられるように、本年の同時改定の動向には注視していかなければなりません。

最後に本年も皆様方にとって佳き年でありませうよう祈念申し上げます、引き続き当医師会に対しましてこれまで以上のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



西臼杵郡医師会長

佐藤 元二郎

あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

熊本地震による南阿蘇からの道路寸断で熊本市方面のアクセスは俵山ルートだけでしたが、昨年より長陽大橋ルートの開通で熊本市内の移動や医療施設へのアクセスが良くなり安堵しております。

昨年は行政との共催で2つの町民公開講座を開催しました。3月に「腎臓病のかんちがい」の演題で宮崎大学医学部附属病院の佐藤裕二先生をお招きし腎臓病について早期発見、発症予防、進行抑制のため取り組む治療方法など、特に原疾患の治療として糖尿病のコントロール、高血圧の治療、また低塩分食、適切な運動、禁煙など生活習慣の改善が重要なポイントと学びました。8月に「糖尿病腎症の発症・進展の防止に向けて」「宮崎県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」が策定され、平和台病院の中村周治先生より、微量アルブミン尿症例を積極的に治療することにより、腎症の進行阻止のみならず、心血管イベント、総死亡の減少が示され、腎症の治療には血糖コントロールと糸球体高血圧の是正が必要である。また患者本人の行動変容をおこすには、家族を巻き込んで毎日の生活管理が重要であり、医療スタッフも含めたチーム医療の活用が腎症の進展予防につながると教えていただきました。高千穂町は糖尿病有病率が高く今後も特定健診受診率の向上、健康フェスなどのイベント、Dr. 出前講座の継続、地域連携パスの有効活用、病診連携医と腎臓専門医の連携を深め、行政と協力しながら透析患者の減少および心血管疾患の発症、進行の予防を進めたいと思います。本年もどうぞよろしく願いたします。



宮崎大学医学部医師会長

鮫島 浩

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も皆様にとって穏やかで健やかな一年になりますよう祈念申し上げます。

年頭にあたり、新たに設立された光学医療診療部・消化器病センターを紹介します。本部署は大学病院の2階中央部にあり、昨年の10月中旬に増改築を終え、「光学医療診療部・消化器病センター」として新たな一歩を踏み出しました。内装はベージュからピンク系で統一され、明るい雰囲気を醸し出しています。検査に必要な施設備品も充実し、検査用のベッド、回復期のチェアにも配慮がなされ、患者さんからも概ね好評を得ています。

ここでは消化器系のがん、呼吸器系のがんを中心に、内視鏡検査や治療に関する集学的医療を行っています。消化器系では、消化器内科の専門医、消化器外科の専門医、さらにはがん治療の専門医が結集して、最先端の医療を展開しています。また若手医師の育成にも力を注いでいます。

大学病院では、患者さん、医師会会員の皆様、さらに地域社会からの要望に応えるべく、最善の医療を提供しています。その流れの中で新たな一歩を踏み出した光学医療診療部・消化器病センターを、是非、ご活用ください。また、さらなる改善に向けてチーム医療を進めてまいりますので、会員の皆様からのご助言ご指導をよろしく願いたします。

本年も、大学病院としての役目を果たしつつ、さらなる展開を目指してまいりますので、どうぞよろしく願いたします。

## 年 頭 所 感



内科医会長  
小 牧 斎

あけましておめでとうございます。

県内科医会の先生方におかれましては、よいお年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月・6月の総会の開催、4月の日臨内(日本臨床内科医会)総会(東京)及び10月の医学会(大阪)への参加、10月の九州各県内科医会連絡協議会及び審査委員懇話会(福岡)への参加など諸行事・事業を無事遂行できました。

日臨内においては会員の減少、経理状況の悪化が問題となっています。会費値上げで対応しようとしていますが、根本的な解決策になるのか疑問です。当会においても会員の減少は否めず、自ずと会費収入の減少、薬品会社からの協賛金の減少などにより、今後の健全な運営を考えますと事業規模の縮小・改革を迫られています。具体的な対策としては、1)総会を年1回にする、2)会誌発行は年1回にし、新しい情報はその都度FAXニュースなどで提供する、3)会員名簿は簡素なものにするか、CD化したものを配布する、など挙げられます。いずれにしろ次年度の総会に諮る必要があります。

今年は医療・介護の診療報酬ダブル改定の年になっています。国の方針は増え続ける高齢者の医療費抑制の方向から、かかりつけ医制度を利用し在宅医療へますますシフトさせていくものと思われれます。今後うまく機能させるためには国民への周知徹底、高齢者の急変時の受け入れ態勢の確立、在宅医療における看取りに対する基準作りなどが急がれます。当会としても県医師会と連携しながらより良き医療提供体制を構築していかなばならないと思っています。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



小児科医会長  
高 山 修 二

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、当会学術委員の盛武浩先生が宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座の教授に就任されるという大変喜ばしい出来事がありました。その宮崎大学医学部では今年から地域医療実習が始まります。多くの小児科医の参加で医会と大学との協力体制をより強固にし、医学生には小児科医の魅力を大いに伝えていただき、後継者確保につながればと期待しております。

協力体制といえば、昨年市郡単位ではありますが、産婦人科医会との合同研修会が実現しました。県単位でも濱田会長のお力添えを賜り産婦人科医会と小児科医会が協同して出来ることを推し進めていければと思っております。

医会の事業としてはホームページを開設し、小児関係の各種情報や各急病センターの受診状況、保護者の方への情報提供等ができるようになりました。医会会員のコラムもリレー形式で行っております。もう一つ昨年は、『宮崎県における小児救急電話相談事業(#8000)が夜間急病センター受診に与える影響』を医会でアンケート調査し、宮崎では#8000が急病センター受診抑制に一役買っていることが判明しました。今年度は、小児在宅医療に関して行ったアンケート調査を解析し宮崎の実状と今後について考えていく資料にすべく、小児科医会学術集会で弓削委員に発表していただく予定です。

その他にも課題は山積みですが、会員の先生方のご協力のもと少しでも前へ進めていけたらと思っております。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



外科医会長  
八 尋 克 三

皆さま明けましておめでと  
うございます。本年が皆様にと  
って良い年でありますよう

願っております。

さて、本年4月からは新専門医制度による専門医研修が開始する予定になっています。外科医の場合、卒業後2年の臨床研修後に最短3年の養成を経て外科専門医を取得することができる制度です。外科専門医取得後に消化器外科、呼吸器外科、心血管外科そして小児外科などのサブスペシャリティ領域専門医のコースが想定されています。専門医とは「それぞれの診療領域における適切な教育を受けて十分な知識・経験をもち、患者から信頼される標準的な医療を提供できる医師」と定義されています。この定義からすると本会会員は既にして外科専門医であると思います。専門医の認定は、各学会から独立した第三者機関である日本専門医機構が症例数などの活動実績と筆記テストで行い、更新にも活動実績の要件が付されています。既存の外科専門医は、外科学会と機構が定める要件を満たせばそのまま新専門医として移行・更新されることになっています。新専門医制度の問題点として、症例が多い都市部や大学病院に医師が偏在するのでないか、または地域ごとに専門医の定員が定められるので希望する専門医になれない場合もあるのではないかなどが挙げられています。この制度が始まるとほとんどの医師が専門医を目指していくと思われそうですが、外科専門医を取得した後輩たちが開業する場合に現在のように「内科、整形外科・」などを診療科として標榜できなくなるのではと危惧しています。県外科医会としてはこの新専門医制度の動向をしっかりと注視していく必要があると考えています。

また、今年は2年ごとの診療報酬改定の年です。改定のたびに、我々医療従事者は、使命感と矜持を踏みつけにされる怒りと虚しさを感じます。医療行政はともあれ、我々外科医は、県民の健康を守るためにこれからも信頼される医療を地道に実践していくことだと思っています。そこから必ずより良い医療への活路が開かれるものと信じています。

会員の皆さまの益々のご活躍を祈念して新年の挨拶といたします。



整形外科医会長  
川 野 啓 一 郎

明けましておめでとうございます。  
昨年は9月に宮崎大

学整形外科学教室の帖佐悦男教授が主催する日本整形外科スポーツ医学会が宮崎市で開かれました。また、10月には押川整形外科の押川絏一郎先生が会長を務められている宮崎県トライアスロン連合会主催のワールドカップトライアスロン大会が宮崎市で開かれ、多くの外国選手が熱戦を繰り広げました。スポーツランド宮崎構想が着実に実を結んでいるのではないのでしょうか。東京オリンピックに向かって今年も多くのイベントが宮崎で開かれることを期待しています。スポーツを通して県民の皆様が今年も健康でありますように、又、我々医師にとっても、診療報酬改定というストレスに打ち勝つためにも、何らかのスポーツを継続していくことは大切だと考えます。

ところで、ロコモ予防に関してですが、医師国保理事長の秦喜八郎先生のご指示で組合員の先生方を対象に、ロコモ度チェック及びロコトレ指導を行っていく計画が進んでいます。ただお忙しい先生方に如何にしてロコモ検診の時間を作っていただくかという難しい問題があります。

ロコモ関連で、毎年、医師国保組合が企画しております「歩こう会」の開始前には、宮崎大学リハビリテーション部から講師の先生に来ていただき、ロコモ予防体操を指導していただいております。今年は、3月25日に予定されていますので、皆様是非御参加下さい。

医者の不養生という言葉と縁がないように今年も健康で良い年になりますようにお祈り申し上げます。



皮膚科医学会長  
成田博実

新年あけましておめでとうございます。

国政は自民党の一党独裁の継続です。二大政党による喧々囂々の熱い議論を期待するのはまだ先のことのようにです。民進党は分裂し元の鞘に戻るとは思えません。信条を異にする政治家の集まりだったので当然の帰結だったのかもしれませんが。成熟した民主主義のためには拮抗する勢力の切磋琢磨が必要です。「自民党は好きだが、安倍首相は嫌い」と言う人は多いらしい。「謙虚に対応しなければならない」という反省の言葉は、裏を返せば今まで謙虚ではなかったということである。国会討論で、自らヤジを飛ばすのはいただけない。選挙の応援演説で「帰れコール」が起こるのも宜なるかなと思う。

ヒルドイドクリーム<sup>®</sup>等の保湿用外用薬が今問題になっている。雑誌やネットなどで「美肌になれる」などのうわさが広まり、処方薬として低料金で入手できることから、化粧品代わりに欲しがる女性が増えたため、医療機関での処方が増している。保湿薬の年間薬剤費は93億円。国は1回の処方料の制限やOTC化を進めるかもしれない。今春の診療報酬改定は厳しい削減を強いられそうなので、皮膚科としては非常に気になる。本来は治療薬として処方、外用されるもので、万が一患者さん以外の美肌のために転用悪用されたら、医療制度に反する行為となる。患者さんのモラルと主治医の適切な処方が肝要である。

遠隔診療の診療報酬改定での評価拡大も大きな懸念事項と考えている。

昨年11月12日の朝日新聞天声人語欄で、皮膚の日(いいひふ)が紹介された。宮崎県皮膚科医学会は、皮膚の日活動の一環としてポスター制作と講演会を行っている。皮膚科啓発ポスターは28枚目で「日用品、美容商品等と皮膚病」をつくった。11月5日には、27回目の皮膚科講演会「テーマ：いろいろな抗酸菌によるいろいろな病気ー結核、非結核性抗酸菌症からハンセン病(癩病)までー、演者：出盛允啓先生」を催し、169名の参加があった。50名の会員のチームワークで成就できたと自負している。来年度も継続していく所存である。



泌尿器科医学会長  
中山健

まずは皆様に新春のお慶びを申し上げます。

さて、我が国は7年後には超高齢化社会を迎えます。これに向けて本年度は国による第7次医療計画、第7期介護保険事業計画、第5期障害福祉計画が同時にスタートし、診療報酬と介護報酬の改定も行われる節目の年となります。これからの医療と介護は地域医療構想、地域支援事業と在宅医療支援を見据えた地域包括ケアシステムの構築により提供されることとなりますが、これにはかかりつけ医が中心となった外来診療の延長としての看取りを含む在宅医療・在宅看護の果たす役割が大きいと思われまます。ただ少子、高齢化の結果は多死、人口減少の社会となるわけで種々の需要と供給は、ずれはあってもいずれ両者とも減少するということも念頭におく必要があると思っております。

ところで、我が国の医学発展の歩みは確実です。これをがん治療領域でみますと、当科関連では腎がんを中心に分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害剤の使用が一般化し、前立腺がんに関しては新規の内分泌治療薬や抗がん剤が登場しており、今後は薬剤選択における有用なバイオマーカーの開発や分子標的治療薬の耐性化機序の解明が進むと思われまます。また、特に前立腺がんに対する放射線療法は光子線治療のみでなく、いわゆる粒子線治療の普及も期待されまます。

他方、昨年秋は作家イシグロ氏を除くと4年連続の日本人ノーベル賞受賞は成らず、残念でした。

多事多難が予想される本年ですが、私たち会員は力を結集して乗り切っていきたいものです。



産婦人科医会長  
濱田 政 雄

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

少子化が一層進み、宮崎県の出生数は一万人を切り、全国一の高校卒業者の県外流出と相まって県内人口は減少の一途です。道州制となれば消滅県の第1候補になりそうな状況です。

さて、一億総活躍社会政策の三つの柱の一つの“夢を紡ぐ子育て支援”の一環で、平成31年までに子育て包括支援センターを設置することが決まっています。妊産婦及び乳幼児が安心して健康な生活を送れるように利用者目線に立つ、一貫性・整合性のあるワンストップ拠点《子育て世代包括支援センター》を立ち上げて切れ目のない支援を実地することが目的です。妊娠うつによる自殺者数は60余名で、0か月での児童虐待死と共に無視できない状況です。その中で、妊産褥婦の心身のケアや育児サポート等として、妊娠中から産後2週間・一か月健診への補助が開始されました。早めの支援による妊産婦の自殺や児童虐待の防止が視野に含まれます。安心安全な出産子育てに向けての新たな取組みの一步です。産後うつ等に悩まれる女性支援は行政と産婦人科・精神科などとの連携事業ですが、ソフト面での協力体制構築が重要です。虐待児の精神発育の遅延が指摘されています。社会性を持った子どもの成長のために里親を含めた2才までの養育にも力を注がなければなりません。安心安全な出産のできる宮崎県で不安のない子育てができる環境整備に尽くしましょう。



眼科医会長  
柴田 博

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。

今回は「ビジョンバン」についてお話したいと思います。

東日本大震災直後に、アメリカのハリケーン「カトリーナ」の際に作られた、眼科医療支援車両(Mission Vision Van)をフロリダ大学から借り、震災被害者への質の高い眼科医療ができました。そこで、日本眼科医会は平成25年3月に日本版のビジョンバン(眼科医療支援車両)を作りました。その後4年間、平時には検診を主体とした活動を東北地方で行ってきました。通常の検診と異なり、必ず眼科医と看護師と視能訓練士が同行します。日本全国で災害が起きたら救援活動を行う予定です。熊本地震では、幸いなことに診療のできない眼科診療所がなかったので、出動しませんでした。

このビジョンバンが、今年9月の防災の日に合わせて、東南海地震による津波に備えて宮崎市と大分市に来る予定となっています。宮崎県眼科医会が2年に一度、一般の方向けに開催している「目の健康講座」を今年開催しますので、その際にビジョンバンを会場に設置して検診を行えないかと検討中です。

また今回からフランスのL'OCCITANEからビジョンバンによる検診活動をご支援いただき、5万ユーロの寄付とビジョンバンにて検診をされた方へ試供品の提供をしていただきます。

今年はこのように、広く一般の皆様にも目の健康を周知できるイベントが控えております。

皆様のご指導、ご鞭撻をよろしく願いたします。



耳鼻咽喉科医会長

井 手 稔

新年あけましておめでとうございます。謹んで初春のお慶びを申し上げます。

日本専門医機構の新専門医制度の全体的な開始は2018年度となりました。日本耳鼻咽喉科学会(日耳鼻)は2017年度から新専門医制度の運用を開始しています。ところで開業医の多くは既に各学会の専門医を持っており、その更新に耳鼻咽喉科では2016年度から新更新認定基準に基づいて、診療実績の証明や各種講習会参加が求められています。私も「診療実績の証明」のため2016年春から週1例の患者症例のメモをとっていました。ところが日本専門医機構は2017年5月に「連続して3回以上の更新を経た専門医(学会専門医を含める)は、(中略)診療実績の証明を更新要件から免除される」として、私のような古い専門医は「診療実績の証明」は不要となりました。また、日耳鼻総会や日耳鼻専門医講習会では耳鼻咽喉科領域講習や専門医共通講習の単位が1日で多く取れるため大きな会場でもいつも超満員でした。しかも、遅刻や途中退出は認められません。耳鼻咽喉科領域講習や専門医共通講習は日耳鼻宮崎県地方部会主催で多く行われていましたので、私の場合すでに十分な単位が取れているはずなのですが、全国学会に行くついでに並んで出席してしまいます。皆がしっかりと単位計算すればここまで混雑することはないと思います。

最後に、宮崎県医師会の先生方には、本年も宜しくご支援、ご指導お願いいたします。



精神科医会長

吉 田 建 世

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年3月、高齢者の交通事故の増加を受け、改正道路交通法が施行されました。75歳以上の人が免許証更新時に認知機能検査を受け、「認知症のおそれ」がある人が診察を受けることになりました。宮崎県警察が宮崎県医師会に診察の協力を要請し、県内42医療機関と多数から手上げをいただき、すべてが指定されました。そのことに対し、昨年11月県警より県医師会に感謝状が授与されました。実際には免許を自主返納する人も多く、認知症の診断により失効した人はごく少数で済んでおります。

現在、第7次宮崎県医療計画が策定中ですが、精神科分野では大きい変更があります。精神科の医療圏は今まで県全体が1つとされていましたが、次期は、現在の精神科救急システムで分けられている3医療圏(県北、県央、県西南地区)になりそうです。各医療圏の基準ベッド数も規定されることになり、今後課題も多くなると予想されます。また計画には、うつ病、認知症の他にも、児童・思春期、発達障害、てんかん、依存症、災害精神科医療(DPAT)等も組み込まれていて、幅広いものとなっています。今後精神科にもより細分化・専門化の波が来るのかと思います。悩んでしまっています。

最後になりますが、宮崎県医師会会員の皆様の、今年のご健勝をお祈り申し上げます。



放射線科医会長  
平 井 俊 範

新年明けましておめでとうございます。

私が放射線科医になって28年余になりますが、その間の放射線医学の進歩を振り返ると同時に、10年後や50年後の放射線医学はどうなっているかと思いを馳せることがあります。

考えてみると私が放射線科医になって現在までに、CTの全身への応用、MRIの出現から臨床応用、SPECTの発展とPETの臨床への導入、様々な領域でのIVRの発展と放射線治療の高度化がみられ、放射線医学の進歩の中では恐らく最も大きく進歩した時期であったと思います。そして今後の10年において、CTは低被曝化、高分解能化や元素が同定可能な高機能化が進み、MRIは短時間で高機能な情報が得られるようになり、これらにより新たな画像診断法が開発されるでしょう。放射線治療においては陽子線治療装置の小型化が進み、各県に一装置が配置される時代になるかもしれません。

社会に目を向けると自動車産業を中心にAI (artificial intelligence) の技術革新は著しいものがあります。私はこのAIの技術が放射線医学の来たるべきinnovationになり得るのではないかと考えます。AIが放射線科医の仕事を奪うのではないかという議論もありますが、誤診をしても、AIを訴えることはできません。誰が責任を取るかと言うことを考えると、やはり最終的には診断医が判断しなければなりません。その意味で、AIは診断医のライバルではなく、よき友となるべき存在となっていくでしょう。

最後になりますが、本年もどうぞよろしくお願いたします。



東洋医会長  
川 越 宏 文

明けましておめでとうございます。宮崎県東洋医会より

新年のご挨拶を申し上げます。

多くの先人たちのご苦勞により医療用エキス製剤が薬価収載後半世紀を迎えようとしています。この漢方に関して近年中に大きな動きがあります。それは国際疾病分類(International Classification of Diseases:ICD)の改訂版であるICD-11の第27章に伝統医学(漢方・鍼灸)の疾病分類が入る見通しであることです。これによって漢方も現代医学の必要なツールとして国際的にも認められることとなります。

この伝統医学を取り巻く環境は国々で事情が異なるようです。その一つがサービスの提供者の違いです。日本では1人の医師が西洋医学と伝統医学を同時に治療ツールとして選択可能です。ところが隣の中国の伝統医学である中医学は中医師、韓国では伝統医学である四象医学では韓医と西洋医学を担当する医師と教育システムが異なります。1人の医師が両方の選択肢を持ち、その患者にとってよりよい医療を提供できるシステムは素晴らしいと思われま。ところが財務省等が「セルフメディケーションの推進」を行い、その目的のために医師による漢方治療を実施しにくい環境に変化させようという動きもあります。

この問題に対して我が県選出の松下議員・古川議員・長峯議員や関係者の皆様のお力添えをいただき大変感謝しています。我々も伝統文化である漢方を治療に取り入れ、それぞれの専門領域の医療の幅を広げるため日々研鑽して参ります。今後ともよろしくお願いたします。



透析医学会長

藤 元 昭 一

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は会員の先生方には色々とお世話になり、厚く御礼申し上げます。

昨年は、本会が宮崎県医師会の専門分科医学会として承認された2008年9月以降、早10年目を迎える年でした。おかげさまで、県医師会の団体の一つであるということで、様々な活動に良い影響があると感じています。例えば、感染・災害対策などでは自治体との協調も得られやすくなったこと、他の会との協調が得られやすくなったことなどがあります。本会は、宮崎県臨床工学士会や宮崎県腎不全看護会とも一部共同した活動も行ってきています。現在、県下全域からの内科系9名、泌尿器科系4名の総勢13名の役員「中山健(副会長)、蓑田国広(会計・医学会担当)、盛田修一郎(災害・医療安全対策担当)、福田聡一郎(医療保険担当)、山田和弘(医学誌編集担当)、佐藤祐二(学術生涯教育担当)、池井義彦、松岡文章、久永修一、田中隆、家村文夫、山下政紀(監査)の各先生」を中心に約90名の本会員が一緒になって、県内の透析医療の

継続と発展のために活動しています。

本会では透析療法に関する学問的・技術的向上を図るために、内科系腎臓病関連や泌尿器科系の研究会などとは別に、年2回の総会(2月、7月)、透析療法と安全管理セミナー、宮崎県腹膜透析研究会の他、数回の透析療法に特化した研究会を、しばしば医師以外の医療スタッフも交えて開催しています。昨年は、透析患者の血糖管理、骨ミネラル代謝異常、腎性貧血の話題や透析患者の日常臨床で重要であるシャントと針穿刺の問題などについて勉強しました。また各施設からは、第62回日本透析学会医学会(横浜)や第50回九州人工透析研究会(博多)への発表もなされました。今後も、共有できる問題に対しては、本ホームページ(<http://miyazaki-hd.com/>)を通して情報共有し、宮崎県の透析医療の発展に貢献できればと願っています。

本年も皆様の当医会へのご指導とご協力の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

謹んで年頭の

ご挨拶を申し上げます

理	常	副	会
事	任	会	長
米 岩 佐 佐 川 蜂 石 高 佐 金 池 荒 小 吉 立 濱 富 河	理	長	長
澤 村 木 藤 野 松 川 村 木 丸 井 木 牧 田 元 田 田 野	事	長	野
威 信 啓 俊 智 一 幸 吉 義 早 建 祐 政 雄 二 行	事	長	行
勤 志 究 博 郎 夫 信 志 二 昌 彦 苗 斎 世 保 雄 二 行	事	長	行
監	理	副	会
事	事	会	長
小 中 赤 嶋 帖 花 系	事	長	長
牧 村 須 本 佐 田 数	事	長	智
文 周 富 悦 武 智	事	長	美
雄 治 巖 博 男 浩	事	長	美

宮崎県医師会

事務職員一同

# 年 頭 の ご 挨拶



宮 崎 県 知 事  
河 野 俊 嗣

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

宮崎県医師会の皆様には、日頃から県政の推進につきまして温かい御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、本県の更なる飛躍に繋がる成果が現れた年となりました。「チーム宮崎」で挑んだ全国和牛能力共進会宮城大会では、史上初となる3大会連続での内閣総理大臣賞受賞を達成し、「日本一の宮崎牛」の真価を全国に示すことができました。

また、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの登録決定や、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けたドイツ陸上連盟の事前合宿の決定など、世界ブランドや地域資源を活用した地域づくりが着実に進展しています。

さらに、交通インフラ整備の前進や、宮崎牛や宮崎キャビア、焼酎などの県産品の輸出促進

など、本県産業の更なる成長に向けた動きが加速しています。

このような成果を本県の更なる発展へと繋げるため、直面する課題にも果敢に挑戦しながら、地方創生の取組を強力に推進してまいります。

一方、医療分野につきましては、現在、平成30年度から6年間の宮崎県の医療施策の指針となる第7次宮崎県医療計画の策定作業を進めているところです。当計画の基本理念である「安全で質の高い医療を切れ目なく効率的に提供する体制の確立」の実現に向け、県医師会の皆様と一緒に取り組んでまいりたいと考えておりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

謹んで年頭の

ご挨拶を申し上げます

理事長 富田 雄二

副理事長 立元 祐保

専務理事 吉田 建世

理 事 橋口 典久

理 事 佐々木 幸二

監 事 石川 智信

監 事 赤須 巖

監 事 桑原 正知

事務職員一同

宮崎県医師協同組合



## 年 頭 の ご 挨拶



衆議院議員(1区)

武 井 俊 輔

新年明けましておめでとうございます。宮崎県医師会の先生方におかれましては、健

やかに新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。また、日頃より宮崎県医師会の皆様のご献身により、宮崎県民の健康を支えていただいておりますことに、深く敬意を表し、厚く御礼を申し上げます。

さて、ご存じの通り、2025年にはいわゆる団塊の世代が全て75歳以上となります。この2025年に向けて、国民一人ひとりができる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続することができる地域包括ケアシステムを構築することが急務となっております。地域包括ケアシステムの構築のため、医療機能の分化と連携の推進、在宅医療の充実といった施策が重要な課題となっております。地域医療の確保に大きな役割を果たされている医師会の皆様に積極的に関与していただくことが重要と考えており、今後とも御指導を宜しくお願い申し上げます。

また、平成30年度は6年に1度の診療報酬と介護報酬の同時改定の年です。2025年以降の超高齢社会も見据え、上記で述べた地域包括ケアシステムの構築の推進、医療と介護の連携強化に資する診療報酬改定にする必要があると考えています。国民一人ひとりが質の高い医療や介護を安心して受けられるよう、関係者の意見も伺いながら、しっかりと検討させていただきます。

最後に宮崎県医師会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



衆議院議員(2区)

江 藤 拓

謹んで初春のご祝詞を申し上げます。宮崎県医師会の先生方におかれましては、ご壮

健で良き新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、平素より温かいご指導を賜り、厚く御礼を申し上げますとともに、県民の皆様の生命・健康を守るため、日夜、献身的にご尽力されておりますことに深く敬意と謝意を表します。

高齢化が進展する我が国においては、今後、医療・介護サービスの需要が増大・多様化することが見込まれています。その中で、本県においても地域医療構想に基づき、医療機能の分化及び連携を推進し患者に応じた質の高い医療を提供できる体制を構築することが求められております。これを実現するためには、地域における医師不足や診療科間の医師の偏在の問題を解決することが極めて重要な課題であると認識しております。政府においては、医師偏在対策について、法案提出を含めて検討を進めているところです。私といたしましても、医師会の先生方のご指導を賜りながら、この課題の解決に全力を尽くして参ります。

また、県民の皆様が安心して質の高い医療を受けられ、医師の皆様もその職務に専念できますよう、今後とも国民皆保険を堅持しつつ、地域医療を担う病院や診療所の経営基盤の安定化等について必要な予算の確保にしっかりと取り組んで参る所存です。

最後に、宮崎県医師会の益々のご発展、先生方のご健勝とご多幸を心から申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



衆議院議員(3区)

古川 禎久

新年明けましておめでとうございます。宮崎県医師会の

先生方におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より本県の医療の充実と県民の皆様の健康増進に献身的にご尽力されておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

さて、平成30年度は診療報酬と介護報酬と同時改定の年であり、医療・介護制度にとって大きな節目の年となります。医療と介護の役割分担と切れ目のない連携を着実に進め、県民の皆様一人一人が安心して質の高い医療・介護サービスを受けることができる環境を整えることが大変重要であると認識しております。しかし、高齢化の進展に伴う介護サービスの需要の増大、ニーズの多様化を背景に、介護従事者の不足が生じ、介護現場では様々なご苦労があるものと存じます。また、医師をはじめとする医療関係者の地域偏在や地域における医師不足の問題も依然として深刻な状況にあります。医療関係者の雇用充実は、地方創生に不可欠であり、地域活性化に直結するものであります。政府におきましても、医師・看護師等の働き方の見直しを含め、医師不足や看護職員の養成、確保等の問題の解決に向けて検討を行っているところであります。世界に冠たる国民皆保険制度を堅持し、今後共、先生方のお力添えをいただきながら、地域医療に混乱をきたさぬよう、引き続き宮崎県の医療環境進展のため、これらの課題に全力で取り組んで参ります。

終わりに、宮崎県医師会の更なるご発展と先生方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



参議院議員

松下 新平

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

宮崎県医師会の先生方におかれましては、日頃から、県民の健康を支え、福祉の向上にご献身いただいておりますことに、深く敬意を表し、厚く御礼を申し上げます。

さて、本年も、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、日本の医療・介護を「地域完結型」の方向に変えていくための重要な年になります。患者の方が急性期や回復期等のそれぞれの状態に相応しい良質かつ適切な医療・介護を効果的かつ効率的に受けることができるようにする取り組みが本格的に始まります。

私自身も総務副大臣の経験を踏まえて、引き続き、医師確保対策については、地域医療介護総合確保基金の地方負担に対して地方交付税措置を活用して医療従事者の勤務環境改善に取り組んで参ります。又、都道府県が実施する医学部生等への奨学金貸与事業や、公立病院の他の病院からの医師派遣経費等に特別交付税措置を講じており、引き続き積極的に医師確保対策に取り組んで参ります。

さらに、地域における医師不足が深刻な状況にあることを踏まえ、今後とも、医師確保の取組について適切に支援して参ります。

情報通信分野では、クラウド技術を活用した地域医療連携ネットワーク(EHR:Electronic Health Record)の高度化や、安全かつ効果的な遠隔診療を実現するためのモデル作り、8KやAI技術の医療分野での活用などを推進し、地域医療をとりまく課題解決に向けて、ICTの利活用をより一層推進して参ります。

これまで同様、参議院議員武見敬三先生が会長をお務めの医療政策研究会の一員として汗を流して参る所存です。

最後に、宮崎県医師会員の先生方の本年の御多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



参議院議員

長 峯 誠

謹んで新年のお慶びを申し上げます。宮崎県医師会のみ

なさまには日頃からの温かいご支援とご指導に感謝申し上げますとともに、宮崎県の地域医療のために日夜ご尽力いただいていることに、心からの感謝を申し上げます。

本年は、6年に一度の診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の同時改定が行われる重要な節目の年です。団塊の世代が全て75歳以上となる2025年においても、宮崎県民が安心安全な医療提供体制の下で暮らしていくには、いま何をすべきか。今年は大変なターニングポイントとなる年です。

少子高齢化の進行に伴い、医療・介護のニーズは高まり続けます。宮崎県もこの大きな流れに無縁ではられません。少子高齢化の中で、質が高く効率的、そして安心できる医療を守っていかなければなりません。

宮崎県が目標とする「いつでも、どこでも必要な医療サービスが受けられる医療体制の確立」のためには、医師の偏在対策の議論、医師の働き方改革の議論も重要と考えております。多様な角度から、宮崎県における医療提供体制がよりよいものとなるよう検討して参ります。

本年も、県民の皆様が安心して医療を受けられる体制を整えるべく、引き続き努力してまいります。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に宮崎県医師会の今後のさらなる発展と、会員みなさまのご健勝を祈念して、新年の挨拶といたします。



参議院議員

羽生田 俊

平素より、私の政治活動にご支援とご配慮を賜っておりますこと、また地域医療にご尽力賜っておりますことを心より感謝申し上げます。

この原稿の締切りには間に合いませんでしたが、現在診療報酬・介護報酬の同時改定についての議論がされております。これにつきましては今後皆様にお伝えさせていただければと思っております。

政府は給与の3%賃上げを民間企業に要請する中、医療従事者の給与財源は診療報酬であり、本体部分が下がることがあれば医療関係者のみアベノミクスからとり残されると日本医師会と共に声をあげてまいりました。

また、1年間勤めてまいりました参議院厚生労働委員長を辞任し、財務金融委員会の理事、党の役職では自民党副幹事長・参議院自民党副幹事長(厚労担当)を拝命しております。

特に今回の選挙で消費税の用途の変更を掲げ全世代型の社会保障として教育無償化などを含め2兆円を財源とする政策が打ち出されました。

財政金融委員会において早速、財務大臣へ質問をさせていただき、「税と社会保障の一体改革にて約束していた医療・介護の充実分約2.8兆円と、この2兆円は別である」と麻生大臣から明確に答弁を引き出すことができました。また、昭和58年より我々を苦しめた「医療費亡国論」について質問し、今ではむしろ「医療費興国論」として経済活性化に貢献している旨を主張いたしました。

これからも皆様方からのご意見を賜り、今回寄稿させていただきましたことに心より感謝申し上げます。

本年が皆様にとりまして、よいお年になりますことをご祈念申し上げます。



参議院議員

## 自 見 はなこ

健やかに新年をお迎えになられていることと、新春のお慶びを心から申し上げます。旧年中は、河野雅行会長をはじめとした宮崎県医師会の先生方には、ひとかたならぬご厚情を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年1年間は、参議院厚生労働委員として、委員会の質問に数多く立たせていただき、またあわせて議員連盟の活動として、「地域包括ケアのより一層の推進」、「医師養成」、「医師の働き方改革」、「救急医療」、「女性医療職の求めている院内保育や病児保育の充実」、「医療ICT」、「制定を目指している成育基本法」、「骨髄バンクの安定運営」、「CDR<sup>1)</sup>を含めた死因究明体制のより一層の推進」について政策を推進するなど、様々な活動をさせていただきました。

昨夏にはWHO議連の事務局長として、アジア太平洋地域から多くの国会議員をお迎えし

て、国際議員交流も経験させていただくと共に、米国と中国を議員交流団で訪問し多くのことを学ばせていただきました。横倉義武日本医師会会長が、昨年10月にCMAAO<sup>2)</sup>会長、世界医師会会長になられたこともあり、私といたしましても、今年は、日本のユニバーサル・ヘルス・カバレッジを世界へ発信し、高齢化が国際問題として待ち受けている中、課題解決の過程を世界と共有してまいりたいと思います。

折しも昨年末は、診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定に臨みました。今後20年、30年先の医療・介護・福祉の大きな節目となる改定ですが、国民医療を守り発展させていく我々医師の使命を国政でも達成できるよう、今後も真摯に活動を続けてまいりたいと思います。本年も宮崎県医師会の益々のご発展と、会員の先生方のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

1) Child Death Review (子どもの死因調査)

2) Confederation of Medical Associations in Asia and Oceania (アジア太平洋州医師会連合会)

謹んで年頭の

ご挨拶を申し上げます

理事長 獅子目 賢一郎

運用執行理事 飯田 正幸

理事 相澤 潔

監事 中村 啓子

〃 竹内 茂

常務理事 杉田 恵美子

事務職員一同

宮崎県病院企業年金基金

## 新 春 随 想

その1

新春の随想を募集いたしましたところ、多数のご投稿をいただきありがとうございます。1, 2月号にわけて掲載させていただきます。

## お土産付き胃カメラ検査

宮崎市 たにぐちレディース クリニック たにぐち 谷 口 二 郎 じろう

何年か前、胃の調子が悪いので胃カメラ検査をした。何せ初めての経験で、前日から眠れず、しかも「夜9時以降は食べたり飲んだりしたらいけません」と言われると余計に緊張してしまう。

検査をしてみるとちょっと気になる所見があるというので、次の年もまた胃カメラを飲んだ。しかし心配なくて良いと言われホッとした。そこでそれから何年かはしなかった。ところが数か月前から胃がもたれ、食事が喉を通らない。しかし胃カメラは飲みたくないなあと思っていた矢先に、TV番組で医師自身が癌になった時の話をしていた。

その中で有名な消化器外科医が話をしている、それによると自分自身毎年胃カメラ検査をしていたのだが、忙しくて2年間それをサボってしまった。たまたまPET検査をしたところ、末期の胃癌が見つかった。そのままにしていれば余命1年もないだろうと自分でも覚悟した。その時つくづく胃カメラ検査をしとけばよかったと後悔したという。幸いに化学療法放射線治療後に手術をして命は助かった。それを見てやっぱり私もまた思い切って胃カメラ検査しようと思い予約した。

ところが予約が一杯で、ようやく10日後に予

約が取れた。久しぶりの検査なので前日はドキドキして何度も夜中に目が覚めた。朝9時、クリニックに到着すると早速胃カメラ検査が始まった。「もう終わります」とカメラを引き抜こうとした時である。「あれ！」と先生が大声を上げた。(何だ！癌でも見つかったのか?)とびくっとした。すると「アニサキスがいるよ。しかも食道に！珍しいね、アニサキスが食道にいるなんて。初めて見たなあ。」と言いながら取り除いてくれた。

友人から夜中にお腹が転げ回る程痛くなり、我慢出来ないので救急外来を受診したら、胃の中にアニサキスがいて、それを取り除いてもらったという話を聞いていた。それは想像を絶する位のもの凄い痛みに襲われるらしい。先生が「痛くなかったですか？」と尋ねたが全く痛くなかった。

文献によると、食後10数時間以内に激痛が走るらしい。だが青魚を食べたのは昨夜。ちょうど12時間前である。もしかしたらこれから猛烈な痛みに襲われるところだったのかもしれない。予約が中々取れなくてイライラしたが、今日胃カメラをしたのはとってもタイミングが良かった。何とツイテいるのだろう。

早速取り除いたアニサキスを、小さな瓶に入れてもらった。それはグニユグニユと動いていた。本当にラッキーな一日だった。鼻歌を歌いながら、それをお土産としてポケットに入れ持ち帰った。

## ヨーロッパ呼吸器学会報告:Ⅲ期非小細胞肺癌に対するデュルバルマブの可能性

高鍋町 海老原総合病院 <sup>しげ</sup>重 <sup>なが</sup>永 <sup>てつ</sup>哲 <sup>ひろ</sup>洋

昨年は5月の米国胸部学会に続き、9月は欧州呼吸器学会のため伊ミラノへ。ACミラン本拠スタジアムそばの学会場で地下鉄も活気あり。間質性肺炎の治療は昨年来からまだ大きな変化なく新薬の副作用報告の発表が目立つ一方で、進行肺癌治療は免疫チェックポイント阻害剤登場以降進歩がめざましい。特に昨年7月米国FDA承認のデュルバルマブ(PD-L1に対するヒトモノクローナル抗体)が注目される。非小細胞肺癌の罹患件数の約3分の1であるⅢ期は、標準治療(化学放射線併用療法)後に再発や転移から5年生存率15%程度と予後不良である。同薬はPD-1およびCD80とPD-L1の相互作用を阻害し腫瘍の免疫逃避作用を抑制し抗腫瘍効果を示す新薬であり今後本邦でも早期承認が望まれる。さらにⅣ期の一次治療として同薬と抗CTLA-4抗体トレメリムマブとの併用療法も検討されている。

会期中フレッチャロッサ(赤い矢)という伊新幹線で日帰り近郊都市めぐりを楽しんだ。フィレンツェではダビデ像、トリノでは欧州王者イベントスのスタジアム見学、ジェノバでは本場ジェノベーゼを食した。さらに特急と登山電車乗継ぎ片道4時間の隣国スイス標高3,090mゴルナグラート展望台からマッターホルンを望んだところ気温零度あいにくの雪であった。帰国時ミュンヘン経由で機内からアルプスの山並みを一望でき望外の喜びであった。

## 真夜中のローレライ、黄昏のヴァルキューレ

日南市 北村胃腸科眼科 <sup>きた</sup>北 <sup>むら</sup>村 <sup>まさ</sup>應 <sup>お</sup>旺  
(有床診療所)

深夜の病棟に響く妙なる調べ。高く低く時に消え入りそうな乙女の声。初めて聞く者は恐怖で体が石になり、壁に頭をぶつけ、或いは足がもつれて転びそうになるという。常夜灯に照らされた長い廊下をラインの流れに見立てれば、それはさながら“ローレライ”。しかし、当院にセイレーンの入院患者はいない、はず…而してその正体は…203号室窓側の住人、メデューサと見紛う髪をした御年84歳のツヤ子婆さんだ。独白も入り目の前に誰かいるかのよう。時には明け方にまで及ぶ大熱演だ。同室の婆さんのいびきが加わると、まるでコントラバスの伴奏だ。周りは耳が遠くて気にしない住人ばかりだが、新患が近くの部屋に入るとそうはいかない。大の男でも怖がって早期退院に貢献することになる。

病棟のテラスに出て耳を澄ませば、ヴァルハラ空中庭園で鳴くコオロギや鈴虫の音色が加わり、まるでシューベルト「弦楽4重奏曲第14番二短調「死と乙女」歌曲付き」を聴いているようだ、と言えは盛りすぎか？エゴン・シーレ作の同名の名画が目浮かぶ、と言えは気取りすぎ？それとも怖すぎ？シーレが世に出るまで彼を支え続けたモデル嬢ヴァリと、彼女を棄てて世俗的幸福を選んだ彼と伴侶の、その後の運命の物語を思い出す。第一次大戦に従軍看護婦として命を捧げたヴァリ。その最前線から起こったスペイン風邪はパンデミックとなり、絶頂期にあった死神一家の幸せをもろともに葬り去った。

「ツヤ子さんはいい声してるね」翌日、さりげなく話を向けると「そうでもありません」と顔を赤らめる。「夕べから朝までオンステージだったじゃない?」「あら、恥ずかしい!」年甲斐もなく身もだえする。「できれば明るいうちにやってくれないかなー。ほかのみんなも聴きたがってるし」すると「私は知りません。歌ったこともありません」と急に頑になる。しかし、これが効くのだ。薬に頼らなくてもしばらく独演会は開かれない、はず。かつて流行った「ほめ殺し」という手管だ。ただ、褒めすぎは逆効果になってしまう。さじ加減が大切なのだが…かくして今日も病棟に日が落ちる。訪れるラインの黄昏。秋風が奏でるは…「ヴァルキューレの騎行」…今宵も独演会の幕が開く…かも。

## 6回目の成年に想う

宮崎市 押川整形外科医院 おし かわ こういちろう  
押 川 紘一郎

トライアスロン競技エイジ部門表彰規定は、5歳刻みで設定されているのをご存知でしょうか。

30歳からトライアスロンを始めた私は、5回目の成年(還暦)までは、年代別のクラス分けを、あまり気にせずに競技を続けておりましたが、この12年、年をおうごとに、この年齢区分の意味を実感するようになりました。

スイムでは、小さな波でも息継ぎができなくなりました。頸椎の変形でヘッドアップの動作ができなくなったためでしょうか。その結果、海上で自分の位置を正確に判断できないため、蛇行して泳ぐ結果となり、スイム終了地点で、

すでに疲労困憊です。

どうにかバイクに移りますが、肩関節の拘縮で、ウエットスーツがスムーズに脱げません。周りから見れば、ミノムシが巢から頭を出し入れしているように見えていると思います。なんとか脱ぎ捨て、バイクヘルメットを装着します。規定によりあご紐が正しく装着されていないとスタートできないのですが、指先の巧緻動作低下によりなかなかうまくできません。どうにかバイクに跨りスタートしますが、最初のコーナーが曲がれず、落車することも多くなりました。スイムからバイク走行への平衡感覚がうまくいかないためでしょう。

バイクに体が慣れてきたところで、熱中症予防の給水が必要ですが、走行中の給水ボトルの脱着がうまくゆかず、バランスを崩して転倒です。全身擦り傷だらけですが、幸いバイクは特注品?のためか、故障は皆無です。

さあ最後のランにたどり着きました。軽快なランニングのつもりが、なかなか前に進みません。下り坂になると膝が痛みます。大腿部の筋力低下と、変形性膝関節症が原因です。両足が痺れてきました。腰部脊柱管狭窄症による跛行も目立ってきました。一旦座って休憩したいところですが、観客の皆さまが、この加齢による苦しみをしらず、ゴールは間近と励ましてくれます。

「完走するものは皆勝利者」の思いを胸に、心身ともにボロボロですが、笑顔でフィニッシュ。

6回目の成年は、年代別でも、優勝は、夢のまた夢。

## 還暦雑感

宮崎市 山内ファミリー クリニック やま うち つとむ 山 内 勲

還暦と言われてもピンとこない。もうそんなに歳食ったのか。確かに頭も目も薄くなったし、体力も落ちて物理的に精神的に実感はあるのだが。もともと人名を覚えるのは苦手だったのが、最近はさらにひどくなっている気がする。スタッフに「あのひと、あれ、んーなんだっけ誰だっけ」と周りに助けを求める。ADか。還暦、十干十二支が一巡りして新たに生まれ変わるときでもある。新年の抱負なんて考えたこともないのだが、ここは一つ心機一転、気合いを入れ直して…何しようか。たるんだからだを鍛え直すのも悪くない。犬に連れられ毎朝散歩させられているが、今は20分くらいだからせめて1時間くらいに延ばそうか。その日の犬の機嫌の関係もあるのだが。

去年、犬に引ばられてこけ、鎖骨骨折して以来、あまり上半身の筋トレができなくなってしまった。できるのだろうけど、怖いという思いが頭をかすめてしまう。ろくに受身も取れなかったのが原因なのだが、全く以て情けない。日々怠けているうちに身体は昔の記憶を失ってしまったらしい。ビリー隊長のブートキャンプをやってみたのだが、1日やると2日くらい診療に支障をきたしてしまう。少し加減をしないと何もできなくなっている。テレビで70-80歳のママさんバレーボール選手を見ていると驚嘆し尊敬してしまう。まさに“健康な精神は健康な肉体に宿る”

そこで新年の抱負:今年身体を再構築して脳みそも鍛え直すぞ! ハッ、三日坊主に終わるという内なる声が…問題だ。

## 往診カバンとカメラ

宮崎市 古賀総合病院 まつ うら なお き 松 浦 良 樹

生まれ故郷の長崎市の写真です。左上の大きな建物は小学校で、裏にグラバー園があります。坂に家がびっしりと並ぶのは長崎らしく、車が入れないので山の上の方まで徒歩で往診していました。

下手の横好きですが、写真が趣味でデジタルもフィルムもペンタックス(リコー)のカメラを使っています。このアドレスから私の写真をご覧ください( <https://www.flickr.com/photos/magrazioso/> )。

撮影は独学のため、そろそろ学び直したいとも思っており、今年は1か月にフィルムを最低1本撮ることを抱負したいと思います。



(出雲近隣公園より長崎港を望む): PENTAX MX, PENTAX FA 31mm f1.8 Limited, Kodak SuperGold 200, EPSON GT-X830, Lightroom (Adobe)

## 傘寿に乾杯

—人生は楽しく 生きがいを求めて—

宮崎市 野崎東病院 <sup>た</sup> <sup>じま</sup> <sup>なお</sup> <sup>や</sup>  
田 島 直 也

私は平成29年9月30日で80歳になり、宮崎中央ロータリークラブから記念品をガバナーから頂いた。大学教官退官後15年になる。いつの間にか日本人の平均寿命の年になっている。

大学教官の時は教育・臨床・研究を三本柱として過ごしてきたが、退官後は臨床はどうにか続けているが研究からは遠ざかっているのが現状である。昨年、若い人の発表をみるにつけ、私自身も80歳で記念となるoriginalityな研究発表をしようと思い立った。

しかし現在の環境で何ができるか、毎晩寝ながら考えた。

整形外科の歴史は、姿勢・脊椎の矯正から始まっている。原点に帰り姿勢矯正を考えるうちにPush-upの応用を思いついた。

これまで肩関節周囲の筋強化トレーニング等の発表はあるが、脊椎での発表はみられなかった。側弯症の学童に行ってみると、一回のtrialで思ったより矯正が得られることが分かった。

筋電図では主導の広背筋の他、下半身も持ち上げることで腹筋等の活動もみられた。X線撮影の椅子を作成し、臨床応用を開始した。これをまとめ抄録を作成したところ、第47回日本脊椎脊髄病学会(4月札幌)に演題採択となり、発表することができた。次いで腰痛疾患にPush-upを行ったものを“新しい腰痛対策—Push-upの応用—”として第25回日本腰痛学会(11月東京)に応募したら採択となり、発表することができた。

平成29年はall Japanの学会に2題発表することができ、一応目標は達成することができた。

私は長崎大学時代に1年間イギリスに留学し宮崎医大に移ってから文部省長期在外研究員として、スウェーデン・カナダ・アメリカに留学したが、何歳になっても海外旅行は未知の見聞を広め心身共にrefreshされるので、できるだけ年1回は海外旅行に行っている。平成29年は年2回海外に行くことができた。1回はロータリー国際大会(6月)にアメリカ、アトランタにロータリーの友人と行き、10月には勤務先の弘潤会の海外研修(オーストラリア、ブリスベン)に同行する機会があった。

国内では孫娘2人を連れ8月に知床、旭山動物園に、10月は子ども・孫たちと三大祭といわれる長崎くんちを栈敷席でゆっくり堪能した。

振り返ってみると、先ず私自身健康であったこと、家族・先輩・同僚・後輩の多くの人の支援があつてここ迄きたものである。

今後も感謝、感激、感動の心を忘れずに何事も前向きに考え、1回きりの人生、悔いのないように行きたいものである。

記 平成29年11月6日



アルバルツロ (南イタリア)

## 日常診療における日々の疑問を大切に

宮崎市 すみよし中央眼科 はら だ ゆういちろう  
原 田 勇一郎

平成23年8月より宮崎市住吉地区にて、すみよし中央眼科を開院し、今年で8年目に入ろうとしております。大学病院時代も勤務医時代も複数で診療を行っており、診療、経営、労務管理を一人で行わないといけない責任を感じることもあり、個人開業諸先生方には尊敬申し上げます。眼科疾患は、全身疾患を伴うことが多く、他科先生方のご紹介もあり、血圧が内服薬などにて安定しているにもかかわらず網膜静脈閉塞症(RVO)が出現している症例を多々経験することがあります。以前から診療中、疑問に思っており、今回末梢の血圧だけでなく、心臓から直接駆出される大動脈の血圧と動脈硬化との関係について検討し、平成29年5月19日第87回九州眼科学会(宮崎市)にて発表しました。動脈硬化を反映する指標として脈波伝播速度(pulse wave velocity)を用い、大動脈の血圧の指標として脈波増大係数(AugmentationIndex)を用いて、血圧脈波検査装置 Mobil-O-Graph<sup>®</sup>ドイツI.E.M.社製を使用してRVOにおける脈波伝播速度と脈波増大係数の関係について検討しました。2016年9月から2016年12月までに当院受診し、降圧剤にて血圧が安定しているRVO群30例30眼。全身疾患(高血圧&糖尿病)があるも眼疾患を認めない群17例17眼を対象としました。全身疾患があるも眼疾患を認めない群と比べ、降圧剤にて血圧が安定しているRVO群において脈波伝播速度が速

いことが証明できました。つまり血圧の安定よりも網膜静脈閉塞症は、血管弾性率(血管の硬さ)、血管壁圧の厚さ、血管内腔が狭小していることがより重要であることを証明できて、納得しながら日々診療を行っております。小生、今年年男であり、降圧剤を内服しながら臨床を行っており、同時に動脈硬化にも注意したく、自分の健康を守る1年にしたいと思っております。先生方ご指導よろしく申し上げます。



## 温故知新

延岡市 堺胃腸内科クリニック さかい まさ ひこ  
堺 雅 彦

謹賀新年

早いもので私も今年で60歳を迎えます。日々診療に忙しくこれといった趣味もないのですが、最近ネットオークションが気に入っております。元々、骨董好きで旅行がてら立ち寄る程でした。

最近骨董屋も減少し、TVの影響もあって品定めも鑑定団なみになり骨董探しも遠のいていたところ、妻がネットで購入したアンティークを見て自分もネットのオークションに参加す

るようになりました。

これが時間も自由で意外と面白く、しかもオークションなので普通の買い物と違い「落札」の醍醐味を楽しめます。

例えば印象派の絵画など「これは！」と思う品は参加者の皆さんネットの向こうで値段を吊り上げてきて気づけば結構な高値になっています。

最終落札時間を秒読みで見ながら落札価格を入れていくテクニックも身に着けました。始めた頃は自分の真贋や審美眼などに満足していましたが、そのうち配達されてきた美術品を見て「どうしてこれ程の美術品が数千円程度で取引されるのか？」不思議な気持ちになりました。

其処にはオーナー達が高齢化し自宅を売却する際に美術品を放出している現状があり高齢化社会は長年人々に愛されてきた品々にも影響しているようでした。海外からの出展もあり次々と秀作がオークションに登場しますが、最近は何れも掛け時計や置時計に絞っています。ネジや分銅を巻いたり時刻を合わせたりと手間もいりますが、意外と正確でスマホや電波時計と肩を並べて時を刻んでおります。特に時を打つ鐘音は慣れてくると大変美しいと思えるようになりました。昔と今が繋がった瞬間、この100年前の鐘音を今、更に100年後にも聞く人がいることはそこに命が繋がって生きているということ。

医療とはそういう仕事なのだと改めて思うきっかけとなりました。

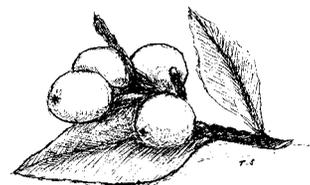
## なぜ消えた教育勅語

延岡市 ほうしやま 子どもクリニック ほうしやま 宝珠山 ひろし 弘

明治23年10月30日と云えば、教育勅語の発布された記念日である。人それぞれに記念日の思い出がある。私にとってはこの10月30日、そして昭和16年12月8日(太平洋戦争開戦日)と昭和20年8月15日(終戦日)の三つが忘れられない。

戦前、戦中、そして戦后と昭和をすごした私の心の中心となったものは、教育勅語であった。それもそのはず、日本人の道徳、哲学、そして精神文化であったからである。それをさかのぼると、聖徳太子の「17条の憲法」(和をもって尊しとなす……)、福沢先生の「心訓」もその内の一つである。今日道徳教育なき知識教育は、村上ファンドやホリエモンを生んだのみの感である。

戦后最大の失敗は日教組が学校から教育勅語を排除し、それを文部省は阻止が出来なかったことである。戦后親子間の殺傷事件など目にあまるものがある。親孝行は道の台、「孝」は百行の本であり、戦后「孝」の字が学校及び社会から消えた。これを救うのは孝徳復活であり「道義荒廃」を救ふと思ふ。「親孝行」「友を愛し」「夫婦相和」「博愛衆に及ぼし」の信条は悪点なしである。今こそ教育勅語を見直して、日本人の伝統的精神文明を思いおこす時が来たと思ふ。



## 成年女です

宮崎市 タツメクリニック 佐<sup>さ</sup>藤<sup>とう</sup>志<sup>し</sup>保<sup>ほ</sup>

あけましておめでとうございます。平成ももう30年。前回の成年にも年女として新春随想を書かせていただきましたが、また順番が回ってきました。早いものです。

12年前の原稿を読み返すと、当時は副院長であった兄が突然の病気で他界した後、父と二人で仕事をする事になり、戸惑いながらもずいぶん張り切っていたようです。おかげさまで現在も変わらず父と二人三脚で仕事ができていることを嬉しく思います。もちろんお互い歳を重ね、心も身体も融通が効かないことも多いのですが。

この一回りの大きな変化は家族が増えたことです。5年前のお正月に息子が産まれました。長年子供を持つという気持ちの余裕がありませんでしたが、ひょんなことから高齢出産に至った次第です。親の事情を知ってか知らずか予定より早く正月休み中に産まれたため、産後一週間で仕事に復帰できました。息子も生後3か月から保育園へ。ほぼ育ててもらい、おかげですくすくとそして面白く成長してくれています。親子共々仮面ライダーやウルトラマンやキュウレンジャーな毎日です。

子供は一日平均400回笑うそうですが、大人になるとわずか15回に減るそうです。笑いは日頃の大波小波の切り替えになります。たとえ苦笑いや泣き笑いでも。今年もなるべく多く笑って過ごすことを目標にしています。そしてまた12年後も無事にこの新春随想を書けることも目標です。とはいえずは一日一日の積み重ね。

次の元号は？と息を馳せつつ、今年もどうぞよろしく申し上げます。

## 2018年の巨人に期待すること

小林市 小林市立病院 島<sup>しま</sup>名<sup>な</sup>昭<sup>あき</sup>彦<sup>ひこ</sup>

2017年のプロ野球も、ソフトバンクの劇的なサヨナラで幕を閉じました。パリーグを圧倒的な強さで制し、CS、日本シリーズも苦しみながらも最終的には勝ち抜き、まさに王者の貫禄でした。対照的に私が応援する巨人は、はじめてCS進出を逃すなど寂しい結果となりました。30億円ともいわれている大型補強をしたにもかかわらず、打線が昨年も振るわず4位に沈んでしまいました。

2018年に向けてなにが課題なのかをじっくり自分なりに考えてしまいます。菅野選手が最多勝のタイトルをとり、助っ人外国人も例年になく活躍しました。それなのに勝てませんでした。2連覇した広島、超変革の阪神、日本シリーズを盛り上げたDeNAと比べてやはり若手が少ないと感じます。若手は失敗してもそれを上回る活躍をすれば、チームは盛り上がりまします。しかし常勝を求められる巨人では若手でもすぐに結果を求められ、結果が出なければすぐに二軍に落とされます。世代交代、負けてもいいから若い選手をどんどん使って欲しいものです(負け続けて耐えられるかは自信がありませんが)。個人的には大好きでしたが、村田選手が戦力外になりました。これまで支えてきた功労者を簡単に戦力外にするのも寂しく感じま

す。小林市立病院も常勤医の高齢化がすすみ、まさに巨人と一緒にです。47歳になる自分が下から三番目で休みなく働かないといけない。巨人の世代交代を心配している場合ではないです。しかし若い選手ばかりでなく、ベテラン選手の力も必要です。今チームを支える坂本選手が若いころ試合に出続けられたのは、当時FAで獲得した小笠原選手や現監督高橋選手が活躍して若手を出す余裕があったからだと言われています。私も肉体的精神的にも満身創痍で仕事をする年齢になりましたが、うまく世代交代できるようもう少し頑張らないといけないのでしょうか。来年はぜひ躍動する若手、東京ドームで胴上げされる高橋監督を見たいものです。

## アッペに始まり、アッペに終わる

宮崎市 しょもりクリニック しょもり けん じ  
塩 盛 建 二

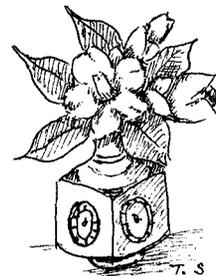
以前に所属していた医局には、「外科はアッペに始まり、アッペに終わる」という格言があった。アッペとはご存じのとおり、急性虫垂炎である。現在のように腹腔鏡下手術を行っていない時代であった。一般外科医あるいは消化器外科医で最初に術者を担当するのは、急性虫垂炎あるいは鼠径ヘルニアの手術であったから、「アッペに始まる」ということは解る。まさにアッペは外科の登竜門であった。

しかし「アッペに終わる」とはどういうことだろうか。手術はほとんどの症例が虫垂切除で終わり、壊疽が強かったとしても、回盲部切除で終わると思われる。どうしようもない時にはド

レナージを行い、2期的に手術を行うことも考えられるが、食道亜全摘や臍頭十二指腸切除術の難度を上回る手術ではないように思われる。そうすると手術手技のことではなく、診断学なのではないか。最近ではCT（造影）を撮影し、診断を行うことが多くなったが、私が研修医の当時は、腹部触診と血液検査を行い、診断することが多かった。エコーを行うこともあったが、エコーでしっかりと診断できた記憶はない。憩室炎やリンパ節炎を除外することは困難であった。手術適応の決定が意外と厄介であった。手術を試みたら、抗生剤で保存的に改善したかもしれないと思うこともあったし、抗生剤で経過観察したら、増悪し、緊急手術になることもあった。

最後に、考えたことは、医学的なことではなく、倫理的なことではないか。アッペは若手の外科医師が担当することが多かったが、当時の指導医が、アッペを軽々しく考えず、アッペに終わるとし、全力で手術に向かおうと自らを戒めたのであろうか。

外科医を辞めて、10余年経つが、未だに答えを見つけられていない。



## 還暦に際して

宮崎市 宮崎大学医学部・フロンティア  
科学実験総合センター 加藤 丈 司

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春をお迎えのことと存じます。さて、私は、1958年、戊(つちのえ)戌(いぬ)の年に生を受けましたので、60年周期の干支がリセットされ還暦を迎えます。節目の年齢になり、目標の一つであるエクササイズ(運動)について述べてみます。

多くの皆様が、日常的に運動に取り組んでおられると思いますが、私も、日頃より、スポーツジムにて、水泳やマシンを用いた運動を、努めて行うようにしています。私は、1992年、アパートの近くのスポーツジムの会員になり、日常的に水泳を始めました。以来、25年間、どこかのジムに所属して、日頃の運動を心がけています。一方、自分にとって適切な運動の強度と時間(長さ)については、良く判らずに行っています。理論的には、最大酸素摂取量の50%、有酸素運動等の基準はありますが、運動していて苦痛ではない、気分がスッキリする等の主観的な基準で行っています。数年前、米国心臓協会の雑誌Circulationに、運動に関する総説が掲載されました。その論文の冒頭に紹介されていた一節が私の目にとまりました。以下に全文を紹介します。「If we could give every individual the right amount of nourishment and exercise, not too little and not too much, we would have found the safest way to health.」古代ギリシャの医師・ヒポクラテスが述べた言葉だそうです。私なりに訳してみますと、「少なすぎず、多すぎない適切な栄養と運動は、健康維持に最

も安全な方法であろう」でしょうか。古代ギリシャ時代に、このような考え(仮説)を持っていたヒポクラテスに驚きます。

今年、大きな節目「還暦」を通過しますが、還暦通過後も適切な栄養と運動に心がけて、医学教育と研究および医療の発展のために貢献できるよう、微力ながら精進いたす所存であります。皆様には、今後ともご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。本年も皆様にとりまして、良い年になりますよう祈念いたします。

## 4度目の年男

宮崎市 船塚クリニック 日高 淑 晶

4度目の年男を迎えることになりました。占星術の一つによると、人生には12年周期があるといえます。過去3度を振り返ってみます。

1度目は本庄小6年生。このときの作文に「将来は医師になる」と宣言していました。その思いは強く、その思いの強さ故にあまり苦勞することなく医師になれたとその当時の自分に感謝しています。

2度目は宮崎医科大学6年生。外科の道を歩き始めました。この選択がなければ、在宅医療の道へはすすんでいなかっただろうと思うと大きな岐路だったと思います。

3度目は大学院にすすみ、ベッドフリーとなったことで「自分の幸せ」「人の幸せ」についてじっくり考えていた時期であります。自分の使命、天命を感じるようになったのはこのときの

おかげだと思っています。

そう考えると、12年に1度巡ってくる年男の1年はこれからの自らの人生にとって何かしらの意味をもっているように感じます。

さて、2018年は大きく羽ばたく1年になる予感がしております。

2017年「あきらめない在宅医療」というテーマで県内外で講演をさせていただきました。在宅医療といえば看取りの医療、あるいは後ろ向きの医療をイメージされがちですが、患者さんは「死ぬために家に帰るんじゃない」と思っています。病院で何もすることがなくなったから家に帰るのではなく、家で生きるために家に戻るの

です。そしてそれをプロとして支えるのが在宅医療だと考えています。これをもっとブラッシュアップして、全国を飛び回りたいと思っています。がんだから…認知症だから…もう年だから…とあきらめしないで、患者さんとともに夢と希望を持ち、そしてそれを実現して、ともに喜び合える医療を提案していきたいと思っています。

これからの12年、思いっきり駆け抜ける覚悟でおります。

ご指導のほどよろしくお願いいたします。

## 宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館1階の「医療情報コーナー」では、分かりやすい医療や介護の本、闘病記のほか、難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索、ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間：月～金曜日 10:00～19:00、土曜日 10:00～18:00

休館日：日曜・祝日、12月29日～1月3日、8月14～15日、特別整理期間(3日間)

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地  
TEL 0985-22-5118 E-mail: tosho@miyazaki.med.or.jp

# エコー・リレー

(509回)

(南から北へ北から南へ)

## おめでとうホークス日本一

小林市 よしむら循環器内科クリニック  
よしむら ゆうき  
吉村 雄樹



2017年のパ・リーグは、福岡ソフトバンクホークスの優勝でした。

私は、ホークスファンクラブ23年目です。

9月16日のリーグ優勝時に私は羽田空港でその瞬間

を迎えました。

翌日の優勝決定を予想して西武ドームへの移動中でした。悔しい思いをしたので日本シリーズは絶対にヤフオクドームで観戦すると心に決めていました。

しかし、ベ이스ターズとの日本シリーズはホークスが3連勝しまさかの横浜での決定かと意気消沈していた日々でした。

すると、幸運がやってきて第6戦の11月4日福岡でその時を迎えました。

試合は、9回裏1アウトまでは2-3と劣勢で第7戦に持ち越しかかっているその時でした。

内川キャプテンの打った値千金の同点ホームランでした。

身震いがして大きな歓喜に包まれ超満員のスタンドは大変な盛り上がりでした。

そして延長11回裏、川島選手のサヨナラタイムリーで優勝が決まった瞬間は初対面の方々数10人とハイタッチの嵐で涙していました。

気がつけば22時52分、優勝セレモニーを見届けて応援団との二次会を終えグラウンドを後にしたのは0時でした。

ホテルに戻ると全番組が優勝特別番組で深夜3時まで続き最高の夜を終えました。

2017年最高の思い出でした。

こういう感動を子供にも味わって欲しいのでせめて週末は日本シリーズをデーゲームで開催できないものだろうかと思いました。

1月末の宮崎パレードを楽しみにしています。ワンダホー!!!

〔次回は、宮崎市の山本 智将先生をお願いします〕

## 抵抗

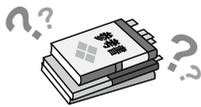
延岡市 共立病院 <sup>あか</sup>赤 <sup>す</sup>須 <sup>こう</sup>晃 <sup>じ</sup>治



ロコモティブシンドローム (Locomotive syndrome)、サルコペニア (Sarcopenia)、フレイリティー (Frailty) に LOH 症候群 (late-onset hypogonadism) …。最前線の心臓

外科から、地域医療に於ける総合診療に飛び込んで8か月が過ぎようとしています。地域では加速度的に高齢化社会が進み、「老-老介護ではなく「認-認介護」が当たり前、さらには頑張っで自立生活を送っている「独居老人」が多いこと。また「自律神経失調やうつ症状」を訴える若者、壮年期世代が多いこと。いったいこの後、地方はどうなるのだろうと心配する一方、自分の健康状態を考えてみました。若い頃は、人の3倍ぐらいの体力と気力を持ち合わせ、「2日ぐらい夜通し緊急手術をしても、さらに定例手術までこなして飲みに行く」的な生活を送っていました。しかし、今では普通に当直しても翌日、「あれ、なぜか体が軽くない」、「午前中に出した指示を午後には忘れて、違う指示を出そうとする」、「患者さんの名前だけ言われても、顔が出てこない」…。他人のことばかり考えていましたが、自分も47歳になり、すでにその道に入っていることに気づきました。そういえば父は76歳で登山にスキー、兄はスポーツクラブにバスケット、弟は釣り。そうか、みんな抵抗しているのか。私も全力で抵抗しなければ！（すでに軽い肉離れは起こしていますが…笑）。

〔次回は、宮崎市の小岩屋 宏先生をお願いします〕



# あなたできますか？

—平成29年度 医師国家試験問題より—

(解答は66ページ)

1. 人工弁置換術について正しいのはどれか。2つ選べ。
  - a 生体弁は機械弁より耐久性が優れている。
  - b 機械弁置換術後の観血的処置は禁忌である。
  - c 機械弁は生体弁に比べて感染が起こりにくい。
  - d 術後は抜歯にあたり抗菌薬の予防投与が推奨される。
  - e 機械弁置換術後は長期的なワルファリンの投与が必要である。
2. 腹部症状を生じないのはどれか。
  - a 急性心筋炎
  - b 急性冠症候群
  - c 劇症1型糖尿病
  - d 高カルシウム血症
  - e 頸椎椎間板ヘルニア
3. 糖質の過剰摂取と肉体労働が発症のリスクとなるのはどれか。
  - a 脚気
  - b 夜盲症
  - c 悪性貧血
  - d 出血傾向
  - e ペラグラ
4. 吸気に最も関与している筋はどれか。
  - a 僧帽筋
  - b 横隔膜
  - c 内腹斜筋
  - d 胸鎖乳突筋
  - e 気道平滑筋
5. 慢性透析患者の死因で最も多いのはどれか。
  - a 悪性腫瘍
  - b 感染症
  - c 心不全
  - d 脳血管疾患
  - e COPD
6. 動脈血ガス分析の採血について正しいのはどれか。
  - a 動脈の走行は目視で確認する。
  - b 穿刺針の太さは18Gを選択する。
  - c 穿刺針と皮膚との角度は15～20度を保つ。
  - d 採血シリンジはペンを握るように保持する。
  - e ピストンに十分な陰圧をかけながら採血する。
7. 高齢者が自室内において心停止状態で発見された。
  - a 外因死を最も強く示唆するのはどれか。
    - a 吐血
    - b 尿失禁
    - c 瞳孔不同
    - d 角膜混濁
    - e 鮮紅色の皮膚
8. 70歳の男性。息苦しさを主訴に来院した。1か月前から農作業の途中で息切れを自覚するようになり、1週間前から就寝中に息苦しさが目覚め、しばらく座っていると呼吸が楽になることが何度かあった。2日前から就寝中の息苦しさが増悪するため受診した。意識は清明。体温36.5℃。脈拍88/分、整。血圧112/90mmHg。呼吸数24/分。SpO<sub>2</sub>94% (room air)。頸静脈の怒張を認めない。胸部の聴診でⅡ音の奇異性分裂、Ⅲ音およびⅣ音を認め、胸骨右縁第2肋間を最強点とするⅣ/Ⅵの収縮期駆出性雑音を聴取し、頸部への放散を認める。両側の下胸部に吸気時の coarse crackles を聴取する。下腿に軽度の浮腫を認める。
 

この患者で予想される所見はどれか。

  - a 脈圧の開大
  - b 大腿静脈の怒張
  - c 脈波伝達速度の亢進
  - d 頸動脈波の鈍い立ち上がり
  - e 足関節上腕血圧比<ABI>の低下
9. 在宅酸素療法について正しいのはどれか。
  - a 高二酸化炭素血症には禁忌である。
  - b 突発性肺線維症の生命予後を改善する。
  - c 日本では肺結核後遺症が基礎疾患として最も多い。
  - d 肺高血圧症は動脈血酸素分圧の値にかかわらず適応がある。
  - e 運動時の酸素投与量はSpO<sub>2</sub>が80%以上を保つように設定する。
10. 心室中隔欠損症によるうっ血性心不全と肺高血圧症を伴う4か月の乳児について、適切な治療方針はどれか。2つ選べ。
  - a 利尿薬の投与
  - b β遮断薬の投与
  - c 高濃度酸素の投与
  - d 肺血管拡張薬の投与
  - e 1歳未満での開胸修復手術

## 平成29年1月～12月までの 叙位・叙勲及び表彰・祝賀受賞会員

### 叙勲・祝賀

#### 【宮崎市郡医師会】

保健衛生功勞により旭日双光章(平成29年11月3日)	川 島 謙一郎
学校保健功勞により瑞宝双光章(平成29年11月3日)	濱 田 健 三
保健衛生功績により藍綬褒章(平成29年11月3日)	高 宮 眞 樹

### 表彰・祝賀

#### 【宮崎市郡医師会】

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰(平成29年2月13日)	井之上 陸 美
医療功勞により県知事表彰(平成29年6月17日)	橋 口 兼 達
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰(平成29年8月21日)	杉 田 幸 雄
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰(平成29年8月21日)	藤 木 浩
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰(平成29年8月21日)	山 脇 忍
救急医療功勞により県知事表彰(平成29年9月7日)	比 嘉 利 信
産科医療功勞により厚生労働大臣表彰(平成29年9月8日)	宮崎市郡医師会病院
社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰(平成29年10月26日)	嶋 本 富 博
精神保健福祉事業功勞により県知事表彰(平成29年11月10日)	檜 英 俊
公衆衛生事業功勞により県知事表彰(平成29年11月14日)	石 川 誠 一
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰(平成29年11月16日)	福 富 ア ツ

#### 【都城市北諸県郡医師会】

医療功勞により県知事表彰(平成29年6月17日)	大 窪 利 隆
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰(平成29年8月21日)	濱 田 義 臣
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰(平成29年8月21日)	村 上 健 志
救急医療功勞により県知事表彰(平成29年9月7日)	松 山 幹太郎
国民健康保険関係功勞により国保連合会中央会長表彰(平成29年9月29日)	税 所 幸一郎
公衆衛生事業功勞により県知事表彰(平成29年11月14日)	釘 宮 博 志
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰(平成29年11月16日)	寺 本 昭 三

#### 【延岡市郡医師会】

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰(平成29年2月13日)	黒 瀬 明 治
公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会長表彰(平成29年2月13日)	小 池 祐 一
医療功勞により県知事表彰(平成29年6月17日)	岡 村 公 子
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰(平成29年8月21日)	赤 須 巖

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰(平成29年8月21日)	岡 村 博 道
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰(平成29年8月21日)	富 田 精一郎
救急医療功勞により厚生労働大臣表彰(平成29年9月8日)	牧 野 剛 緒
日本医師会優功賞(在任10年日本医師会委員会委員)(平成29年11月1日)	吉 田 建 世
公衆衛生事業功勞により県知事表彰(平成29年11月14日)	早 田 泰 英

**【日向市東臼杵郡医師会】**

医療功勞により県知事表彰(平成29年6月17日)	古 賀 正 広
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰(平成29年8月21日)	渡 邊 康 久
救急医療功勞により県知事表彰(平成29年9月7日)	金 丸 吉 昌
公衆衛生事業功勞により県知事表彰(平成29年11月14日)	青 柳 淳太郎

**【児湯医師会】**

医療功勞により県知事表彰(平成29年6月17日)	大 森 史 彦
--------------------------	---------

**【西都市西児湯医師会】**

医療功勞により県知事表彰(平成29年6月17日)	黒 木 重 晶
--------------------------	---------

**【南那珂医師会】**

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰(平成29年8月21日)	津 曲 俊 郎
国民健康保険関係功勞により国保連合会中央会長表彰(平成29年9月29日)	峯 一 彦
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰(平成29年10月17日)	中 村 彰 伸
精神保健福祉事業功勞により厚生労働大臣表彰(平成29年10月20日)	藤 元 ますみ

**【西諸医師会】**

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰(平成29年8月21日)	志戸本 宗 徳
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰(平成29年8月21日)	長 井 章
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰(平成29年8月21日)	堀 英 晴

## 叙勲・祝賀

## 保健衛生功勞により旭日双光章

かわ しま けんいちろう  
川 島 謙一郎 先生(宮 崎)

平成29年11月3日、保健衛生功勞により旭日双光章をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



川島 先生

## 学校保健功勞により瑞宝双光章

はま だ けん ぞう  
濱 田 健 三 先生(宮 崎)

平成29年11月3日、学校保健功勞により瑞宝双光章をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



濱田 先生

## 叙勲・祝賀

## 保健衛生功績により藍綬褒章

たか みや ま き  
高 宮 眞 樹 先生(宮 崎)

平成29年11月3日、保健衛生功績により藍綬褒章をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



高宮 先生

## 表彰・祝賀

## 救急医療功勞により県知事表彰

ひ が とし のぶ  
比 嘉 利 信 先生(宮 崎)

まつ やま みきたろう  
松 山 幹太郎 先生(都 城)

かね まる よし まさ  
金 丸 吉 昌 先生(日 向)

平成29年9月7日、救急医療功勞により県知事表彰をお受けになりました。  
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



比嘉 先生



松山 先生



金丸 先生

## 救急医療功勞により厚生労働大臣表彰

まきの たか お  
牧 野 剛 緒 先生(延 岡)

平成29年9月8日、救急医療功勞により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。  
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



牧野 先生

## 産科医療功勞により厚生労働大臣表彰

## 宮崎市郡医師会病院

平成29年9月8日、産科医療功勞により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。  
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

## 表彰・祝賀

## 公衆衛生事業功勞により県知事表彰

いし かわ せい いち 先生(宮 崎)  
 石 川 誠 一  
 くぎ みや ひろ し 先生(都 城)  
 釘 宮 博 志  
 そう だ やす ひで 先生(延 岡)  
 早 田 泰 英  
 あお やぎ じゅんたろう 先生(日 向)  
 青 柳 淳太郎

平成29年11月14日、公衆衛生事業功勞により県知事表彰をお受けになりました。  
 衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



石川 先生



釘宮 先生



早田 先生



青柳 先生

## 学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

ふく とみ ア ツ 先生(宮 崎)  
 福 富 ア ツ  
 てら もと しょう ぞう 先生(都 城)  
 寺 本 昭 三

平成29年11月16日、学校保健及び学校安全に関する功勞により文部科学大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



福富 先生



寺本 先生

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 11月～

平成29年10月30日～平成29年12月3日（第44週～第48週）

### ■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○結核21例(男性9例・女性12例)：保健所別報告数は【図1】、病型別報告数は【表1】、年齢別報告数は【表2】のとおりである。
- 3類：報告なし。
- 4類：○つつが虫病13例：保健所別報告数を【図2】に示し、年齢別では60歳以上が全体の約9割を占めている【表3】。主な症状として頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹等がみられた。

- 日本紅斑熱1例：都城保健所管内から報告があった。50歳代で、主な症状として発熱、発疹であり、刺し口が確認された。

- 5類：○アメーバ赤痢1例：宮崎市保健所管内から報告があった。40歳代男性で、病型は腸管アメーバ症である。主な症状として下痢、粘血便、腹痛、大腸粘膜異常所見がみられた。

- ウイルス性肝炎2例：いずれも宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳代及び40歳代で、男性、女性が各1例ずつである。病型はいずれもB型で、主な症状として全身倦怠感、褐色尿、肝機能異常、黄疸等がみられた。

- カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。50歳代で、主な症状として胆管炎がみられ、原因菌は *Enterobacter aerogenes* である。

- 後天性免疫不全症候群3例：宮崎市(1例)、都城(2例)保健所管内から報告があった。

- ・20歳代男性でAIDSである。指標疾患はニューモシスティス肺炎で、主な症状として指標疾患による発熱、咳嗽がみられた。

- ・40歳代男性でAIDSである。指標疾患はニューモシスティス肺炎で、主な症状として指標疾患による肺炎、呼吸不全がみられた。

- ・50歳代男性で無症候性キャリアである。

- 梅毒3例：いずれも宮崎市保健所管内から報告があった。

- ・30歳代男性で、病型は早期顕症梅毒(Ⅱ期)である。主な症状として梅毒性バラ疹がみられた。

- ・80歳代の男性、女性が各1例ずつで、病型はいずれも無症候である。

- 播種性クリプトコックス症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で主な症状として発熱があった。

### ■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,825人(定点あたり110.1)で、前月の145%と増加したが、例年の97%とほぼ横ばい

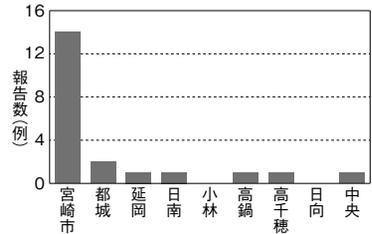


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	6
肺結核及びその他の結核(腸結核疑い)	1
その他の結核(結核性胸膜炎、結核性リンパ節炎)	4
無症状病原体保有者	10

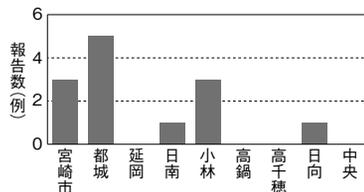


図2 つつが虫病 保健所別報告数

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数(人)
0～4歳	1
20歳代	1
30歳代	1
40歳代	3
60歳代	3
70歳代	3
80歳代	7
90歳代	2

表3 つつが虫病 年齢別報告数(例)

年齢	報告数(人)
0～4歳	1
40歳代	1
60歳代	3
70歳代	4
80歳代	4

#### 前月との比較

	2017年11月		2017年10月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	715	12.1	48	0.8	★
RSウイルス感染症	164	4.6	351	9.8	
咽頭結核膜炎	338	9.4	174	4.8	★
※溶レン菌咽頭炎	337	9.4	157	4.4	
感染性胃腸炎	1,598	44.4	1,601	29.5	
水痘	84	2.3	51	1.4	
手足口病	188	5.2	154	4.3	
伝染性紅斑	6	0.2	8	0.2	
突発性発しん	147	4.1	118	3.3	
百日咳	13	0.4	5	0.1	★
ヘルパンギーナ	51	1.4	103	2.9	
流行性耳下腺炎	100	2.8	67	1.9	
急性出血性結膜炎	0	0.0	1	0.2	
流行性角結膜炎	79	13.2	74	12.3	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	1	0.1	
マイコプラズマ肺炎	5	0.7	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	1	0.1	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

であった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナである。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱及び百日咳である。

インフルエンザの報告数は715人(12.1)で前月の約15倍、例年の約18倍である。日南(56.8)、小林(14.6)保健所からの報告が多く、年齢別では5～9歳が全体の約4割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は338人(9.4)で前月の約1.9倍、例年の約2.6倍である。中央(33.0)、小林(27.0)、都城(23.8)保健所からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約半数を占めた。

百日咳の報告数は13人(0.36)で前月の2.6倍、例年の約36倍である。日向(2.0)、宮崎市(0.40)保健所からの報告が多く、年齢別では10～14歳が全体の約半数を占めた。

### ■月報告対象疾患の発生動向 (2017年11月)

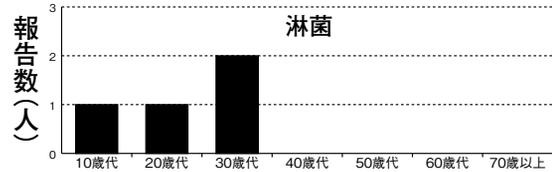
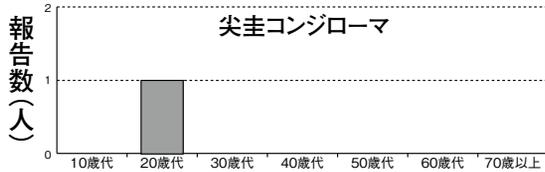
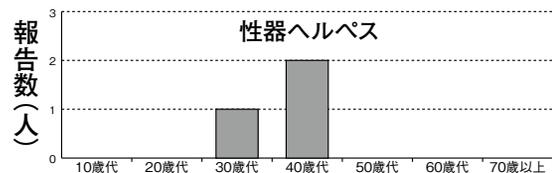
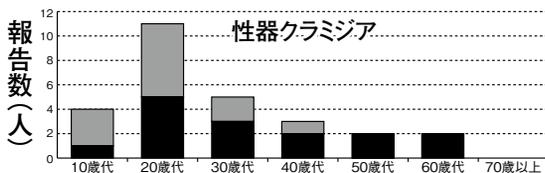
#### □性感染症

##### 【宮崎県】定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人(2.7)で、前月比85%と減少した。また、昨年11月(2.2)の約1.2倍である。

##### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数27人(2.1)で、前月とほぼ同率、昨年11月の約1.6倍である。20歳代が全体の約4割を占めた。(男性15人・女性12人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月の0.3倍、昨年11月の約0.6倍である。40歳代が全体の約7割を占めた。(女性3人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月と同率、昨年11月の約0.5倍である。(女性1人)
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月と同率、昨年11月の約0.8倍である。(男性4人)



■男 ■女

#### □薬剤耐性菌

##### 【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は25人(3.6)で前月比93%と減少した。また昨年11月(3.0)の約1.2倍である。

##### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数25人(3.6)で、前月の約0.9倍、昨年11月の約1.2倍である。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

### ■病原体検出情報 (微生物部)

	検出病原体	件
ウ イ ル ス	コクサッキーウイルスA2型	1
	コクサッキーウイルスA6型	5
	コクサッキーウイルスA10型	4
	コクサッキーウイルスB1型	1
	コクサッキーウイルスB2型	1
	エコーウイルス5型	2
	エコーウイルス7型	1
	エコーウイルス9型	1
	エコーウイルス18型	4
	エコーウイルス25型	1
	アデノウイルス1型	1
	RSウイルス	2
	ライノウイルス	6
	ヒトメタニューモウイルス	1
	パラインフルエンザウイルス3型	1
	パラインフルエンザウイルス4型	1
細 菌	インフルエンザウイルスAH1pdm09	1
	インフルエンザウイルスAH3	3
	インフルエンザウイルスB (山形系統)	1
	<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	1
	腸管病原性大腸菌 (EPEC) (O63:H6)	1
	腸管病原性大腸菌 (EPEC) (O74:H40)	1
	腸管病原性大腸菌 (EPEC) (O26:HNM)	1
	<i>Salmonella</i> Cerro (O18:z4,z23:-)	1
	<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	2

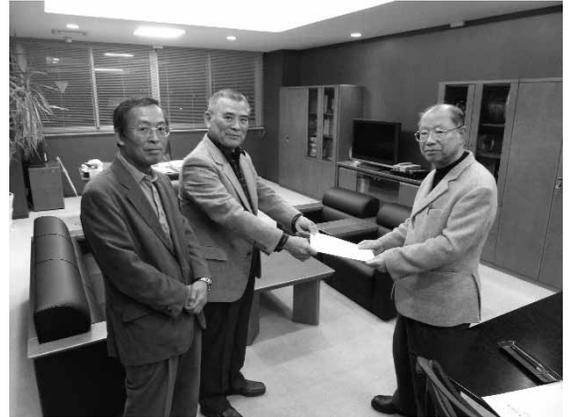
## － 各種委員会－

### 健康教育委員会

と き 平成29年11月28日(木)

ところ 県 医 師 会 館

健康教育委員会は11月28日(火)、中山委員長から河野会長へ諮問事項に対する答申を行った。諮問事項は「健康寿命延伸のための効果的な健康教育の方法について」。答申では、従来行っている「県民健康セミナー」の全域的な開催と「宮日(きゅんと)健康コラム」の各科領域の均等調整、「健康教育事業費補助事業」の周知拡大、郡市医師会や分科医会等、各主体が行っている県民対象セミナーの実態調査の継続と今後の方策の立案、多職種連携、地域と連携した県民のニーズの汲み取りを行っていく旨が報告された。その上で、今回の諮問については、当委員会にて今後も鋭意検討を続けていくとした。



出席者－中山委員長

(県医)河野会長、小牧常任理事、牧野課長、  
横山主事

## 12月のベストセラー (宮崎県)

集計：2017年12月1日～12月25日

1 漫画版 君たちはどう生きるか	吉 野 源 三 郎	マガジンハウス
2 九十歳。何がめでたい	佐 藤 愛 子	小 学 館
3 生きていくあなたへ	日 野 原 重 明	幻 冬 舎
4 8年越しの花嫁ノベライズ版	岡 田 恵 和	主 婦 の 友 社
5 君たちはどう生きるか	吉 野 源 三 郎	マガジンハウス
6 妻に捧げた1778話	眉 村 卓	新 潮 社
7 悲嘆の門 <sup>上</sup> <sub>中</sub> <sub>下</sub>	宮 部 み ゆ き	新 潮 社
8 大家さんと僕	矢 部 太 郎	新 潮 社
9 キャロリング	有 川 浩	幻 冬 舎
10 遺言	養 老 孟 司	新 潮 社

明林堂書店調べ 提供：本郷店(宮崎市大字本郷北方) ☎(0985)56-0868

## 平成29年度全国医師会勤務医部会連絡協議会

と き 平成29年10月21日(土)

ところ 札幌グランドホテル

全国医師会勤務医部会連絡協議会が、北海道医師会の担当で「地域社会をつなぐ明日の医療を考えると一次世代を担う勤務医の未来創成のために」をメインテーマとして開催された。横倉日医会長、長瀬北海道医師会長、高橋北海道知事、秋元札幌市長の挨拶の後、講演に入った。

### 特別講演 1

横倉日医会長が「世界に羽ばたく日本の医療」と題して講演された。

初めに「社会保障と経済成長」として、社会保障の充実が国民不安の解消に繋がると述べた。増加傾向にある企業の利益剰余金を給与に還元し、賃金が上昇すれば、保険料や公費も増額し社会保障の充実につながる。それが需要創出・雇用拡大を生み、更に地方創生や経済成長にも繋がりが好循環を生むとした。また、医師会が学校医・産業医・かかりつけ医として地域に関わり、行政に対して健康なまちづくりへの提言をすることで、社会格差の解消に繋げることができると述べた。

次に「平成30年度の同時改定に向けて」として、改定に当たっての基本方針が示され、地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進が重要課題であるとした。また、2019年10月に消費税が10%に引き上げられることに触れ、増収分は医療をはじめとする社会保障の財源として充実すべきであると述べた。

次に「かかりつけ医を中心とした地域包括ケアシステムの構築・推進」として、かかりつけ医を中心とした切れ目のない医療・介護の提供を全国に広げていくために、地域密着型の中小病



院・有床診療所に期待するところが大きいと述べた。昨年度からスタートした日医かかりつけ医機能研修制度についても説明された。

最後に「世界医師会長就任を受けて」として、世界医師会シカゴ総会においてジュネーブ宣言が改訂され、良い医療を行うためには医師自身が健康でなければならないという趣旨の内容が盛り込まれたことが説明された。世界医師会の使命は世界の様々な医療形態の中で、各国の国民が適切な医療を受けられるよう、医師がしっかり仕事ができる体制を作ることであると、様々な国が日本の支援を望んできているため、先生方のご協力をいただきながら進めていきたいと述べた。

### 特別講演 2

大島内閣府大臣官房審議官が「人口減少時代の医療提供」と題して講演された。

1億2,000万人をピークに日本の人口は減少しており、2100年には5,000万人程度になるが、現在も65歳以上の人口は増えていて、2040年に

は高齢化がほぼピークの40%に達すると報告された。この「医療・介護の需要が増える一方で、現役世代が減る」という特異な2040年までの時代をどのように乗り切るかが課題であるとした。

政策の方向性として「A.患者負担・保険給付範囲・診療報酬単価の見直し」「B.提供方法や提供内容の見直し」「C.予防・健康管理, 医療の質の向上」の3つが挙げられた。その中でCについては、医療費抑制効果に懐疑的な見方もあることに触れながら、仮に医療・介護をあまり受けず、安らかに死を迎えるような社会を実現できれば、抑制効果のエビデンスは出ると述べ、何としてもやり遂げなければいけない課題であると強調した。

国民の理解を得られる形で医療保険制度の持続可能性を高める方策としては、「予防・健康づくり」「地域包括ケアシステムの推進」「ICT・データ活用」「科学技術の発展」「地域づくり」の5項目を挙げ、地域型・科学型の健康長寿社会を目指すことによって、2040年を乗り切る社会を創ることができるとした。

### 日本医師会勤務医委員会報告

泉日医勤務医委員長より、平成28・29年度の会長諮問「勤務医の参画を促すための地域医師会活動について」を受けての取組みが説明された。

特に日医「医師の働き方検討委員会」に対しては、勤務医委員会として積極的に関わっていることが報告された。勤務医委員会で、各郡市区等医師会・都道府県医師会の勤務医の意見を各ブロック医師会に集約し日医に具申するフレームワークの構築を提言しており、これを駆使して多くの意見を集約したいと述べた。

勤務医の参画を促すための具体策としては「勤務医の意見集約のためのフレームワークの確立」「地域医師会役員への勤務医の登用」「大学医師会の活動支援」「日医への入会方法と勤務地変更などによる会員資格継続の具体的な改

善」の4つが挙げられた。

### ランチオンセミナー

島田保久日本医史学会功労会員・北海道医史学研究会代表幹事が「蝦夷地の医事と医人」と題して、16世紀末から19世紀までの蝦夷地の医史について講演された。

### シンポジウム I 「地域の現状とその対応」

五十嵐智嘉子北海道総合研究調査会理事長は「人口減少時代の地域と医療～若者と女性活躍の可能性」と題して、個々の医療機関の実情に応じた女性医師の復職支援、若手医師の勤務支援体制整備の重要性を述べた。

山田豊函館中央病院臨床顧問は「地域医療の現状調査から～医師の高齢化と偏在」と題して、北海道の医師が道央圏に集中し地方病院の勤務医不足が顕在化していることについて、地域枠(地元枠)を中心とした対策が効果的であるとした。

長谷川直人市立釧路総合病院副院長は「広域医療情報ネットワーク～メディネットたんちょうの取組み」と題して、道内でも特に広大な釧路・根室医療圏で運用されている医療情報ネットワークについて、実際の事例を交えて説明した。

### シンポジウム II 「地域社会をつなぐ新たな挑戦」

奈良理手稲浜仁会病院救命救急センター長・救急科主任部長は「広域での医療格差を解消するために～Medical Wingsの運用」と題して、北海道航空医療ネットワークが主体となった医療優先固定翼機「Medical Wings」について、患者搬送の運航実績を紹介した。

今井浩三札幌榎心会病院総長・東京大学客員教授は「ゲノム情報が拓く新たな医療」と題して、世界的規模で進展する質の高いがんゲノム医療をすべての国民に提供するために、実現可能な医療機関の整備と人材育成が「新たな挑戦」として進められていることを報告した。

溝上敏文日本IBM(株)IS&BD事業部 Watson Health Solutions部長は「IBM Watson Healthと

医療の世界」と題して、がん知識データベースシステム「Watson for Genomics」と、電子カルテの情報を解釈しガイドラインと照合しながら治療方針の決定を支援するシステム「Watson for Oncology」を紹介した。

### シンポジウムⅢ「次世代を担う若手医師の意識」

中川麗札幌徳洲会病院プライマリセンター長は「世代間ギャップの現況調査の結果から～指導医として伝えたいこと、若手が望むこと」と題し、北海道医師会が道内の勤務医に対して実施したアンケートの結果、理想とする指導医像が各世代間で異なることについて、日本における卒後臨床教育の変遷と絡めながら紹介した。

上田寛人旭川医科大学病院産科婦人科助教は「世代間ギャップの現況調査の結果から～ジェンダーイクオリティに対する意識の違い」と題して、女性医師の割合が増加する中で、勤務医のワークライフバランス問題は既に待ったなしの状態であり、全国医師会主導の先進的な取組みが求められると主張した。

西田幸代NTT東日本札幌病院泌尿器科医師は「地域で働く明日のために～地域枠医師に対

する行政・大学からの視点と当事者たちの不安を見据えて」と題して、北海道医学生の地域枠制度について紹介した。また、長年地域医療施設で勤務するベテラン医師は若手医師からの刺激を楽しみにしている傾向もあるというアンケート結果を紹介し、両者の相乗効果で地域医療に良い変化が生まれる可能性を指摘した。

なお、今回は長崎県医師会の担当で、「明日の勤務医の働き方を考えるー西洋医学発祥の地長崎からの提言ー」をメインテーマに、平成30年11月3日(土)ホテルニュー長崎にて開催予定である。

最後に、全会一致で採択された、ほっかいどう宣言を下記のとおり掲載する。

出席者

(日医勤務医委員会)金丸常任理事  
(勤務医部会)

菊池部会長, 中津留・松本理事,  
黒木監事

(県医)岩村・米澤・嶋本理事, 串間主事

### ほっかいどう宣言

今日のわが国の急速な人口減少は、著しい生産年齢人口の減少を伴いながら、少子高齢化が進展する人口構成の変化であり、労働生産性向上のための抜本的な「働き方改革」の重要性が強調されている。しかしながら、公益性、倫理性、専門性が強く求められる医師は、患者・社会に貢献する職業人として、高度な学識と技能をもち続けなければならない、その改革には慎重な議論が必要である。

社会全体でワークライフバランスの改善に向けた取組みが推進される中、医療界も例外ではなく、勤務医が医師としてのモチベーションを保ち、地域医療を発展させ、自らの人生も豊かにすべく、次のとおり宣言する。

- 一、医師の働き方改革の議論が、地域医療を守り、地域格差是正につながる仕組みの構築の上になされることを求める。
- 一、勤務医が多様な働き方を選択・実現できるよう、世代間ギャップを相互に理解し、就労環境を改善する。
- 一、医師としての自らの職務を自覚し、いきがいを感じながら働き続けられる環境の整備に努める。

平成29年10月21日

全国医師会勤務医部会連絡協議会・北海道

# 医師の事務作業を支援する職員の資質向上のために ～宮崎県医師会 医師クラーク育成・スキルアップ研修会報告～

宮崎県立日南病院 きさぬき 木佐貫 あつし 篤

平成27年度から宮崎県医師会では「医師クラーク育成・スキルアップ研修会」を県内各地で開催しています。平成29年度も9月に第1クルールの研修会が終了しましたので、会員の皆様に知っていただきたくこれまでの研修内容等を報告します。なお医師の事務業務を支援する職員の呼称は、診療報酬上では医師事務作業補助者と呼び、その他臨床支援士、医療秘書、医療クラーク、ドクターアシスタント、ドクター秘書、など様々な呼称がありますが、本事業及び本稿においては診療報酬算定に関係なく全ての医療機関で実務にあたるスタッフを対象とすることから原則「医師クラーク」として統一記載します。

## 1 研修会企画の背景

医師の負担軽減を目的に、平成19年12月28日「医師及び医療関係職と事務職員等との間等での役割分担の推進について」という通知が厚労省からなされました(平成19年12月28日 医政発第1228001号)。

ここで書かれた「医師、看護師等の医療関係職と事務職員等との役割分担」を実現するかたちとして平成20年診療報酬改定にて「医師事務作業補助体制加算」が新設されました。それまでも医師クラークの役割を担う職員を配置する医療機関がありましたが、診療報酬改定をきっかけに加算可能な大病院を中心に、医師クラークを配属する動きが急速に広がりました。配属が広がるとともに次のような課題があげられてきました。

- 1) 個々のスキルのばらつき／不十分な研修体制：クラークのバックグラウンドの違いや、義務付けられている32時間研修では業



務をおこなうためには不十分であること

- 2) 雇用環境：大病院の多くは公的病院であるがために、ほとんどの医師クラークが非常勤／臨時職員であること
- 3) キャリアデザインが無い：新しい職種であることから、将来のキャリアデザインがなく、職員の仕事に対するモチベーションの維持が難しいこと

これらの課題解決にむけての取組みが、医師事務作業補助者の団体である日本医師事務作業補助研究会や様々な医療系団体において行われていますが、その道程は始まったばかりで十分と言える状況ではありません。しかしながら医師クラークが配属された医療機関においては医師の負担軽減につながっているという事実もあることから、本職種が重要な職種であることは間違いありません。そういった背景を踏まえて、診療報酬算定の有無に関わらず医師クラークの教育／スキルアップをはかり医師の負担軽減につなげていくことが、宮崎県医師会会員にもメリットをもたらすということで、本研修会を開催することとなりました。研修会開催にあたっては、医師確保／負担軽減につながる取組みと

して医療介護総合確保基金を活用し、日本医師事務作業補助研究会宮崎県支部役員が運営に協力しています。

## 2 平成27年度研修会概要

平成28年1月～3月に同一プログラムで県内4か所(日南, 都城, 延岡, 宮崎)にて開催しました。4か所での開催はなるべく多くの実務者に参加していただくための配慮です。プログラムは講演2つ「医師の事務業務を支援(代行)する職員とは～位置づけ, 課題, 展望」「知っておきたいコンプライアンスと医療安全」とグループワーク「医師の事務作業支援をより適切にすすめるために～みんなで悩みや課題を共有しよう」を行い, スキルアップだけではなくグループワークで参加者同士の交流も深めることができました。

## 3 平成28年度研修会概要

平成28年度の研修会は2クール実施しました。

第1クールは10月～11月にかけて県内4か所(都城, 延岡, 宮崎, 日南)にて実施しました。プログラムは2つの講演とグループワークを実施しました。講演のひとつは医学知識の習得を目的に3名の医師に「COPD(都城, 日南)」「がん(延岡)」「糖尿病(宮崎)」について講義していただきました。医師クラークにとって医学知識の習得は重要なことであり, 講師の皆さんにはわかりやすくお話ししていただいたこともあり好評でした。もうひとつの講演は診療録/診療記録に関する基本的な知識を診療情報管理士から講義していただきました。続くグループワークでも診療録をテーマに参加者同士で意見交換を行いました。日常的に医師に陪席して診療録代行入力をしたり, 診療録を元に様々な書類を作成することが多いことから, 現場の様々な意見が出されました。特に電子カルテに関して, 書類作成に関する悩み, 医師による認証の問題, などが多く出されていました。

第2クールは平成29年3月に県内2か所(延

岡, 宮崎)で2名の講師をお迎えして開催しました。講演1(小林利彦先生, 浜松医科大学)では静岡県における医師クラーク育成の取組みから医師クラークのキャリアデザインについてお話していただきました。講演2(古賀恵美子先生, (株)ひこうき雲)では, 接遇をテーマに実習を交えて正しい挨拶や言葉遣いなど基本的なマナーについて説明いただき, 日々の患者対応について改めて見直す機会となりました。職種としての歴史が浅い実務者にとって将来を見据えたキャリアデザインはとても重要なテーマです。接遇は日常業務にすぐ活用できる内容であり, どちらも参加者にとってはとてもいい学びの時間になったと思います。

## 4 平成29年度研修会概要

第1クールは9月9日(延岡), 10日(宮崎)に講演とグループワークを行いました。講演では今田光一先生(富山県・高岡整志会病院)に黒部市民病院における医師事務作業補助者体制の確立から, 医師事務作業補助者が知っておくべき法律や基本的知識についてお話しいただきました。グループワークでも代行入力を中心に様々な意見交換がなされていました。現在, 平成30年に第2クールを県内4か所で行う予定で準備を行っているところです。

## 5 研修会アンケートから

事業を評価する目的で研修会時に参加者アンケートを実施しています。今回は平成28年度のアンケート結果について簡単に報告します。





勤務場所としては病院から無床診療所まで多岐にわたっており約半数は加算未算定施設からの参加でした。5点満点による評価では、講義4.6-4.8点、グループワーク4.8点と高い評価をいただきました。

アンケートの自由記載欄には「いろいろな病気の講義をしてほしい」「日頃悩むことをどこに相談していいのかわからずグループワークで相談できてよかった」「他病院の状況や話が聞けてよかった」「この講演を機にスキルアップしていければいいと思った」「すごくよい研修会で医師クラークをもっと頑張っていこうと思った」「今回考えたことを持ち帰り、院内で話し合いたい」「講師の先生方も研修内容もとても良かった」など研修会を評価するご意見を多くいただきました。

## 6 今後の展望／取組み

これまでの取組みで、県内で活躍している医師クラークにスキルアップの機会と交流の場を提供することができました。医師事務作業を支援する実務者は、診療報酬の有無にかかわらず、医師の負担軽減、診療の効率化、医療の質向上というメリットからますます役割が大きくなっていくものと思います。診療報酬上の加算算定施設では医師クラークができる業務は限られていますが、診療報酬算定要件という縛りのない中小病院や診療所においては、その施設の特徴にあった医師クラークの活用ができるというメリットがあります。平成29年11月に開催された

「日本医師事務作業補助研究会第7回全国大会（名古屋）」においても、医師・看護師・クラークの役割分担を推進したことで、患者数が1.5倍となり医療機関が大幅増収となった事例も報告されていました。中医協においても医師事務作業補助者が評価されており、今後活躍の場が広がることが予測され、このような研修もさらに重要になっていくと考えます。

今回の研修に院長先生より参加するようにと積極的に声をかけていただいた医師クラークがいた反面、医師クラークに案内が届かなかったという声もありました（実際にはすべての医療機関宛に県医師会事務局より研修会案内をFAX送信しています）。事務職員向けの研修会は、医師や看護師などの専門職に比べて非常に頻度が少なく、さらに地方での開催は少ない現状です。ここで報告した医師クラーク教育／スキルアップ研修会は、その数少ない研修会となります。医師クラークのスキルが高まり他施設との交流などにより仕事へのモチベーションが高まることは、長い目で見て必ず医師の負担軽減や離職防止にもつながると考えています。今後も医療機関にとってメリットとなるべく研修会を企画していきたいと考えておりますので、医師クラークの資質向上にぜひ本研修をお役立てくださるようお願いいたします。



## 医師国保組合だより

### 医師国保組合 保健事業のご案内

医師国保組合では、各種保健事業を実施しております。それぞれの実施期間及び接種期間は平成30年3月末日までです。身体の状態をチェックする機会として、ぜひご利用ください。

#### 1 健康診断

対 象 者	次のいずれかに該当する被保険者の方々です。 ①組合員、高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち、本年度中に満40歳になる方～74歳の方
実施機関	各地域の健診機関並びに医療機関 ※上記対象者は自院で実施されても請求できます。 費用については、送付しております「健康診断個人票」の検査項目に対して助成します(最大44,950円)。 ※宮崎市郡医師会成人病検診センターにて日曜日に集団健診を実施しています。但し、子宮頸がん検診、内視鏡検査は実施できません。 (予約は当組合に直接お電話ください。先着順ですので、受診を希望される方はお早目の予約をお願いします。) ①実 施 日：平成30年2月11日(第2日曜日)、2月18日(第3日曜日) 3月4日(第1日曜日) ②定 員：各30名

#### 2 胃・大腸内視鏡検査の補助

対 象 者	健康診断対象者と同じ
検査内容・補助金額	①胃内視鏡検査 15,280円 ②大腸内視鏡検査 21,790円 ※それぞれ1人1回、上記金額を上限として実費を補助します。
請求方法	支給申請書により、組合に申請してください。

#### 3 脳ドック等の補助

対 象 者	被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員
検査内容・補助金額	頭部MRI、頭部MRA、頭部CT等 20,000円 ※1人1回、上記金額を上限として実費を補助します。
請求方法	支給申請書により、組合に申請してください。

#### 4 その他保健事業

請求方法等の詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」、または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

- 1) 低線量ヘリカルCT肺がん検診
- 2) インフルエンザワクチン接種補助
- 3) 肺炎球菌ワクチン接種補助
- 4) 歯科健康診査

※申請書は、当組合ウェブサイトからもダウンロードできます。  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

TEL : 0985-22-6588 FAX : 0985-27-6550

## 日医インターネットニュースから

### ■広告規制，省令案とGL案でパブコメ — 医療情報検討会 —

厚生労働省の「医療情報の提供内容等のあり方に関する検討会」は11月29日，医療に関する広告規制の見直しを議論し，同省が示した省令案と新ガイドライン（GL）案についておおむね合意し，パブリックコメントの手続きへ移ることを了承した。GL案については，事務局と座長が文言の加筆などをした上で再度会合を開く可能性も残されているが，その場合でもパブコメ実施を先行させる。省令・告示，GL案のパブコメを12月～来年1月に実施し，今年度末に省令を公布。周知期間を経て，2018年6月1日に施行する。

省令案では，患者の主観・伝聞に基づく体験談の広告を禁止事項として新たに規定する。術前術後の写真など，いわゆる「ビフォーアフター」の表示は一律に禁止にはせず，具体的な治療内容や副作用など，詳細な説明を加えたものは掲載可能とする。

GLについては，現状の「医療広告GL」と「医療機関ホームページGL」を廃止し，医療広告GLをベースにした新GLを策定する。広告規制の対象範囲や，禁止される広告，広告可能事項の限定解除の要件など，7項目の大きな柱を立てている。

会合ではGL案について，より丁寧な記載をして医療機関が理解しやすい内容にすべきだという趣旨の指摘が多く挙がった。今後の運用の重要性を唱える声も相次いだ。ビフォーアフターの写真については，掲載が可能な場合の「詳細な説明」について，どの程度を求めるのかが不明瞭だという意見も出た。

日医の石川広己常任理事は「今回は医療機関の広告だが，薬局や健康食品，柔整，あはきはどうするのか。厚労省全体で健康を守る観点から（ウェブサイトなどを）監視してほしい」と求めた。（平成29年12月1日）

### ■診療報酬本体「0.55%増」で結着 — 政府 —

政府は，2018年度予算編成の大きな焦点である診療報酬改定について，本体部分を0.55%増とすることを決めた。薬価・材料価格の通常

見直し分はマイナス1.4%程度で，薬価制度の抜本改革による捻出財源も含めるとマイナス1.7%強となる見込みだ。単純に差し引きすると，全体（ネット）の改定率は1%以上のマイナスとなる。18日の加藤勝信厚生労働相と麻生太郎財務相の大臣折衝で正式にまとめ，公表する。18年度予算案は22日の閣議で決まる見通しだ。

近年，診療報酬の本体改定率は▽06年度＝マイナス1.36%・マイナス3.16%▽08年度＝0.38%・マイナス0.82%▽10年度＝1.55%・0.19%▽12年度＝1.379%・0.004%▽14年度＝0.73%（うち消費税対応分0.63%）・0.1%（同1.36%）▽16年度＝0.49%・マイナス0.84%（薬価市場拡大再算定を加えるとマイナス1.03%）—と推移してきた。

18年度の本体改定率「0.55%増」は，前回の16年度改定より0.06ポイント上回った。国費ベースの投入額は500億円台後半となる見込み。医科：歯科：調剤の改定財源の配分については，従来通り1：1.1：0.3とする見通し。ただ，調剤については16年度改定と同様，大型門前薬局の評価の適正化分は改定率の計算には含めず，「0.3」から外出しする方向だ。

改定率は12月12日夜，加藤厚労相，麻生財務相，自民党厚労族議員らが協議して固めた。本体改定率について，厚生労働省は水面下で目標としていた前回超えは果たしたものの，大きくは上乗せできなかった。最終的に前回超えを認めた財務省にも忸怩たる思いがあるようで，「痛み分け」の雰囲気がある。

本体改定率「0.55%増」の報道を受け，ある病院団体幹部は「（財政が）厳しい中でよく対応していただいた」と評価する一方，「十分とは言えない」と不満の声も漏らす。すでに関心は，医療現場に影響が大きい財源配分に向いているという。（平成29年12月15日）

### ■治療と仕事の両立支援，評価へ — 中医協で各側支持 —

厚生労働省は12月15日の中医協総会で，治療と仕事の両立支援のために必要な診療報酬上の評価を行うことを提案した。具体的には，就労中の患者に対し，治療を担当する主治医が，所属事業所などの産業医に治療計画などの診療情報を提供した結果，産業医からの助言を受けて

治療計画の見直し、再検討を行った場合に評価する案。支払い側、診療側ともに厚労省案を支持し、次期改定では、まず就労中のがん患者を優先して評価する方向も確認した。

厚労省は総会で、治療と仕事の両立支援に係る診療報酬上の取り扱いについて、▽就労中の患者が働きながら現在の治療を継続するための助言を産業医から得るためには、主治医による診療情報(症状、治療スケジュール、想定される副作用の内容・程度等)の提供が必要となる場合がある▽主治医の情報提供に対して産業医から治療継続や効率化等に資する助言を得て、治療計画の見直しや再検討につなげた場合には診療報酬上の評価を行ってはどうか—をイメージとして挙げた。

対象範囲については、主治医等によるきめ細やかな調整が不可欠な疾患とし、具体的には▽治療の継続が生命予後に大きな影響を及ぼす▽治療の継続のために、就労上、一定の配慮が必要である▽就労の継続のために、治療上、一定の配慮が必要である▽職業病や作業関連疾患でない—の全てを満たすことを原則とする方針。当面はがん患者を優先して評価することを提案した。

### ●50人未満でも恩恵受けられる制度に

支払い側の吉森俊和委員(全国健康保険協会理事)は、提案の方向性に理解を示した上で「情報や助言の提供内容、主治医と産業医の連携、そして何よりも勤務先の支援体制などの要件設計をしっかりと整理しないといけない」と指摘。その上で「現行の産業医制度は、従業員50人未満の事業所には産業医の選任義務がない。そうした事業所で働く方々が今回の見直しの恩恵を十分受けられるよう丁寧な制度設計が必要」と求めた。

日医の松本吉郎常任理事は「提案に賛成だ」とし「今回の提案を含めて50人未満の事業所にも光を当てていくことは重要だ」と強調。日医の今村聡副会長も「長年現場から要望があったこともあり、治療と仕事を両立しながら働く人に

とって福音になると考えている。まずはがん患者からでいいと思うが、対象範囲の“基本的な考え方”をもう少し幅広く患者を捉えられるような表現にしてもいいのではないかと述べた。

(平成29年12月19日)

## ■医師数増加も小児科・産婦人科は微増 — 厚労省調査 —

厚生労働省は12月14日、2016年医師・歯科医師・薬剤師調査(三師調査)結果の概況を公表した。全医師数は31万9480人で前回(14年)調査に比べ8275人(2.7%)増加。このうち女性医師は6万7493人で、前回比3989人(6.3%)増だった。小児科と、産婦人科・産科を主な診療科とする医師は微増となったが、外科は横ばいだった。

医療施設(病院と診療所)に従事する医師は95.4%の30万4759人で、前回比7914人(2.7%)増となった。施設の種別に見ると「病院(医育機関付属の病院を除く)」が14万7115人で最も多く、「診療所」が10万2457人、「医育機関付属の病院」が5万5187人となっている。

主な診療科が「小児科」の医師数は1万6937人で、前回調査に比べ179人(1.1%)増えた。

「産婦人科・産科」は1万1349人で、264人(2.4%)増だった。外科は2万8012人で、31人(0.1%)減少した。外科は▽外科▽呼吸器外科▽心臓血管外科▽乳腺外科▽気管食道外科▽消化器外科(胃腸外科)▽肛門外科▽小児外科—を指している。

医療施設に従事する人口10万人対医師数は240.1人で、前回の233.6人から6.5人増加。都道府県(従業地)別に見ると最多は徳島(315.9人)で、京都(314.9人)、高知(306.0人)と続く。最も少ないのは埼玉(160.1人)だった。次いで茨城(180.4人)、千葉(189.9人)となっている。

全歯科医師数は10万4533人で、前回調査次より561人(0.5%)増えた。全薬剤師数は30万1323人で1万3172人(4.6%)増加し、初めて30万人を超えた。(平成29年12月19日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字(半角)



平成29年11月14日(火)第8回全理事協議会

## 医師会関係 (議決事項)

### 1. 母体保護法指定医師申請について

母体保護法指定医師審査委員会の答申により、1名の新規指定が承認された。

### 2. 平成29年度災害時小児周産期リエゾン養成研修にかかる受講者の募集について

災害時に小児・周産期医療に関する情報を集約し、適切な判断を行うための現地情報連絡員を養成する研修会で、県小児科医会及び県産婦人科医会に人選をお願いすることが承認された。

### 3. 郡市医師会からの忘年会のご案内について

3つの郡市医師会から出席依頼があり、日頃の御礼も兼ね、可能な限り河野会長及び複数の役員が参加できるよう調整を行うことが承認された。

### 4. 平成30年1/4(木)(宮観ホテル) 2018年寿新年賀詞交歓会のお知らせについて

毎年開催されている新年の賀詞交歓会で、河野会長の出席及び参加を希望する役員は事務局に申し出ることが承認された。

### 5. 平成30年2/16(金)(日医)平成29年度医療政策シンポジウム開催の周知及び参加の依頼について

「国際社会と医療政策」をテーマに開催さ

れるシンポジウムで、テレビ会議システムによる受信を行うと共に参加希望の役員は事務局に申し出ることとなった。

### 6. 平成30年2/14(水)(日医)平成29年度女性医師支援事業連絡協議会の開催について

各ブロック会議の総括や特徴的、先進的な取組みの紹介を行う連絡協議会で、荒木常任理事及び糸数理事が参加することが承認された。

### 7. 宮崎県地域医療・福祉推進協議会代表者会の日程について

先の常任理事協議会で、日本医師会の開催する国民運動に協力すること等が決定していた代表者会で、開会日を12月12日(火)18:00からとすることが承認された。

### 8. 12/22(金)(日医)都道府県医師会地域医療構想担当理事連絡協議会の開催について

関係者間での問題意識の共有・協議を行い、調査会議の機能が向上することを目的に開催する協議会で、富田副会長、池井常任理事がテレビ会議システムを利用して参加すること及び各郡市医師会に案内することが承認された。

### 9. 「平成29年在宅医療関連講師人材養成事業研修会」都道府県医師会への案内について

地域における在宅医療推進活動の中心的役割を担う講師の育成を目的に開催される研修会で、本会から石川常任理事を推薦すること及び各郡市医師会に案内することが承認された。

### 10. 平成30年3/9(金)(日医)平成29年度都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会の開催について

有床診療所を巡る諸問題について協議することを目的に開催する連絡協議会で、川野理事が参加することが承認された。

### 11. 平成30年3/8(木)(県立看護大学)平成29年度県内医療機関合同就職説明会について

県立看護大学が県内就職支援の一環として開催する説明会で、周知活動に協力すると共に、申し込みを行った医療機関の情報が全て反映されるよう要望することが承認された。

12. 平成30年2/3(土)(日医)平成29年度日本医師会医療情報システム協議会の開催について

『未来につながる日医IT戦略』をメインテーマに開催される協議会で、嶋本理事が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 11/8(水)(支払基金)支払基金幹事会について
3. 11/8(水)(県庁)県がん対策審議会について
4. 11/9(木)(ニューウェルシティ宮崎)みやざき愛の献血運動推進県民大会について
5. 11/14(火)(宮大医学部)宮大医学部附属病院医師研修管理委員会について
6. 10/31(火)(県庁)県MC協議会と県医療搬送事業協会との意見交換会について
7. 11/8(水)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について
8. 11/10(金)(宮観ホテル)宮崎銀行との懇談会について
9. 11/13(月)(県医)医療安全対策セミナーについて
10. 11/8(水)(県医)県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防指針に係る説明会についての検討会について
11. 11/9(木)(県医)県認知症疾患医療センター合同会議について
12. 11/9(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者の個別指導について
13. 11/10(金)(日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について
14. 10/25(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
15. 10/23(月)(県医)県口コモティブシンドロー

ム対策協議会について

16. 11/11(土)(シーガイア)九州理学療法士・作業療法士合同学会2017in宮崎開会式について
17. 10/21(土)(北海道)全国医師会勤務医部会連絡協議会について
18. 10/30(月)(県医)勤務医部会理事会について
19. 11/8(水)(宮大医学部)宮大医学部医の倫理委員会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会(報告事項)

1. 10/24(火)(県医)医協理事会について

平成29年11月21日(火)第21回常任理事協議会

医師会関係  
(議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について
  - 1) 平成30年1/21(日)(宮崎市民プラザ)「ケアニン上映会&トークショー」名義後援のお願いについて  
介護福祉士と認知症の高齢者たちとのふれあいを描く「ケアニン～あなたでよかった」という映画と、そのモデルとなった介護施設経営者のトークショーで、名義後援を行うことが承認された。
2. 11/25(土)(宮大医学部)平成30年度宮崎大学医学部附属病院研修ローテート等説明会について  
平成30年3月をもって臨床研修が修了する研修医に対して、宮大医学部が開催する説明会の際、少し時間をもらい、立元常任理事が医師会継続加入のお願いをすることが承認された。
3. 12/7(木)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

2医療機関を対象に行う個別指導で、立会人として岩村理事を派遣することが承認

された。

4. 平成30年1/20(土)・21(日)(福岡)九医連平成29年度「救急・災害医療担当者理事連絡協議会」の提案事項に対する回答及び「第2回災害医療研修会」の開催について

担当理事連絡協議会に加え、災害対策本部運営の机上シミュレーションを行う会議で、富田副会長、小牧・佐々木(幸)常任理事、米澤理事が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 11/15(水)(県警本部)感謝状(認知症関係)贈呈式について
3. 11/16(木)(県医)自殺対策うつ病研修会について
4. 11/16(木)(県医)広報委員会について
5. 11/15(水)(県庁)県医療計画策定委員会について
6. 11/16(木)(県庁)県高齢者サービス総合調整推進会議について
7. 11/19(日)(県医)世界糖尿病デー市民公開講座について
8. 11/15(水)(日医)日医救急災害医療対策委員会について
9. 11/18(土)(県医)産業医研修会について
10. 11/18(土)(三重)全国学校保健・学校医大会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 平成30年1/16(火)(日医)日医連常任執行委員会の開催について  
日医連の常任執行委員を務める河野委員長が出席することが承認された。
2. 平成30年1/16(火)(日医)日医連執行委員会の開催について  
日医連常任執行委員会及び都道府県医師会長協議会終了後に開催される執行委員会で、河野委員長が出席することが承認された。

3. 平成30年1/6(土)(宮観ホテル)平成30年三師会合同新春懇談会の開催について

県歯科医師会の担当で開催される懇談会で、例年同様、医師連盟役員、県医師会顧問及び役員等に案内することが承認された。

(報告事項)

1. 11/14(火)(県庁)宮崎県経済団体協議会代表者会議について

平成29年11月28日(火)第22回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 県医役員等報酬支給について  
県医師会役員等の報酬等規程に基づき、12月5日に27名の役員等に支給することが承認された。
2. 県医職員の冬季手当支給について  
県医師会職員給与規程に基づき、宮崎県人事委員会の勧告等を参考に期末・勤勉手当を12月8日に支給することが承認された。
3. 会費減免申請について  
高齢による1名の会費減免(県医のみ)が承認された。
4. 12/16(土)(県医)平成29年度第1回母体保護法指定医師研修会について  
宮崎県産婦人科医会の役員を講師に研修会を開催すること及び九州各県医師会に案内することが承認された。
5. 平成30年1/16(火)(東京)平成29年度第3回都道府県医師会長協議会の開催について  
河野会長が出席すること及び提出議題等は河野会長に一任することが承認された。
6. 宮崎大学白菊会運営支援のお願いについて  
白菊会は、医学・医療の発展を願い解剖体を提供する篤志検体登録者の会で、会員に対する運営資金の援助依頼があり、例年同様、県医師会として案内等に協力するこ

とが承認された。

7. 12月・平成30年1月の行事予定について

12月の追加行事について確認が行われた。

(報告事項)

1. 11/24(金)(県庁)県医療審議会について
2. 11/21(火)(県庁)県周産期医療協議会について
3. 11/25(土)(宮大医学部)宮大医学部附属病院研修ローテート等説明会について
4. 11/25(土)(県医) ICLS指導者養成ワークショップについて
5. 11/26(日)(県医) ACLS研修会について
6. 11/28(火)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
7. 11/22(水)(東京)国民医療を守るための総決起大会について
8. 11/27(月)(県医)生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)について
9. 11/22(水)(県庁)県総合診療円卓会議について
10. 11/24(金)(県医)県感染症危機管理・予防接種実務担当者研修会について
11. 11/25(土)(福岡)九州学校検診協議会専門委員会について

12. 11/25(土)(福岡)九州各県医師会学校保健担当理事者会について

13. 11/25(土)(福岡)九医連学校医会評議員会について

医師連盟関係  
(議決事項)

1. 12/5(火)(東京)自民党議員連盟「国民医療を守る議員の会」出席について  
早朝午前8時から開催される会で、河野委員長が所用により出席できないため、立元執行委員が代理として参加することが承認された。
2. 平成30年1/10(水)新春の集いのご案内について  
河野委員長は所用により出席することができないため、参加を希望する役員は、事務局まで申し出ることが承認された。
3. 平成30年2/16(金)自民党宮崎市支部新春政経懇談会について  
河野委員長は所用により出席することができないため、参加を希望する役員は、事務局まで申し出ることが承認された。

## 宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供(各種通知文書、研修会の案内等)  
対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

◆会員交流用メーリングリスト

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供  
対象：会員本人のみ

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。  
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課  
TEL 0985-22-5158

# 県 医 の 動 き

(12月)

1	宮大経営協議会・学長選考会議(会長) 県医監事監査(会長他)		
2	(日医)家族計画・母体保護法指導者講習会 (濱田副会長他) 在宅医療研修会企画委員会(石川常任理事) 生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)(TV会議)(花田理事)	14	(都城)社会保険医療担当者の個別指導(嶋本理事) 県健康づくり推進協議会(富田副会長) 広報委員会(富田副会長他) (あかのや)西都市西児湯医師会忘年会(会長他) 在宅医療研修会企画小委員会(石川常任理事)
3	(福岡)福岡県医師会創立70周年記念式典・祝賀会/日医横倉義武会長のCMAAO会長・WMA会長就任をお祝いする会(会長)	15	(日医)日医救急災害医療対策委員会 (佐々木常任理事) 指導医のための教育ワークショップ打合せ会 (金丸常任理事) 広報委員会(荒木常任理事他) 医協打合せ会(立元副理事長)
4	(日医)医療秘書認定試験委員会(富田副会長)		
5	(東京)自民党議員連盟「国民医療を守る議員の会」 (立元常任執行委員) 治験審査委員会(富田副会長他) 第23回常任理事協議会(会長他)	16	指導医のための教育ワークショップ(会長他) 臨床研修事務担当者のための教育ワークショップ (金丸常任理事) (大分)女性医師支援センター事業九州ブロック会議(荒木常任理事他) 母体保護法指定医師研修会(濱田副会長他)
6	情報通信訓練/衛星利用実証実験(近畿大震災想定訓練)(日医TV会議)(小牧常任理事他) 市町村との妊婦健康診査等に関する協議会 (濱田副会長他) 地域医療における働きやすい環境を考える会 学生向けセミナー(荒木常任理事) (ホテル中山荘)都城市北諸県郡医師会忘年会 (会長他) 県産婦人科医会 県警との性犯罪ネットワークに関する協議会(濱田副会長他)	17	指導医のための教育ワークショップ (金丸常任理事)
7	社会保険医療担当者の個別指導(岩村理事) (日医)都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会(小牧常任理事) (ホテルメリージュ延岡)延岡市医師会会員忘年会 (会長他)	19	医協理事会(富田理事長他) 第9回全理事協議会(会長他) 医協理事・運営委員合同協議会(会長他) 役職員懇談会(会長他)
8	地域医療構想委員会(会長他) 医学賞選考委員会(濱田副会長他)	20	(日医)日医医療秘書認定試験委員会 (富田副会長) 市町村との妊婦健康診査等に関する協議会 (濱田副会長他)
9	かかりつけ医認知症対応力向上研修会(TV会議) (石川常任理事) 県産婦人科医会全理事会(濱田副会長他)	21	県保険者協議会(濱田副会長) 社会保険医療担当者の新規個別指導 (佐々木常任理事) 県感染症危機管理研修会(TV会議) (高村常任理事他) 医師会立看護学校担当理事連絡協議会(会長他)
11	生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)(TV会議)(米澤理事) 宮崎の医療を考える会(若手記者との勉強会) (富田副会長他)	22	都道府県医師会地域医療構想担当理事連絡協議会(日医TV会議)(富田副会長他) 医師会国保組合理事会(秦理事長他)
12	県両立支援推進チーム会議(佐々木常任理事) 県地域医療・福祉推進協議会代表者会(会長他) 第24回常任理事協議会(会長他)	26	県自殺対策トップセミナー(嶋本理事) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (小牧常任理事) 第25回常任理事協議会(会長他)
13	DV被害者保護支援ネットワーク会議 (荒木常任理事) 宮大医学部医の倫理委員会(糸数理事) 県産婦人科医会「さぼーとねっと宮崎」関係者会議(濱田副会長) 支払基金幹事会(会長) 県がん対策審議会(会長)	27	労災診療指導委員会(川野理事他)
		29	(年末休業)
		30	(年末休業)
		31	(年末休業)

## 追 悼 の こ と ば

宮崎市郡医師会

土屋利紀先生

(昭和9年2月11日生 83歳)

## 弔 辞

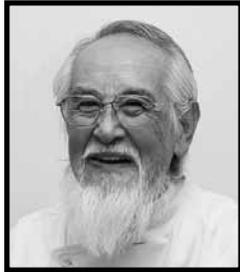
本日ここに、今は亡き、土屋利紀先生のご霊前に、宮崎県医師会を代表して、謹んでお別れの言葉を申し上げます。

一昨昨日、先生の突然のご訃報に接し、会員一同、深い悲しみに包まれております。

今、こうして先生のご遺影の前に立ち、お別れの言葉を申し上げなければならぬことは、誠に残念、痛恨の極みでございます。ましてや、ご家族の皆様をはじめ先生を慕われる多くの皆様のご心中をお察し申し上げますとき、お悲しみは如何ばかりかと胸が塞がる思いでございます。

先生は、昭和9年2月11日、6人兄弟のご長男として、鹿児島県始良郡の旧栗野町でお生まれになり、幼少にしてその才誉れ高く、昭和35年3月久留米大学医学部を優秀な成績でご卒業されました。鹿児島大学医学部附属病院で実地修練を修了され、昭和36年7月医師国家試験に合格、医師免許を取得された後、鹿児島大学医学部附属病院等で幾多の研鑽を積まれました。昭和43年9月には久留米大学から医学博士の学位を授与されておられます。

先生は、昭和39年6月に鹿児島県大口市で眼科医院をご開業になり、昭和44年3月に同医院を閉院された後、同年4月に宮崎市清水町で土屋眼科医院を開業されました。昭和54年7月に増床、眼科の専門病院として、宮崎中央眼科病



院と名称変更されました。その後、けいめい記念病院、生目眼科クリニック、くにとみ眼科クリニックの他、医療法人慶明会の理事長として地域医療のために多数の医療施設等をご開業になり、地域住民の健康福祉の向上にご尽力いただきました。先生の誠実で温かいお人柄は、多くの住民、また多くの職員に愛され、慶明グループの地域に根差した診療活動は、私どもにとりまして、正に範たるものとなっております。

先生のご活躍の場は、日常のご診療だけにとどまらず、その卓越した識見と指導力をもって、医師会活動全般にわたってご指導をいただきました。昭和59年4月から平成4年3月まで宮崎県医師会理事として、庶務・会員福祉を担当され、会の組織強化と健全な運営を図るとともに医道の昂揚に努められました。また、宮崎県医師協同組合設立の際には、発起人の一人として身を尽くされ、昭和60年9月の設立総会から平成4年3月まで、専務理事を務められました。先生には、そのひととき優れた経営手腕で現在の礎を作っていただきました。お陰様で、医師協同組合もすでに30周年を迎え、多くの会員の皆様にその恩恵を与えていただいております。その他、日本眼科医会代議員、全日本病院協会代議員、同理事等を歴任され、組織の発展と医療の向上・推進に献身的にご尽力されました。

また、学校保健活動として、昭和44年から平成7年まで26年間の長きに亘り小中学校の学校医を務められ、そのご功績により、平成6年10月に宮崎県教育長表彰をお受けになりました。

一方、ご診療を離れられた先生は、乗馬をご趣味にしておられました。平成28年7月末発行の宮崎市郡医師会雑誌「醫友しののめ」に「私と馬」と題した旅行記をご寄稿され、農耕馬との出会い、先生の愛馬で河川敷や海岸を走ってい

た若かりし頃の思い出、世界各国で開催される乗馬ツアーに参加されたことなど、馬との関わりについて多くを述べられておられました。

また、ご家庭にありましては、二男一女のお子様にお生まれ、良き父、良き夫であられました。

先生がご逝去されましたことは、私ども医師会員にとりましてかけがえのない財産を失うことであり誠に残念至極に存じますが、私ども会員一同は、先生のご遺志を継いで地域医療の充実に、なお一層の努力をいたして参りたいと存じます。

今、まぶたを閉じますと、先生の精悍なお顔

立ちと、時には髭を蓄えた優しい笑顔がなつかしく思い出されます。

土屋先生、惜別の情尽くし得ませんが、ここに謹んで先生のご霊前に哀悼の意を捧げ、地域医療に対する永年のご功績に心から感謝と敬意を表し、ご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

土屋先生どうぞ安らかに眠り下さい。

平成29年11月17日

公益社団法人宮崎県医師会

会長 河野 雅行



## 追 悼 の こ と ば

延岡市医師会

 やま なか まさ のぶ  
 山 中 正 宣 先生

(昭和3年4月19日生 89歳)

## 弔 辞

本日、亡き山中正宣先生のご葬儀が執り行われるにあたり、延岡市医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。



先生は、予てより施設で療養中のところ、17日の早朝に、お亡くなりになりました。今、先生の御遺影に向かい、お別れの言葉を申し上げることになろうとは、私共医師会の重鎮ともいべき先生を失った悲しみと、さみしさを申し上げる言葉もございません。

ましてや、ご家族をはじめ、ご遺族、先生を慕われる多くの皆様方のお悲しみは、如何ばかりかとお察し申し上げ、お慰めの言葉もなく、衷心よりお悔やみ申し上げる次第でございます。

先生は、昭和3年4月19日に、延岡で生を享けられました。その後、医学の道を志になり、昭和25年、九州大学附属医学専門部をご卒業されました。その後、九州大学医学部附属病院にてインターン並びに研修を積まれました。昭和33年から福岡市立第一病院産婦人科医長としてご勤務された後、昭和38年には延岡の財団法人潤和会中央病院のご勤務となりました。その後、副院長に就任し、昭和43年には院長となられまして、その重責を担われました。

昭和47年には、地域住民の切なる希望にお応えになられ、延岡市の船倉町に山中産婦人科医

院をご開業なさいました。さらに、平成11年にはご子息の秀紀先生が戻られまして、その後、病院の改築を行いまして、長きにわたり、共に診療に携わってこられました。

先生は、温厚かつ誠実なお人柄であり、患者さんの信頼も厚く、地域住民の健康管理の指導に尽力しながら、公衆衛生、地域医療について深い関心と信念を持ち、延岡の代表的な産婦人科医として昼夜を問わず献身的な診療を行ってまいられました。

先生はご多忙な診療の傍ら、昭和45年から一期、二年間は延岡市医師会理事となりました。その後、平成6年から11年までは副議長に就任。平成12年からの、3期6年間は議長となられました。当時は、医師会が抱えていた大きな問題としまして、医師会病院の移転新築構想についての議論がございました。会員のさまざまなお意見にたいしまして総会議長としての手腕を発揮され、医師会総会の議事進行に多大なるご尽力を注がれました。

また、先生のこれまでの地域医療に尽くしてまいられました功績といたしまして、産科医療に関する功労、救急医療事業に関する功労、学校保健・学校安全に関する功労などに対しましての、宮崎県知事表彰、厚生労働大臣表彰、文部科学大臣表彰などの数々の輝かしいご功績を残しておられます。

このような、延岡市医師会歴史の創設者の一員としておられました先生がご逝去なさいましたことは、会員にとりましてかけがえのない財産を失うことであり、痛恨の極みであります。先生にはまだまだ遣り残したことがたくさんおありのことと存じますが、先生も生前からご覧のように、後継者の秀紀先生が立派にご活躍され、今後も医師として先生のご遺志に添って必

ずや地域医療のために貢献されますものと信じております。

本日、先生とお別れするにあたり、先生がこれまで地域医療に対し尽くしてこられたご功績を忘れることなく、会員一同、地域医療の発展向上に一層の努力をしていく所存でございます。

先生の温顔に再び接することはできませんが、ご家族をはじめ、ご遺族の皆様のご安泰をお見守りいただきますようお願い申し上げ、黄

泉路が平穏でありますことを心よりお祈りし、お別れの言葉といたします。

山中正宣先生、どうぞ安らかにお眠りください。

平成29年11月19日

延岡市医師会

会長 吉 田 建 世



## お知らせ

## 平成29年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者18名 (女18名)	お蔭様をもちまして今年度の卒業生は全て内定が決まりました。ありがとうございました。	お蔭様をもちまして今年度の卒業生は全て内定が決まりました。ありがとうございました。
連絡先：TEL0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙1415 担当：田村 広美 武村 順子	連絡先：TEL0985-86-2271 宮崎市田野町甲1556-1 担当：福元 進 鬼東 咲子	連絡先：TEL0986-38-4811 都城市吉尾町77-8 担当：吉原真由美 中山さおり

-----

あなたできますか？ (解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
d, e	e	a	b	c	d	e	d	d	a, e

# ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成29年12月6日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報がよせられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

## 1. 求職者登録数 5人

### 1) 男性医師求職登録数 5人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
内 科	2	0	2
胃腸科・放射線科	1	0	1
老 健	2	1	1

### 2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
	0	0	0

## 2. 斡旋成立件数 60人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
平成29年度	4	1	5
平成16年度から累計	44	16	60

## 3. 求人登録 89件 338人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	100	75	25	消 化 器 外 科	4	2	2
外 科	31	24	7	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	26	22	4	健 診	8	5	3
精 神 科	16	14	2	泌 尿 器 科	2	1	1
脳 神 経 外 科	12	8	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	11	7	4	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	16	12	4	皮 膚 科	5	2	3
麻 酔 科	13	10	3	婦 人 科	2	2	0
眼 科	6	4	2	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	10	9	1	人 工 透 析	7	5	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ	1	1	0
呼 吸 器 科	4	3	1	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科・内 科	3	3	0	診 療 科 目 不 問	3	3	0
神 経 内 科	8	6	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	10	9	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	1	1	0
リハビリテーション科	4	4	0	そ の 他	5	5	0
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	338	261	77

## 求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内,内泌糖内,呼内,リウ, 神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外	1	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフロラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮崎市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮崎市	内,小,整(いずれか)	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮崎市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮崎市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230184	グリーンケア学園木花台	宮崎市	内	1	非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内	16	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	恵心会 永田病院	都城市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハ	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230153	都城健康サービスセンター	都城市	内	1	非常勤
230162	藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都城市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都城市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延岡市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内	4	常勤・非常勤
190086	早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延岡市	内,外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延岡市	内,胃内,消内,呼内,循内	6	非常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,麻	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日向市	内,整	2	常勤
160006	都農町国保病院	都農町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設 なでしこ園	高鍋町	内	1	常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内	1	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日南市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230166	医)秀英会 介護老人保健施設 長寿の里	串間市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日南市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 日南春光会病院	日南市	外,内	4	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放	5	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小林市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	2	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成29年12月12日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ: 2,022.17㎡(612.77坪)	所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地: 2,280.83㎡(691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡(424.38坪) 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台)	所有者: 西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地: 1,991.34㎡ (603.43坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者: (医) 社団 産婦人科 生駒クリニック
	② 日向市鶴町2丁目9番15号 土地: 792㎡ (240坪) 建物: RC造 鉄骨造 1階 237.49㎡ } 2階 338.25㎡ } 913.99㎡(276.96坪) 3階 338.25㎡ } ※駐車場あり(10台)	所有者: 日向市東臼杵郡医師会員 三ヶ尻整形外科
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地: 1,654.58㎡(501.38坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 2階 338.70㎡ } 829.40㎡(251.33坪) 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり(50台)	所有者: (医) 社団 隆豊会 江崎医院跡

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先 **ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)  
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179  
E-mail: isikyouto@miyazaki.med.or.jp

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : [genko@miyazaki.med.or.jp](mailto:genko@miyazaki.med.or.jp)

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。



## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成29年12月26日

1		月				
1	月	(年末休業)	19 金	13:00 県歯科保健推進協議会	↑	
2	火	(年末休業)		19:10 県北地区整形外科医会講演会		
3	水	(年末休業)				
4	木	13:00 新年賀詞交歓会 14:30 仕事始め式	20 土	(福岡)九州ブロック産婦人科 医会会長会議	国 保 審 査	
5	金			14:30 産業医研修会(TV会議) 15:00 (福岡)九州ブロック災害医療 研修会		
6	土	19:00 三師会合同新春懇談会		17:10 (福岡)九医連救急・災害医療 担当理事連絡協議会		
7	日					
8	月	(成人の日)	21 日	9:00 (福岡)九州ブロック災害医療 研修会	↓	
9	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第26回常任理事協議会		9:00 緩和ケアチーム研修会		
10	水	16:30 支払基金幹事会	22 月		↓	
		18:30 病院部会・医療法人部会合同理 事会		23 火		18:20 医協打合せ会 19:00 第28回常任理事協議会
		19:00 県内科医会学術委員会		24 水		
11	木	19:30 県産婦人科医会常任理事会	25 木	15:00 県医療計画策定委員会	↑	
		19:30 県小児科医会打合せ会		19:00 広報委員会		
12	金	15:00 (日医)日医勤務医委員会	26 金	18:00 九州地方社会保険医療協議会 宮崎部会	社 保 審 査	
		18:30 職員採用内定者懇談会		18:30 医協理事会		
19:00 宮崎市郡医師会新年例会並びに しのめ医学会特別講演会	19:00 特定健康診査等従事者研修会 (TV会議)					
13 土		19:00 県内科医会会誌編集委員会				
14	日	9:00 (日医)在宅医療関連講師人材養 成事業研修会	27 土	19:00 労災部会自賠委員会	↓	
				19:45 損害保険医療協議会		
15	月	19:00 広報委員会	28 日	10:30 (広島)医療事故調査制度に 係る支援団体統括者セミナー	保 審 査	
		19:00 高次脳機能障がい講演会(TV会議)		15:00 県産婦人科医会冬期総会		
16	火	13:30 県後期高齢者医療広域連合運営 懇話会		15:00 (沖縄)九医連HIV医療講演会		
		14:00 (日医)日医連常任執行委員会		15:00 (福岡)九州各県内科医会長会		
		14:20 (日医)都道府県医師会長協議会	17:00 (沖縄)九医連感染症担当理事 連絡協議会			
		16:30 (日医)日医連執行委員会	17:00 (沖縄)九医連常任委員会			
17	水	15:00 新人看護職員研修推進協議会	29 月	19:00 医師国保組合定例事務監査	↓	
		16:30 宮大医学部カリキュラム委員会				
18	木	13:00 県高齢者サービス総合調整推進 会議	30 火	19:00 第10回全理事協議会	↓	
		14:00 宮大医学部医の倫理委員会		終了後 医協理事・運営委員合同協議会		
		19:00 医師国保組合理事会				
		19:00 県外科医会理事会	31 水	15:00 労災診療指導委員会	↓	
				18:30 労災部会懇談会		

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

## 宮崎県医師会行事予定表

平成29年12月26日

2		月						
1	木	19:00	医療従事者向け認知症対応力向上研修会(TV会議)	14	水	14:00	(日医)日医女性医師支援事業連絡協議会	↑ 国 保 審 査 ↓
2	金	15:00	県総合計画審議会	15	木	14:00	県メディカルコントロール協議会	
		18:45	県スポーツドクター連盟総会			16:00	支払基金幹事会	
3	土	15:00	(日医)日医医療情報システム協議会	16	金	11:15	県国保連合会理事会	
		16:00	(佐賀)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・講習会			13:00	県国保連合会通常総会	
		16:00	労災部会自賠責保険研修会			13:30	日医医療政策シンポジウム(日医TV会議)	
4	日	9:00	(日医)日医医療情報システム協議会	17	土	18:00	(東京)横倉義武日医会長 世界医師会長就任祝賀会	
		13:00	日医医療秘書認定試験			18:00	県感染症発生動向調査委員会	
		13:30	(佐賀)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・講習会			19:00	広報委員会	
		15:30	県小児科医会役員会				(佐賀)九州地区医師国保組合連合会全体協議会	
		16:30	県小児救急医療電話相談事業運営協議会			14:00	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会	
5	月	14:30	県医療審議会	18	日	9:00	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会	
		19:00	介護保険に関する主治医研修会(TV会議)			13:00	(日医)日医母子保健講習会	
6	火	18:30	第11回全理事協議会	19	月	19:00	県麻しん風しん対策推進会議・広域化検討会議	
		19:20	各都市医師会長協議会	20	火	19:00	第30回常任理事協議会	
7	水			21	水			
8	木	14:00	医療勤務環境改善支援センターアドバイザー研修会	22	木	15:00	(日医)日医医療秘書認定試験委員会	
		15:00	(日医)日医医療IT委員会			15:30	(日医)日医公衆衛生委員会	
		19:30	県産婦人科医会常任理事会			19:00	広報委員会	
9	金	14:00	県ナースセンター事業運営協議会	23	金	19:00	認知症サポート医フォローアップ研修会(TV会議)	
		19:00	県外科医会冬期講演会					
10	土	14:00	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会	24	土	15:00	HTLV-1母子感染対策事業研修会	
		15:00	母体保護法指定医師研修会					
11	日		(建国記念日)	25	日	14:00	創立129周年記念医学会・県民健康セミナー	
12	月		(振替休日)	26	月	19:00	県内科医会理事会	
		10:00	医師クラーク養成・スキルアップ研修会					
13	火	19:00	第29回常任理事協議会	27	火	14:00	県がん診療連携協議会	
						18:00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
						19:00	第31回常任理事協議会	
				28	水	15:00	労災診療指導委員会	

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード(当日，参加証を交付)

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
<b>第61回宮崎県耳鼻 咽喉科懇話会臨床 セミナー</b> 1月11日(木) 18:50～21:00 宮崎観光ホテル 参加費：1,000円	<b>日本における言語聴覚士の現状と課題</b> <b>—聴覚障害者を対象とした言語聴覚臨床を中心として—</b> 国際医療福祉大学言語聴覚学科教授 城間 将江	38 (1.0)	◇主催 日本耳鼻咽喉科学会宮崎地方会 ◇共催 ※杏林製薬(株) ☎0985-27-3301 ◇後援 宮崎県耳鼻咽喉科医会
	<b>アレルギー性鼻炎の病態と治療—将来展望—</b> 島根大学医学部耳鼻咽喉科学教室教授 川内 秀之	39 (1.0)	
<b>南那珂医師会生涯 教育医学会</b> 1月11日(木) 19:00～20:10 南那珂医師会館	<b>宮崎県における多発性嚢胞腎に対するサムス力導入の 実際</b> 宮崎大学医学部附属病院血液浄化療法部教授 佐藤 祐二	65 (0.5)  73 (0.5)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 大塚製薬(株)
<b>宮崎市郡医師会新 年例会並びにしの のめ医学会特別講 演会</b> 1月12日(金) 19:00～19:30 宮崎観光ホテル	<b>光老化とは？その予防とケア</b> 東京女子医科大学皮膚科教授 川島 眞	0 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
平成29年度高次脳機能障がい講演会【TV会議】 1月15日(月) 19:00～21:00 県医師会館【TV会議場:都城,延岡,日向,児湯,西都,南那珂,西諸,西臼杵】	高次脳機能障害の臨床:社会的行動障害を中心に 京都大学医学研究科脳病態生理学講座教授 村井 俊哉	9 (0.5) 29 (0.5) 32 (0.5) 78 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎市郡内科医会学術講演会 1月18日(木) 18:45～20:30 宮崎観光ホテル	生活習慣病関連骨粗鬆症をふまえた骨粗鬆症治療 島根大学医学部内科学講座内科学第一准教授 山内 美香	76 (0.5) 77 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 小野薬品工業(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
第2回宮崎真菌研究会 1月18日(木) 19:15～20:30 ホテルメリージュ	真菌症のあれこれ 長崎大学医歯薬学総合研究科 皮膚病態学分野准教授 竹中 基	8 (1.0)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※科研製薬(株) ☎0985-51-7504
第53回宮崎県北地区整形外科医会講演会—県北地区医師・職員向け保険診療・自賠責研修会— 1月19日(金) 19:10～21:15 延岡市医師会病院	保険請求の基本と医療倫理 宮崎市立田野病院 コミュニティ・メディカルセンター 准教授 渡邊 信二 ----- 交通事故診療と医療安全 —Q&Aで学ぶ対応の基本と基礎知識— ふくだ整形外科院長 福田 健二	2 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 宮崎県整形外科医会 ◇共催 宮崎県北地区整形外科医会 延岡医学会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先		
<b>日本泌尿器科学会 第89回宮崎地方会</b> 1月20日(土) 13:30～18:00 ホテルJALシティ 宮崎  参加費：3,000円	<b>会員発表：宮崎大学医学部泌尿器科教室における2017 年の臨床統計</b>  宮崎大学医学部泌尿器科	64 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部泌尿器科 ☎0985-85-2968 ◇共催 アストラゼネカ(株)		
		植野 堯 他		65 (1.5)	
				66 (1.0)	
				67 (1.0)	
<b>宮崎県医師会産業 医研修会【TV会議】</b> 1月20日(土) 14:30～18:30 県医師会館【TV会 議場：都城，延岡， 日向，児湯，西都， 南那珂，西諸】	<b>産業医としての多様な労働者への配慮のあり方</b> 東京大学特任研究員	4 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118		
		基礎研修の後期研修会：2単位 生涯研修の専門研修会：2単位		7 (0.5)	
				9 (0.5)	
		<b>職業がんの歴史</b> 産業医科大学産業保健部 安全衛生マネジメント学教授		熊谷 信二	11 (0.5)
					0 (0.5)
					1 (0.5)
基礎研修の後期研修会：2単位 生涯研修の専門研修会：2単位		9 (0.5)			
		82 (0.5)			

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡 先
<b>第81回宮崎大学眼科研究会</b> 1月20日(土) 15:00～19:00 宮崎観光ホテル 参加費:2,000円	<b>黄斑疾患の外科治療</b> 富山大学医学薬学研究部眼科学講座教授 林 篤志	36 (1.0)	◇主催 宮崎大学眼科研究会 ◇共催 バイエル薬品(株) (連絡先) 宮崎大学医学部眼科学教室 ☎0985-85-2806
	<b>加齢黄斑変性診療～その先へ</b> 東京女子医科大学眼科学教室教授 飯田 知弘	36 (1.0)	
<b>第122回宮崎市郡医師会病院心臓病研究会</b> 1月23日(火) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル	<b>虚血性心疾患と脂質管理</b> <b>ーカテーテルで心不全を治すー</b> 宮崎市郡医師会病院循環器内科医長 小岩屋 宏	75 (0.5)	◇主催 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 ◇共催 アステラス製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
	<b>大動脈解離の病態解明</b> <b>ー基礎と臨床の架け橋を目指してー</b> 久留米大学循環器病研究所教授 青木 浩樹	9 (1.0)	
<b>第2回STOP DM Nephropathy</b> 1月23日(火) 19:00～20:45 宮崎観光ホテル	<b>糖尿病性腎症治療と医療連携</b> 宮崎大学医学部医学科 血液・血管先端医療学講座教授 藤元 昭一	64 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 宮崎県透析医会 宮崎県糖尿病懇話会 大日本住友製薬(株) ※中外製薬(株) ☎0985-20-8118
	<b>地域の特性を活かした糖尿病性腎症重症化予防戦略</b> 名古屋大学医学系研究科 循環器・腎臓・糖尿病(CKD)先進診療システム学 寄附講座准教授 安田 宣成	12 (0.5)	
		73 (0.5)	
<b>西都市西児湯医師会学術講演会</b> 1月24日(水) 19:00～21:00 ウエディングパレス敷島	<b>病院がなくなっても幸せに暮らせる夕張市民の秘密</b> 南日本ヘルスリサーチラボ代表 鹿児島県参与(地域創生担当) 森田 洋之	13 (1.0)	◇主催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 ◇共催 西都市西児湯内科医会 ◇後援 西都市北地区地域包括支援センター 西都市南地区地域包括支援センター

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎JAKセミナー 1月24日(水) 19:45～20:45 宮崎観光ホテル	関節エコーによるリウマチ診療の最適化 千葉大学附属病院アレルギー膠原病内科講師 池田 啓	61 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※武田薬品工業(株) ☎0985-24-6763 ファイザー(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 1月25日(木) 19:00～21:00 県医師会館	この一年間の産業保健の動向 ー厚生労働省・報道発表資料と通達からー 産業保健相談員 西部労働衛生コンサルタント事務所 矢崎 武  生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5)  7 (0.5)  8 (0.5)  9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎木曜会新年 学術講演会 1月25日(木) 19:00～20:30 MRT-micc	消化管疾患の治療戦略 ー炎症性腸疾患の新規治療薬を中心にー 宮崎県立宮崎病院内科医長 山路 卓巳	9 (0.5)  54 (0.5)	◇主催 宮崎木曜会 ◇共催 ※大塚製薬(株) ☎0985-24-2287
平成29年度特定健 康診査従事者研修 会【TV会議】 1月26日(金) 19:00～20:30 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西 臼杵】	重症化した糖尿病症例からの教訓 ー特定保健指導で私たちができることー 宮崎県立宮崎病院内科医長 東 真弓	11 (0.5)  76 (0.5)  82 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
<b>平成29年度医療従事者向け認知症対応力向上研修会【TV会議】</b> 2月1日(木) 19:00～20:30 県医師会館【TV会議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西臼杵】(予定)	<b>医療従事者向け認知症対応力向上研修(仮)</b> 協和病院認知症疾患医療センター長 二宮 嘉正	13 (0.5)  29 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
<b>平成29年度宮崎県医師会健康スポーツ医学セミナー</b> 2月2日(金) 18:45～20:00 県医師会館	<b>ドーピングの基礎知識</b> <b>ドーピングコントロールの実際とサプリメント</b> 宮崎大学医学部整形外科助教 宮崎県体育協会スポーツ医科学委員 田島 卓也	1 (0.5)  6 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
<b>西臼杵郡医師会学術講演会</b> 2月2日(金) 19:00～20:00 ホテル高千穂	<b>最新・最適な糖尿病診療を目指して</b> 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野助教 上野 浩晶	76 (0.5)  82 (0.5)	◇主催 ※西臼杵郡医師会 ☎0982-73-2010 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会
<b>平成29年度宮崎県医師会労災部会自賠責保険研修会</b> 2月3日(土) 16:00～18:00 県医師会館	<b>交通事故診療への対応と最近の問題</b> 兵庫県医師会理事 やました整形外科院長 山下 仁司	1 (0.5)  4 (0.5)  15 (0.5)  57 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
<p>平成29年度介護保険に関する主治医研修会【TV会議】 2月5日(月) 19:00～22:00 県医師会館【TV会議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西臼杵】(予定)</p>	<p>主治医意見書の記載方法および主治医意見書記載事例検討 早稲田クリニック 早稲田 真他</p>	<p>2 (0.5) 6 (0.5) 10 (0.5) 12 (0.5) 13 (0.5) 29 (0.5)</p>	<p>◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県</p>
<p>宮崎県医師会産業医研修会 2月6日(火) 19:00～21:00 延岡市医師会病院</p>	<p>この一年間の産業保健の動向 一厚生労働省・報道発表資料と通達からー 産業保健相談員 西部労働衛生コンサルタント事務所 矢崎 武 生涯研修の更新研修会: 2単位</p>	<p>3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)</p>	<p>◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会</p>
<p>延岡医学会学術講演会 2月9日(金) 19:00～20:30 ホテルメリージュ 延岡</p>	<p>延岡市における地域連携について 吉田病院精神保健福祉士・看護師 甲斐 義章 ----- 臼杵市の認知症における病診連携 大分大学医学部神経内科学講座准教授 木村 成志</p>	<p>12 (0.5) 10 (0.5) 29 (0.5)</p>	<p>◇主催 延岡医学会 ◇共催 武田薬品工業(株) ヤンセンファーマ(株) ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300</p>

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月16日(金) 19:00～21:00 県医師会館	注意すべき精神障害の鑑別診断(Ⅱ) 産業保健相談員・西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2551 ◇共催 宮崎県医師会
第51回宮崎救急医 学会 2月18日(日) 9:30～17:10 宮崎大学医学部臨 床講義室  参加費：500円	重度救急外傷における初期対応の重要性 —多職種連携による質の向上— 帝京大学医学部附属病院外傷センター教授 新藤 正輝	10 (0.5)  57 (0.5)	◇主催 第51回宮崎救急医学会 ◇共催 科研製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院救命救急センター ☎0985-85-0986
宮崎県医師会産業 医研修会 2月20日(火) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	この一年間の産業保健の動向 —厚生労働省・報道発表資料と通達から— 産業保健相談員 西部労働衛生コンサルタント事務所 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5)  7 (0.5)  8 (0.5)  9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第15回宮崎GERD研 究会 2月23日(金) 18:50～21:00 MRT-micc  参加費：500円	食道表在癌の深達度診断 芦屋中央病院消化器科統括長 高木 靖寛	47 (0.5)  49 (0.5)	◇主催 宮崎GERD研究会 ◇共催 ※アストラゼネカ(株) ☎0985-38-6611 第一三共(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
<b>第59回ひむか運動器セミナー</b> 3月1日(木) 19:00～21:00 宮崎観光ホテル  参加費:1,000円	<b>週1回テリパラチドの治療効果と安全な投与に向けた一工夫</b> 高円寺整形外科院長 大村 文敏	60 (0.5)  77 (0.5)	◇主催 ひむか運動器セミナー ◇共催 宮崎臨床整形外科医会 ※旭化成ファーマ(株) ☎0985-28-2736
	<b>整形外科外来における医療倫理とリスク管理</b> 船橋整形外科病院副院長 白土 英明	2 (0.5)  4 (0.5)	
<b>平成29年度宮崎県医師会勤務医部会後期講演会</b> 3月2日(金) 19:00～20:40 県医師会館	<b>宮崎県の周産期医療におけるpopulation-based研究と脳障害改善への取り組み</b> 宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野教授 児玉 由紀	12 (0.5)	◇主催 宮崎県医師会勤務医部会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	<b>2025年の医療問題</b> 産業医科大学医学部公衆衛生学教室教授 松田 晋哉	13 (1.0)	
<b>医療安全対策セミナー (宮崎県医師会医療安全対策研修会)【TV会議】</b> 3月5日(月) 19:00～20:30 県医師会館【TV会議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西臼杵】(予定)	<b>【専門医共通講習-③医療安全(必修)】</b> <b>安全対策の落とし穴-効率性追求にひそむ罠-</b> 電気通信大学情報システム学研究科教授 田中 健次	7 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師協同組合 ☎0985-23-9100 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
<b>第58回 宮崎県スポーツ学会</b> 3月31日(土) 15:00～19:00 県医師会館 参加費：1,000円	<b>こどもたちの運動器の諸問題            ー運動器検診の現状と課題ー</b> 古谷整形外科院長	11 (0.5)  72 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 久光製薬(株) ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科学教室 ☎0985-85-0986

## 日本医師会生涯教育カリキュラム(2016)

カリキュラムコード (略称: CC)

1 医師のプロフェッショナルリズム	29 認知能の障害	57 外傷
2 医療倫理:臨床倫理	30 頭痛	58 褥瘡
3 医療倫理:研究倫理と生命倫理	31 めまい	59 背部痛
4 医師-患者関係とコミュニケーション	32 意識障害	60 腰痛
5 心理社会的アプローチ	33 失神	61 関節痛
6 医療制度と法律	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療の質と安全	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 感染対策	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防と保健	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 地域医療	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 医療と介護および福祉の連携	41 嘔声	69 不安
14 災害医療	42 胸痛	70 気分の障害(うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便通異常(下痢, 便秘)	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	0 その他

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

# 医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

## 医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

## 医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談  
無料



まずは、お電話ください。

## 宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

# TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

診療メモ



リウマチ治療の最前線

か い む つ あ き  
甲 斐 睦 章  
かいクリニック リウマチ科・整形外科

はじめに

関節リウマチ(Rheumatoid arthritis: RA)とは、多発性の関節炎が慢性に経過し、治療の介入がないと早期より関節破壊を生じ、ADL、QOL障害を来す原因不明の全身性自己免疫疾患で、しばしば倦怠感や貧血、血管炎等関節外症状を呈します。国内にRA患者は70万人程(有病率0.2-1.0%)いると思われています。

リウマチの語源はヒポクラテス(紀元前460-377)の時代、ギリシャ語で流れを意味するロイマ(rheuma)に由来するとされています。

早期診断

以前、RAによる骨破壊は、10-20年で生じると考えられていましたが、最近の研究で2年以内に急速に生じることがわかってきました。従って、早期に診断し、滑膜炎を制御することが、RA患者の長期予後、アウトカムを改善することになります。

RAに対する薬物療法が奏功しやすい時期をwindows of opportunityと称し、発症後12週が

重要と考えられています。

過去においてRAの診断には、1987年に米国リウマチ学会(American College of Rheumatology: ACR)が提唱したRA分類基準が用いられてきました。1994年には、日本リウマチ学会から早期RAの診断基準が示されましたが、これらの基準では発症早期の関節炎の診断には問題がありました。2010年、23年ぶりとなる新しい分類基準がACRと欧州リウマチ学会(European League Against Rheumatism: EULAR)より示されました(図1)。これにより、単関節炎しか認めないような発症早期のRAでも診断可能となりました。関節炎の証明には造影MRIや関節エコーが非常に有用です。血液検査で、RF因子や抗CCP抗体(抗シトルリン化ペプチド抗体)の配点が高く、免疫の異常

表1. ACR/EULAR関節リウマチ分類2010  
(Ann Rheum Dis 2010 69 Ann Rheum Dis 2010 69: 1580-1588)

腫脹又は圧痛のある関節痛(診察、MRI、UA)	
中・大関節: 肩、肘、膝、股、足関節	小関節: 含む顎関節、肩鎖関節、胸鎖関節
大関節の1箇所	0
大関節の2-10ヶ所	1
小関節の1-3ヶ所	2
小関節の4-10ヶ所	3
最低1つの小関節を含む11ヶ所以上	5
血清反応 (低値: 正常上限の3倍まで)	
リウマトイド因子、抗CCP抗体の両方が陰性	0
リウマトイド因子、抗CCP抗体のいずれかが低値陽性	2
リウマトイド因子、抗CCP抗体のいずれかが高値陽性	3
罹病期間 (患者の申告する罹病期間)	
6週未満	0
6週以上	1
炎症反応 (各施設毎の正常値を基準とする)	
CRP、ESRの両方が正常	0
CRP、もしくはESRのいずれかが異常高値	1

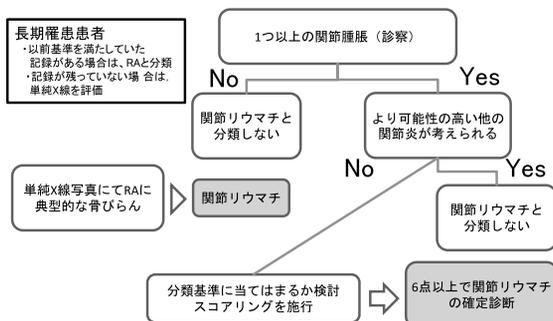


図1. ACR/EULAR関節リウマチ分類2010  
(Ann Rheum Dis 2010 69 Ann Rheum Dis 2010 69: 1580-1588)

長期罹患者  
・以前基準を満たしていた  
記録がある場合は、RAと分類  
・記録が残っていない場合は、  
単純X線を評価

単純X線写真にてRAに  
典型的な骨びらん

が重要視されています(表1)。

この新しい分類基準は、RA以外の原因で関節炎を生じる疾患の鑑別が重要で、慎重に診断を進める必要があります。詳しくは日本リウマチ学会のホームページをご参照下さい。http://www.ryumachi-jp.com/info/news110913.html

## 薬物療法の進歩

さて、RAの診断に至りましたら、いよいよ抗リウマチ薬の投与になります。

第一選択薬は、全世界で最も多く使用されているメトトレキサート(Methotrexate: MTX)です。米国に遅れること10年、1999年に認可され、RA治療薬のアンカードラッグとも呼ばれる中心的役割を担う薬です。

新しい分類基準も、従来RAの診断がつかず、いたずらに経過観察されていた早期のRA患者に対してMTXを使用すべく作成されたものともいえます。

一方、MTXは、間質性肺炎やB型肝炎の再活性化等重大な副作用も報告されており、その使用に際しては、日本リウマチ学会のMTX治療ガイドライン(最新版は2016年)に沿ってスクリーニング検査を行い、リスクとベネフィットを考慮したうえで投与します。

しかし、MTXでも疾患活動性や骨破壊を制御できないRA患者がいるのも事実です。このような場合、TNFやIL-6、T細胞を標的とした生物学的製剤、低分子標的剤であるヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤が検討されます。2003年に認可された抗TNF製剤を皮切りに、次々に新しい生物学的製剤が開発、認可され、更に、JAK阻害剤も2剤加わりました。

これらの薬剤を使用することで、これまで難病と言われていたRAを寛解に導くことが可能となりました。

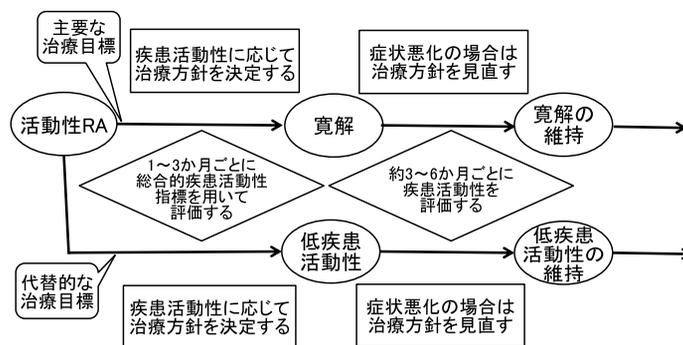
## 寛解を目指す治療(Treat to target, T2T)

新たな分子標的治療薬は、RA治療にパラダイムシフトと言われる大変革をもたらしました。MTXや生物学的製剤を使用して、関節炎を沈静化させRAを寛解に導くことは、すなわち長期予後を改善します。その寛解を維持する戦略がT2Tです。糖尿病や高血圧症では、HbA1c、血圧値などの治療目標値がガイドラインで明確に示され、T2Tが実践されています。RAにおいては、圧痛関節、腫脹関節、患者・医師全般評価、炎症反応(CRP、ESR)等を点数化した総合的活動性指標を用いて寛解という目標に向けての治療戦略が実践されるようになりました(図2)。寛解、低疾患活動性が獲得されたらこれを維持していくために、治療の見直し、修正をしていくことが重要です。RA治療は今やCareからCureを目指す時代となりました。

## おわりに

今回、リウマチの早期診断、早期治療の重要性、薬物療法について述べさせていただきました。しかしながら患者教育やリハビリテーション、手術療法の重要性が失われることはありません。医師は(私自身の戒めも含め)、優れた薬剤のお陰で、検査値が改善、炎症が沈静化することだけで満足してしまいがちです。患者様の実生活の中での困りの様子を見逃さないようにお話を傾聴し、関節の障害であれば運動療法を指導し、装具療法や手術療法の適応を考え、少しでも生活の質が向上するために出来ることを考え、日々の診療に向き合わなければなりません。

治療でお困りの患者様がいらっしゃいましたら、一度、リウマチ専門医の診察をご検討下さい。



Smolen, et al. ARD2010, 69: 631-637

図2. T2T治療達成に向けたRA治療のアルゴリズム

## 宮大医学部学生のページ

## 宮崎大学 第13回清花祭～清花燎原～ 開催報告

平成29年11月18日・19日に開催されました第13回清花祭の様を、清武キャンパス実行委員長と医学展実行委員長より報告させていただきます。

## ○第13回清花祭清武キャンパス実行委員長 森田 倫生

第13回清花祭が、平成29年11月18日(土)・19日(日)の2日間、清武・木花の両キャンパスにて開催されました。

今回のテーマは「清花燎原」となっており、このテーマには両キャンパスの学生が協力して今までにないくらい清花祭を盛り上げていこうという意味が込められています。1日目は残念ながら天候に恵まれず、雨の中の開催となりましたが、イベント・医学展ともにOB・OGや地域の方々楽しんでいただきました。2日目も曇りではありましたが、前日の影響により足元の悪い中、より多くの方にご来場いただきました。中庭での模擬店や屋外イベントの開催は今年で4年目となりましたが、その風景もすっかり定着してきたように感じます。今年はイベントステージを新設し、それも大変好評でした。

講義棟で行われた医学展では、チャリティーバザーをはじめ年齢企画やアロマ企画が大盛況で、多くの方がいらっしゃいました。ご来場いただいた地域の方々はこの場をお借りして、感謝申し上げます。イベントでは、迫力あるすずかけ太鼓によるステージや軽音楽部によるライブ、管打楽器部や室内楽部の心休まる演奏などが行われました。また、地域の子どもたちを対象とした運動会やお化け屋敷もたくさんの方に参加していただくことができました。

私たち平成26年度に入学した幹部学年からカリキュラムが変わり、病院実習と学園祭運営の時期が重なったため運営が危ぶまれたこともありましたが、今年度も清花祭を無事に終えられたことを大変嬉しく思います。そして来年度以降も変わらず清花祭が運営されていくことを願います。最後になりましたが、今年度も清花祭にご後援をいただきました医師会の先生方に感謝申し上げます。



**○第13回清花祭清武キャンパス医学展実行委員長 福良 拓也**

医学展では今年も多くの催しを企画し、医学に関する展示物や体験コーナー、スタンプラリーなどお子様からご年配の方まで皆様楽しんでいただけるような医学展を開催することができました。今年は、11月18日・19日の2日間で来場者数が延べ1,000人を超え、多くの方から医学展を楽しむことができたという声をいただき、我々医学生一同心より嬉しく思っております。一般の方々が普段なかなか接する機会の少ない医学に、医学展と私たち医学生を通じて少しでも身近に感じていただけたのではないかと思います。



また、我々医学生も、日頃からお世話になっている清武町をはじめとする地域の方々とより一層の交流を深めることができ、皆様のおかげで学生生活を営むことができているのだと改めて実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

来年は新しい学生が医学展の運営に携わりますが、皆様には来年もぜひ会場に足を運んでいただければと思います。

最後に、今年の医学展を開催するにあたり、ご後援いただきました医師会の先生方に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今後も清花祭、および医学展をよろしく願いいたします。



## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課にお問い合わせください(TEL 0985-22-5118)。

またMMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
10月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学大臣及び厚生労働大臣指定「公認心理師現任者講習会」(公益社団法人日本精神科病院協会)について</li> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・かぜ薬等の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について</li> <li>・平成29年台風第21号による被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて</li> <li>・日本准看護師連絡協議会「市民公開講座」に関する再周知及び資料提供のお願い</li> </ul>
11月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省「臨時福祉給付金(経済対策分)」に係るポスター・チラシの撤去のお願い</li> <li>・「持分の定めのない医療法人への移行に関する計画の認定制度について」の一部改正について(平成29年度税制改正に伴う認定医療法人制度の延長・拡充)</li> </ul>
11月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平成28年介護サービス施設・事業所調査の結果」送付について</li> <li>・平成29年度地域支援事業実施要綱等の改正点について</li> <li>・がん対策推進基本計画の変更について</li> <li>・日本医師会・日本がん登録協議会共催シンポジウム「始まった希少がん対策～がん登録で浮き彫りになるその実態～」の開催について</li> <li>・災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について</li> <li>・健康長寿県民フェスタの開催について</li> <li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li> <li>・若年性認知症実態調査の実施について</li> <li>・災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について</li> <li>・病院の耐震改修の状況の調査について</li> </ul>
11月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンタクトレンズの適正使用に関する情報提供等の徹底について</li> <li>・偽造医薬品の流通防止について</li> <li>・厚生労働省平成29年度医療施設経営安定化推進事業「病院経営管理指標及び医療施設における未収金の実態に関する調査研究」アンケート調査へのご協力をお願い</li> <li>・医薬品副作用被害救済制度等の広報等の周知について</li> </ul>

送付日	文 書 名
11月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎県認知症疾患医療センターの指定について</li> <li>・平成29年度「児童虐待防止推進月間」の実施について</li> <li>・平成29年度乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間の実施について</li> <li>・平成29年台風第21号による災害に伴う予防接種の取扱いについて</li> <li>・被保険者証の氏名表記について</li> <li>・介護給付費明細書に記載する福祉用具貸与の商品コードについて</li> <li>・粉状物質の有害性情報の伝達による健康障害防止のための取組について</li> <li>・訪日外国人旅行者受入れ医療機関の追加選定について</li> <li>・訪日外国人旅行者受入れ医療機関の追加募集について</li> </ul>
11月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第23回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会の開催について</li> <li>・健康経営優良法人2018（中小規模法人部門）の申請受付について</li> <li>・医療関係職種の養成所・養成施設におけるB型肝炎に関する教育の推進について</li> </ul>
11月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「糖尿病性腎症重症化予防の更なる展開に向けて」（冊子）の送付について</li> <li>・都道府県における小児慢性特定疾病の患者に対する移行期医療支援体制の構築について</li> <li>・鳥インフルエンザA(H7N9)に関する情報提供について</li> </ul>
11月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省による医療法人制度改革に関する委託セミナーの追加開催（大阪，博多）について（平成29年度税制改正に伴う認定医療法人制度の延長・拡充を中心に解説）</li> </ul>
11月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査料の点数の取扱いについて</li> </ul>
11月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節性インフルエンザワクチンの定期の予防接種における接種時期等について</li> <li>・第3期がん対策推進基本計画の策定について</li> <li>・地域医療構想調整会議の進め方に関する留意事項について</li> <li>・平成30年度以降における特定健康診査及び特定保健指導の実施並びに健診実施機関等により作成された記録の取扱いについて</li> <li>・「保健師助産師看護師法第三十七条の二第二項第一号に規定する特定行為及び同項第四号に規定する特定行為研修に関する省令の施行等について」の一部改正について</li> <li>・厚生労働省「看護師の特定行為研修シンポジウム」の開催について</li> </ul>
11月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出事業者責任に基づく措置に係るチェックリストの周知について</li> <li>・今冬のインフルエンザ総合対策の推進について</li> <li>・第9回地域医療構想に関するワーキンググループでの審議状況について</li> </ul>
11月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究実施に係る情報提供について</li> <li>・毎月勤労統計調査（第二種事業所）への調査協力依頼について</li> <li>・日本医師会雑誌，日医ニュースの提供方法に関するアンケート調査（再調査）の実施について</li> <li>・死体解剖資格認定要領の一部改正について</li> </ul>
12月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像診断報告書等の確認不足に関する医療安全対策について</li> <li>・医療安全に関するワークショップ情報交換会の開催について</li> <li>・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.132」の提供について</li> </ul>


 あとかき


新年明けましておめでとうございます。新年を迎えると同時に、学生広報委員の2年という期限まで残りわずかとなったことを思い、少し寂しい気もしています。何について書こうか本当に迷いましたが、年末に初めて立ち寄った「うつわ」のお店について書こうと思います。実習がその日はたまたま早く終わり、ふと思いついてずっと気になっていたそのお店の門をくぐっ

てみました。お店の中を覗いてみると、今年の干支である戌の置物などの季節ものから色彩豊かな器や切子などがずらり。夢中になって眺めていると、店員さんがコーヒーとお菓子を出してくれました。コーヒーをいただきますながら、買い物が終わってずっとおしゃべりしているお客さんや陽気に品物を並べる店員さんと世間話。初めて行ったお店だったにもかかわらず、なんだか身内のような雰囲気、また来たいと思えるお店でした。私が入ったお皿は、一見なんの変哲もない水玉模様のお皿でしたが、他の品物と違って値札シールが貼ってありません。おそろおそろ店員さんに聞いてみると、高級品だったようで想像以上の値段でした。私が動揺したせいかなかなりまけてくれましたが、それでも高い…ですが惹かれたものだったので、頑張って購入し、今は毎日大活躍しています。今回は器でしたが、いつもと違うことをやってみたときの新鮮な発見を大事に、暮らしていきたいと思った日でした。新年を迎え気持ちも入れ替えて、毎日過ごしていこうと思います。

(馬場)

\* \* \* \* \*

幼少時は野菜嫌いでたまねぎの天ぷら以外、ほとんど口にしませんでしたが、大人になり、セロリやパクチーがおいしく感じるようになりました。先日テレビでヤミー・ザ・パクチーの「パクチー醤油」なるもののおいしいと絶賛されていました。宮崎でスーパーに行くたびに探すのですが見当たりません。ネットで購入？734円の醤油に540円の送料を払うのは…と悩んでいるこの頃です。

(沖田)

\* \* \* \* \*

もともとが海辺の田舎出身なので、原風景にいつも海があります。疲れた時や心がすさんだ時は、早朝や夕方に海を見に行きます。たいがいは堀切峠を車で流す程度ですが、十分リフレッシュできます。日の出あたりの時間帯はとても美しく、効果倍増です。初日の出も良いのですが、いつの日の出でもOKです。お正月だけでなく、365日毎日を大事にしてこの1年も過ごしていこうと思います。本年もよろしくお願ひいたします。

(西田)

\* \* \* \* \*

2008年11月にランニングウォッチを購入してからランニングの距離がついに1万kmを超えました。アプリに記録が残っているのですが、約9年間で、ランニング総数894回、総距離10,110km、月平均の距離は93kmでした。記録では数年前の方が明らかにスピードや走行距離に勢いがある、最近はかなり怠けているのがわかります。無理のきかない年齢になりましたが、夢は大きくランニング世界一周、4万kmを目指したいと思います。

(中村)

\* \* \* \* \*

昨年12月に医師会大淀班の忘年会がありました。大淀班では、毎年のように新規開業が続いており、やはり班員が増えると忘年会も盛り上がりますね。しかし、今回はただの飲み会ではなく、次期班長選挙があったためか異様な盛り上がりを見せ、あーだこーだの挙句、結局あみだくじで決まりました。でも何故かなるべくしてなる人が班長になった感じで、私も2期4年の班長の役目を終えホッと一息。今年は縁の下からの盛り上げ役に徹しますよ。

(野村)

\* \* \* \* \*

最近とても寒くなってきて改めて冬は苦手だなと実感しております。部活で弓道をしているのですが、ほぼ外のような環境なのでとても寒く、だんだんと弓道場から足が遠のいてしまっています。実習が終わった後に練習しようと思っても、病院を出た瞬間の寒さで一気にやる気が吹き飛んでいきます。夏の暑さは耐えられるのですが、冬の寒さは本当に活動できなくなるので困ったものです。でも活動しないとお腹が…。がんばって運動します。

(二見)

\* \* \* \* \*

以前より若い医師やその上司、また同窓会などから、医師は出会いの場が少ないとの相談を受けることがありました。実際、他県では医師会や県が医師の婚活について取り組んでいる例もあり、当県でも何かできないかと考えておりましたが、この度、県医師会として「医師の婚活事業」に取り組むこととなりました。単なる合コンではなく、将来の結婚を視野に入れた真剣な出会いを求める医師を対象とするものです。ぜひ温かく見守っていただければと思います。

(荒木)

\* \* \* \* \*

## 今 月 の ト ピ ッ ク ス

### 年頭所感・年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。昨年10月、世界医師会長に就任されました日本医師会横倉義武会長をはじめ、宮崎県医師会顧問、各郡市医師会長、各専門分科医会長より年頭所感を、河野宮崎県知事、池ノ上宮崎大学長そして国会議員の先生方より年頭のご挨拶をいただきました。

4 ページ

### 新春随想 (その1)

毎年恒例の新春随想を掲載します。今年も年男・年女の先生方をはじめ、沢山の方に作品をお寄せいただきました。そのうち今月は15編を掲載しています。普段、会っただけでは分からない先生方の色々な面を見ることができますので、是非ご覧ください。ツヤ子婆さんはシリーズ化していきそうです。

25 ページ

### 診療メモ リウマチ治療の最前線

生物学的製剤の登場により、関節リウマチの治療では「すべての患者において臨床的寛解、もしくは、少なくとも低疾患活動性を目指すこと」が世界的コンセンサスとなっているようです。今世紀になって飛躍的に治療法が進歩した関節リウマチ。今月は「リウマチ治療の最前線」と題し、その歴史、診断、薬物治療、治療目標について甲斐陸章先生より詳しく解説していただきました。

86 ページ

## 日 州 医 事 第821号(平成30年 1 月号)(毎月 1 回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行  
〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 沖田 和久・副委員長 西田 隆昭, 岡本健太郎  
委 員 中村 豪, 野村 勝政, 馬場 萌子, 二見 旬祐  
山崎 俊輔, 稲倉 琢也, 上山 貴子, 柴野 雅資, 泉 摩依  
担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗, 佐々木 究  
事 務 局 学術広報課 立山 幸恵, 牧野 諭

印刷所 愛文社印刷株式会社・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)